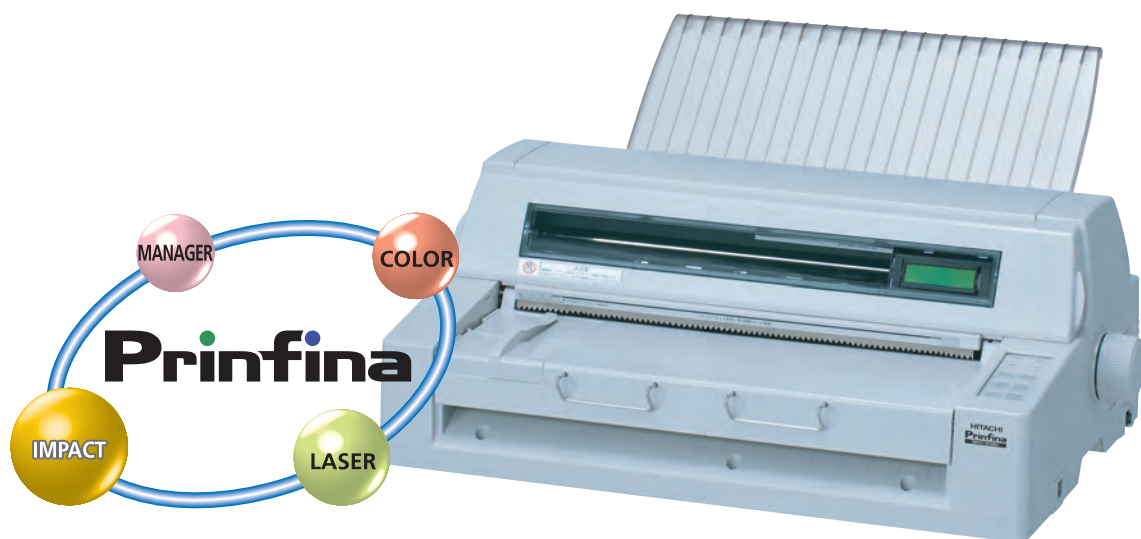


HITACHI
Inspire the Next
日立ドットインパクトプリンター
Prinfina IMPACT DX4081A

Prinfina

PC-PD4081A 取扱説明書



マニュアルはよく読み、保管してください。

- ・製品を使用する前に、安全上の説明をよく読み、十分に理解してください。
- ・このマニュアルは、いつでも参照できるよう、手近な所に保管してください。

はじめに

このたびは、日立プリンターをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本取扱説明書は、プリンターの取り扱い方法や正しい操作方法などについて説明したものです。
ご使用いただく前に、必ず最後までお読みください。

■ 重要なお知らせ

- ・ 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。
- ・ 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
- ・ 本書の内容について万一ご不審な点や誤りなど、お気づきのことがありましたら、お買い求め先へご一報くださいますようお願いいたします。
- ・ 本製品を運用した結果については前項にかかわらず責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■ 規制、対策などについて

- 電波障害自主規制について
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 電源の瞬時電圧低下対策について
落雷等による電源の瞬時電圧低下対策に対して不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。（社団法人 電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）
- 高調波ガイドライン適合について
本製品は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品です。
JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立正-第3-2部：限度値-高調波電流発生限度値（1相当の入力電流が 20A 以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標値レベルに適合して設計・製造した製品です。
- 輸出管理規制について
本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規制並びに米国輸出管理規制等外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明な場合は、お問い合わせ先にお問い合わせください。
- 保守用部品について
本プリンターの保守用部品の保有期間は製造打ち切り後 5 年です。

プリンターを安全にお使いいただくために

●安全に関する共通的な注意について

次に述べられている安全上の説明をよく読み、十分理解してください。

- ・操作は、このマニュアル内の指示、手順に従って行ってください。
 - ・装置やマニュアルに表示されている注意事項は必ず守ってください。
- これを怠ると、けが、火災や装置の破損を引き起こすおそれがあります。

●シンボルについて

安全に関する注意事項は、次に示す見出しによって表示されます。これは安全注意シンボルと「警告」および「注意」という見出し語を組み合わせたものです。



これは、安全注意シンボルです。人への危害を引き起こす潜在的な危険に注意を喚起するために用います。起こりうる傷害または死を回避するためにこのシンボルのあとに続く安全に関するメッセージに従ってください。



警告

これは、死亡または重大な傷害を引き起こすかもしれない潜在的な危険の存在を示すのに用います



注意

これは、軽度の傷害、あるいは中程度の傷害を引き起こすおそれのある潜在的な危険の存在を示すのに用います。

注意

これは、装置の重大な損害、または周囲の財物の損害を引き起こすおそれのある潜在的な危険の存在を示すのに用います。



【表記例1】感電注意

△の図記号は注意していただきたいことを示し、△の中に「感電注意」などの注意事項の絵が描かれています。



【表記例2】分解禁止

⊘の図記号は行ってはいけないことを示し、⊘の中に「分解禁止」などの禁止事項の絵が描かれています。



【表記例3】電源プラグをコンセントから抜け

●の図記号は行っていただきたいことを示し、●の中に「電源プラグをコンセントから抜け」などの強制事項の絵が描かれています。

●操作や動作は

マニュアルに記載されている以外の操作や動作は行わないでください。

装置について何か問題がある場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあと、お買い求め先にご連絡いただくか、保守員をお呼びください。

●自分自身でもご注意を

装置やマニュアルに表示されている注意事項は、十分検討されたものです。それでも、予測を越えた事態が起こることが考えられます。操作に当たっては、指示に従うだけでなく、常に自分自身でも注意するようにしてください。

 警告



異常な熱さ、煙、異常音、異臭
 万一異常が発生した場合は、電源スイッチを OFF にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、感電、火災の原因になります。また、すぐに電源プラグを抜けるように、コンセントの周りには物を置かないでください。



ケースカバーの取り外し
 ケースカバーを取り外さないでください。内部に高電圧の部分があり、触れると感電の原因になります。



アース線の接続
 感電防止のために、アース付きのコンセントに接続してください。接続しないと感電するおそれがあります。

- ・コンセントのN線がアースに接続されていることを確認の上接続してください。
- ・アース線は専門業者の施工したコンセントのアース端子に接続してください。



プリンター内部への異物の混入
 通気孔などから内部にクリップや虫ピンなどの金属類や燃えやすい物などを入れないでください。そのまま使用すると、感電や火災の原因になります。



電源コードの扱い
 電源コードは必ず付属のものを使用し、次のことに注意して取り扱ってください。取り扱いを誤ると、電源コードの銅線が露出したりショートや一部断線で、過熱して感電や火災の原因になります。

- ・ものを載せない
- ・引っ張らない
- ・押しつけない
- ・折り曲げない
- ・加工しない
- ・熱器具のそばで使わない
- ・束ねない



プリンターの上に物を置く
 花びん、植木鉢など水の入った容器や虫ピン、クリップなどの小さな金属物を置かないでください。内部に入った場合、そのまま使用すると、感電や発煙、発火の原因になります。



電源プラグの抜き差し

- ・電源プラグをコンセントに差し込むとき、または抜くときは必ず電源プラグを持って行ってください。電源コード部分を引っ張るとコードの一部が断線してその部分が過熱し、火災の原因になります。
- ・休暇や旅行などで長期間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。使用していないときも通電しているため、万一、部品破損時には火災の原因になります。
- ・電源プラグをコンセントから抜き差しするときは、乾いた手で行ってください。濡れた手で行うと感電の原因になります。



電源プラグの接触不良やトラッキング
 電源プラグは次のようにしないと、トラッキングの発生や接触不良で過熱し、火災の原因になります。

- ・電源プラグは根本までしっかり差し込んでください。
- ・電源プラグは、ほこりや水滴が付着していないことを確認し、差し込んでください。付着している場合は、乾いた布などで拭き取ってから、差し込んでください。
- ・グラグラしないコンセントを使ってください。



落下などによる衝撃
 落下させたり、ぶつけるなど衝撃を与えないでください。そのまま使用すると、火災の原因になります。



使用する電源
 使用できる電源は交流100Vです。それ以外では使用しないでください。電圧の大きさに従って内部が破損したり過熱・劣化して感電や火災の原因になります。

 警告



修理・改造・分解

本書の指示に従って行うオプションなどの増設作業を除いては、自分で修理や改造・分解をしないでください。火災や感電、やけどの原因になります。

特に電源ユニット内部は高電圧部が数多くあり、万一さわると危険です。



日本国外での使用

本プリンターは日本国内専用です。電圧の違いや環境の違いにより国外で使用すると火災や感電の原因になります。また他国には独自の安全規格が定められており、本プリンターは適合していません。



タコ足配線

同じコンセントに多数の電源プラグを接続するタコ足配線はしないでください。コードやコンセントが過熱し、火災の原因になるとともに、電力使用量オーバーでブレーカーが落ち、ほかの機器にも影響を及ぼします。



温度差のある場所への移動

移動する場所間で温度差が大きい場合は、表面や内部に結露することがあります。結露した状態で使用すると、発煙、発火や感電の原因となります。使用する場所で、数時間そのまま放置してからご使用ください。



湿気やほこりの多い場所での使用

浴槽、洗面台、台所の流し台、洗濯機など、水を使用する場所の近傍、湿気の多い地下室、水泳プールの近傍やほこりの多い場所では使用しないでください。電気絶縁の低下によって火災や感電の原因になります。



通気孔

通気孔は内部の温度上昇を防ぐものです。物を置いたり立てかけたりして通気孔をふさがないようにください。

内部の温度が上昇し、発煙、発火や故障の原因になります。



揮発性液体の近くでの使用

マニキュア、ペディキュアや除光液など揮発性の液体は、プリンターの近くで使わないでください。プリンターの中に入って引火すると火災の原因になります。




オプションの接続

オプション接続するときは、電源プラグをコンセントから抜き、すべてのケーブル類をプリンターから外してください。また、マニュアルの説明に従い、マニュアルで使用できることが明記されたオプションを使用してください。それ以外のオプションを使用すると、接続仕様の違いによる故障から発煙、発火、火災や故障の原因になります。



ポリ袋の取り扱い

ポリ袋をかぶったりすると窒息するおそれがあります。特に小さなお子様のいる所では、取り出したらすぐにお子様の手の届かない所へかたづけてください。

 注意



プリンター内部品への接触
使用直後のプリンターの印字機構部は、高温になっています。冷めるまで待ってください。触れるとやけどの原因になります。



アルミ電解コンデンサーについて
このプリンターに使用されているアルミ電解コンデンサーは有寿命部品です。設計寿命は、月200時間使用で約5年です。寿命になると、電解液の漏れや枯渇が生じます。特に電源ユニットでの電解液漏れは、発煙の原因になることがあります。これらの危険を避けるために、設計寿命を越えて使用する場合は、有寿命部品単位で交換してください。また、業務用など昼夜連続運転相当では5年より寿命は短くなります。



金属などの端面への接触
移動するなど鉄板やプラスチックなどの端面に触れる必要がある場合は、注意して触れてください。けがをするおそれがあります。



不安定な場所での使用
傾いたところや狭い場所など不安定な場所には置かないでください。印刷中のプリンターは強い振動を発生するため、落ちたり倒れたりして、けがをするおそれがあります。
また、トップカバーをあげて消耗品の交換などを行っている時に、トップカバーが閉じてけがをするおそれがあります。



目的以外での使用
踏み台など目的以外に使用しないでください。壊れたり倒れたりして、けがや故障の原因になります。



ケーブルの接続
ケーブルは足などに引っかけないように、配線してください。足をひっかけると、けがをするおそれがあります。



接続端子への接触
ネットワークケーブルのコネクタなどの接続端子に手や金属で触れたり、針金などの異物を挿入したりしないでください。金属片のある場所に置かないでください。発煙したり、接触不良などにより故障の原因になります。

注意



動作中のカバーの開閉
プリンターのカバーは動作中に開けないでください。けがの原因になります。



屋外での使用
屋外では使用しないでください。故障の原因になります。



電波障害について
ほかのエレクトロニクス機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。特に近くにテレビやラジオなどがある場合、雑音が入ることがあります。その場合は、次のようにしてください。

- ・テレビやラジオなどからできるだけ離す
- ・テレビやラジオなどのアンテナの向きを変える
- ・コンセントを別にする



プリンターの廃棄
プリンターを廃棄するときには、廃棄物管理表（マニフェスト）の発行が義務づけられています。詳しくは、お買い求め先にご相談いただくか、各都道府県産業廃棄物協会にお問い合わせください。廃棄物管理表は、(社)全国産業廃棄物連合会に用意されています。

警告マークについて

この取扱説明書では、安全上の注意事項を記述した箇所に、警告表示とともにその内容を示す警告マークを配置して、一目で分かるように配慮しています。

使用している警告マークの意味は以下のとおりです。内容をよく理解したうえで、お読みください。



高温による傷害の危険性について記述していることを示します。



発火する危険性について記述していることを示します。



触れる事によって傷害が起こる可能性について記述していることを示します。



機器を分解することにより、感電などの傷害が起こる可能性について記述していることを示します。



一般的な禁止事項を記述していることを示します。

■ 取扱説明書の表記方法

● 商標・略称について

- ・ Microsoft® Windows®XP Operating Sysytem (以下 WindowsXP)
- ・ Microsoft® Windows Server®2003 Operating Sysytem (以下 Windows Server2003)
- ・ Microsoft® Windows Vista® Operating Sysytem (以下 WindowsVista)
- ・ Microsoft® Windows Server®2008 Operating Sysytem (以下 Windows Server2008)
- ・ Microsoft® Windows®7 Operating Sysytem (以下 Windows7)
- ・ Microsoft® Windows Server®2008 R2 Operating Sysytem (以下 Windows Server2008 R2)
- ・ Microsoft® Windows®8 Operating Sysytem (以下 Windows8)
- ・ Microsoft® Windows Server®2012 Operating Sysytem (以下 Windows Server2012)
- ・ その他記載の会社名、製品名はそれぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

お問い合わせ先

- プリンターの操作方法などについてのお問い合わせ

HITACカスタマ・アンサ・センタにお問い合わせください。

製品の技術的なお問い合わせについて回答いたします。

ただし、各言語によるユーザプログラム等の技術支援は除きます。

また、明らかに故障であると思われる内容につきましては、販売会社、担当営業、または保守会社にご連絡ください。

HITACカスタマ・アンサ・センタ

フリーダイヤル 0120-2580-12

受付時間 9:00~12:00、13:00~17:00
(土・日・祝日を除く)

■コールバック方式

受付担当者がお問い合わせ内容を承り、専門エンジニアが折り返し電話
またはメールでお答えします。

- 故障や保守サービスについてのお問い合わせ

トラブルが発生した場合は、まず、取扱説明書(本書)をご確認ください。

故障と判断される場合は販売会社、担当営業、または保守会社にご連絡ください。

目次

プリンターを安全にお使いいただくために

第1章 お使いになるまえに

製品の内容.....	1-2
使用上のご注意.....	1-3
設置場所について.....	1-3
電源について.....	1-4
使用方法について.....	1-5
各部の名称とはたらき.....	1-6
各部の名称.....	1-6
各部のはたらき.....	1-7
プリンターを設置する.....	1-9
設置手順.....	1-9
輸送用固定材の取外し.....	1-10
シートスタッカ・スタッカサポートの取り付け.....	1-12
パソコンとの接続.....	1-13
電源コードの接続.....	1-15
リボンカセットの取付け.....	1-17
オプションの取付け.....	1-21
オートシートフィーダーの取付け.....	1-22
オートシートフィーダーの取り外し.....	1-30
トラクターユニットの取り付け.....	1-31
LANアダプタ PC-PB20301 を取り付ける.....	1-35
LANアダプタ PC-PB20211 を取り付ける.....	1-36

第2章 プリンタードライバー

プリンタードライバーの概要	2-2
表記について	2-2
ソフトウェアの動作環境	2-2
プリンタードライバーのインストール	2-3
プリンタードライバーの設定	2-5
印刷設定可能範囲について	2-42
用紙サイズ	2-42
印刷設定可能範囲	2-44
用紙の印刷方向	2-47

第3章 プリンターの機能とその使い方

操作パネルの機能	3-2
操作パネルランプ	3-3
操作パネルスイッチ	3-4
表示パネル	3-6
動作環境の設定	3-7
メニュー設定の変更方法	3-7
メニュー設定項目	3-10
[大項目] : オフィスモード	3-10
[大項目] : テサシセットイ	3-10
[大項目] : マエASFセットイ	3-13
[大項目] : ウシロASFセットイ	3-14
[大項目] : マエレンチョウセットイ	3-15
[大項目] : ウシロレンチョウセットイ	3-16
[大項目] : ハードウェアセットイ	3-17
[大項目] : コマンドキノウセットイ	3-20
[大項目] : ソノタセットイ	3-21
メニュー設定初期化方法	3-23

第4章 用紙のセット

用紙をセットする.....	4-2
単票テーブルに用紙をセットする.....	4-3
連続用紙をセットする.....	4-7
連続用紙をカット位置に送る.....	4-16
オートシートフィーダーに用紙をセットする.....	4-18
用紙厚を調整する.....	4-24
印字位置を微調整する.....	4-26
印字開始位置を微調整する.....	4-26
行間ズレを微調整する(水平印字補正).....	4-27

第5章 用紙について

使用できる用紙について.....	5-2
手差しで使用する単票用紙.....	5-3
オートシートフィーダーで使用する単票用紙.....	5-8
連続帳票用紙.....	5-11
とじ穴の開けかた.....	5-22
プレプリント用紙を使用するとき.....	5-23
用紙の形状について.....	5-27
取扱い上のご注意.....	5-28
再生紙の利用について.....	5-31
使用できない用紙.....	5-33
帳票設計時のご注意.....	5-36

第6章 保守と点検

リボンカセットの交換.....	6-2
リボンカセットの種類.....	6-2
リボンカセットの交換方法.....	6-3
サブリボンの交換方法.....	6-6
用紙づまりのとき.....	6-9
単票用紙がつまったとき.....	6-9
連続用紙がつまったとき.....	6-12
プリンターがうまく動かないとき.....	6-15
エラーメッセージが表示されている.....	6-15
こんなときには.....	6-17
保守機能.....	6-20
メニュー設定一覧印刷.....	6-20
テスト印字.....	6-21
水平印字補正.....	6-22
HEXダンプ(16進ダンプ)印字をする.....	6-24
清掃のしかた.....	6-25
プリンターを輸送するとき.....	6-26
アフターサービス.....	6-27

付 録

プリンターの概略仕様.....	A-2
印字品質.....	A-3
外観図.....	A-4
標準外観図.....	A-4
オートシートフィーダー取付け時の外観図.....	A-5
インタフェース仕様.....	A-6
パラレルインタフェース.....	A-6
USBインタフェース.....	A-9
ネットワーク接続.....	A-10
自動検出機能.....	A-11
専用コマンド.....	A-13
制限事項.....	A-20
消耗品の廃棄について.....	A-22
有償交換部品のご案内.....	A-23

第 1 章

お使いになる前に

この章では、プリンターの主な特長や製品の内容、使用上の注意事項、各部の名称とはたらき、設置方法、リボンカセットの取付け、電源の投入／切断について説明します。

製品の内容.....	1-2
使用上のご注意.....	1-3
設置場所について.....	1-3
電源について.....	1-4
使用方法について.....	1-5
各部の名称とはたらき.....	1-6
各部の名称.....	1-6
各部のはたらき.....	1-7
プリンターを設置する.....	1-9
設置手順.....	1-9
輸送用固定材の取外し.....	1-10
シートスタッカ・スタッカサポートの取り付け.....	1-12
パソコンとの接続.....	1-13
電源コードの接続.....	1-15
リボンカセットの取付け.....	1-17
オプションの取付け.....	1-21
オートシートフィーダーの取付け.....	1-22
オートシートフィーダーの取り外し.....	1-30
トラクターユニットの取り付け.....	1-31
LANアダプタ PC-PB20301 を取り付ける.....	1-35
LANアダプタ PC-PB20211 を取り付ける.....	1-36

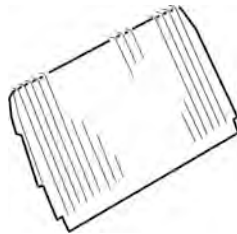
製品の内容

お使いになる前に、以下の製品が揃っていることを確認してください。

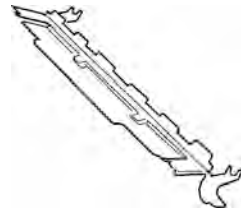
なお、プリンターが入っていた箱は、プリンターの保管・輸送の際に必要な
なりますので捨てないでください。



プリンター本体



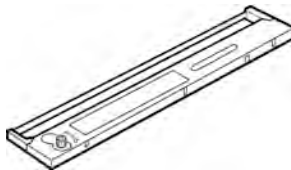
シートスタッカ



スタッカサポート



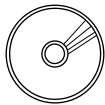
電源コード（1本）



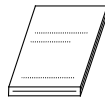
リボンカセット（黒、1個）



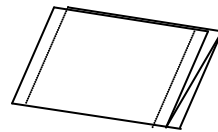
テーブルガイド（2個）



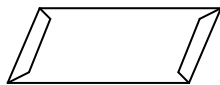
プリンタドライバー
（CD-ROM 1枚）



取扱説明書
（本書 1冊）



テスト用紙



保証登録書
（1部）



お願い

- ・本プリンターにはプリンターケーブルおよびUSBケーブルは含まれていません。プリンターケーブルは、別途用意してください。
また、USBケーブルは市販品を別途用意してください。
なお、不明な点については、販売店までお問い合わせください。
- ・保証書に必要な事項が書かれていることを確認してください。
お買い求めのときに、正しい記載のなかった保証書は無効となり、無償保証を受けられないことがあります。
- ・保証書は大切に保管してください。

使用上のご注意

このプリンターを使用する際には、以下の点に十分留意されるようお願いいたします。
不明な点については、お買い上げの販売店にご相談ください。

設置場所について

警告



湿気やほこりの多い場所での使用
浴槽、洗面台、台所の流し台、洗濯機など、水を使用する場所の近傍、
湿気の多い地下室、水泳プールの近傍やほこりの多い場所では使用しな
いでください。電気絶縁の低下によって火災や感電の原因になります。



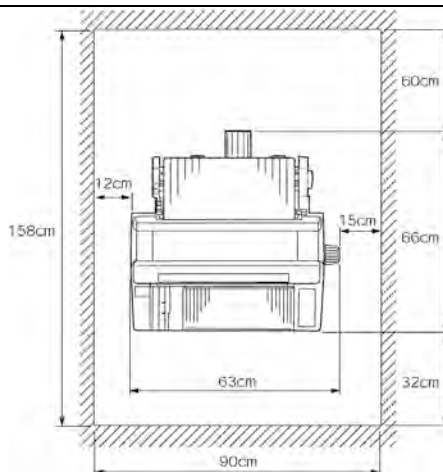
一般的禁止

- ・長時間直射日光の当たる場所や、エアコンの前など極端に温度や湿度が
変わる場所には設置しないでください。
温度と湿度が、以下の範囲内の場所に設置してください。
周囲温度:5°C~35°C
周囲湿度:35%~80%(結露しないこと)
- ・水平で安定した場所に設置してください。
- ・通風口をふさがないでください。
- ・振動のある場所には設置しないでください。
- ・落したり、ぶつけたりして衝撃を与えないでください。
- ・ほこり、腐食性ガス、潮風にさらされる場所は避けてください。
- ・磁石はもちろん、テレビやスピーカーなど磁気の強いものの近くに設置し
ないでください。



お願い

プリンターを設置するときに
必要なスペースは、右図の
とおりです。十分なスペース
がないと正しい設置や操作
ができません。図を参考に
してゆとりのある設置場所
を確保してください。



電源について

次の電圧、周波数の範囲の電源を利用してください。

- ・電源電圧:AC100V±10%
- ・電源周波数:50/60Hz,±1Hz

 警告



発火注意

万一、プリンターから発熱・異臭・異常音が発生したら、すぐに電源を切断した上で、お買い上げの販売店へご連絡ください。
感電や発火・発煙のおそれがあります。

使用方法について

▲警告



一般的禁止

- ・プリンターの上に物を置かないでください。
- ・長時間プリンターを使用しないときは、電源コードのプラグを電源コンセントから抜いてください。
- ・万が一、近くで雷が起きたときは、電源コードのプラグを電源コンセントから抜いてください。
入れたままにしておきますと、機器を破壊し、お客様の財産に損害をおよぼす可能性があります。

▲注意



高温注意

- ・印字ヘッドは高温になります。温度が下がるまで触らないでください。
火傷・怪我のおそれがあります。



一般的禁止

- ・用紙およびリボンカセットをセットしていない状態で、印字しないでください。
印字ヘッドやプラテンが傷みます。

▲注意



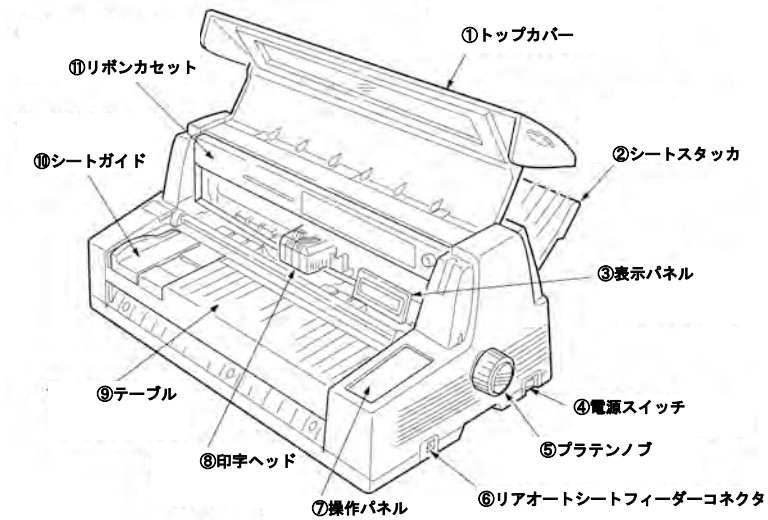
接触禁止

- ・プリンターケーブルコネクタや印字ヘッドの金属部には触らないでください。
- ・印字ヘッドが動いているときは、印字ヘッドに触れたり、電源を切ったりしないでください。

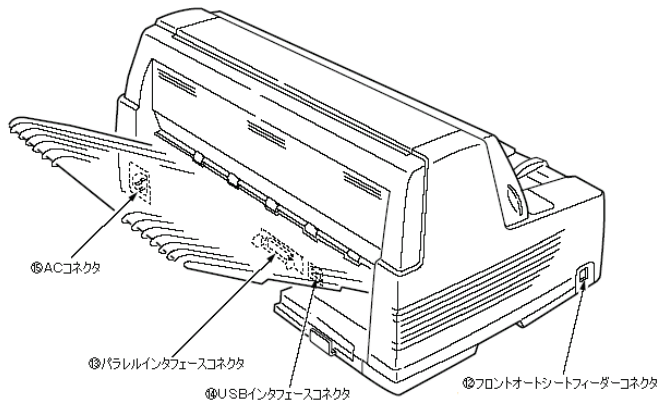
各部の名称とはたらき

各部の名称

正面



背面



各部のはたらき

各部の名称	はたらき
①トップカバー	オペレータが動作中の印字ヘッドに触れない様に保護します。また印字ヘッドをホコリやチリから守ります。
②シートスタッカ	単票用紙をスタックします。
③表示パネル	プリンターの表示します。
④電源スイッチ	「 」側を押すと電源が入り、「○」側を押すと電源が切れます。
⑤プラテンノブ	用紙を繰り出します。
⑥リアオートシート フィーダーコネクタ	オプションのオートシートフィーダーを後方に取り付けて使用する場合に、ケーブルを接続するコネクタです。
⑦操作パネル	プリンターの操作に必要なスイッチやランプがあります。
⑧印字ヘッド	用紙に印字する部分です。
⑨テーブル	単票を手差しセットする台です。
⑩シートガイド	用紙の左端位置を決めるガイドです。
⑪リボンカセット	印字に必要なリボンが入っています。
⑫フロントオートシート フィーダーコネクタ	オプションのオートシートフィーダーを前方に取り付けて使用する場合に、ケーブルを接続するコネクタです。
⑬パラレルインタフェース コネクタ	プリンターケーブルを接続して、プリンターと上位装置を接続します。
⑭USBインタフェース コネクタ	USBケーブルを接続して、プリンターと上位装置を接続します。
⑮ACコネクタ	電源コードを接続します。

 注意



接触禁止

- ・印字ヘッドが動いているときは、印字ヘッドに触れたり、無理な力を加えたりしないでください。
- ・印字中は、トップカバーを開けないでください。
トップカバーを開けると、途中で印字が中断されます、カバーを閉じた後に、オンラインスイッチを押すと、中断した位置から印字を再開しますが、印字品質が低下する事が有ります。
- ・プリンターケーブルコネクタや印字ヘッドの金属部には触らないでください。
機器の破壊、怪我のおそれがあります。

 注意



高温注意

印字直後は、印字ヘッドが高温になります。温度が下がるまで触らないでください。
火傷・怪我のおそれがあります。

プリンターを設置する

プリンターが届いたら、箱から出して輸送用固定材を取り外し、リアスタッカを取り付けてパソコンや電源と接続します。

設置手順

プリンターは下記の手順を確認しながら設置してください。

- 1 製品がすべてそろっていることを確認する
- 2 カバー部品を固定しているテーピング、固定部材を外す
- 3 トップカバーを開けて輸送用固定材を外す
- 4 シートスタッカ・スタッカサポートを取り付ける
- 5 パソコンと接続する
- 6 電源コードを接続する
- 7 リボンカセットを取り付ける
- 8 必要に応じてオプションを取り付ける
- 9 ドライバーをインストールする

輸送用固定材の取外し

輸送中の振動などから印字ヘッドを保護するため、輸送用固定材が取り付けられています。プリンターを使用する前に、必ず取り外してください。



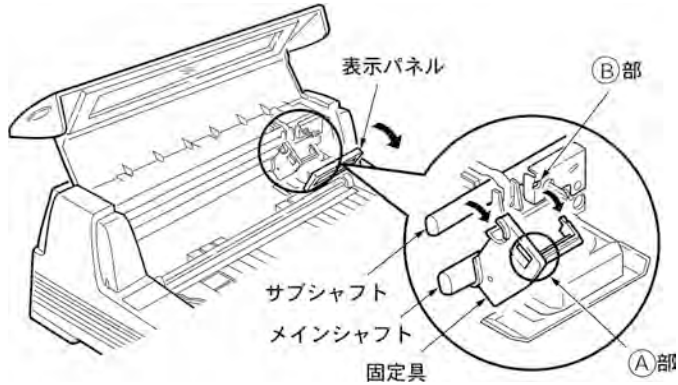
取り外した輸送用固定材は、箱と一緒に保管しておき、再びプリンターを輸送する場合や保管する場合に使用してください。



輸送用のポリ袋をかぶったりして遊ばないでください。窒息するおそれがあります。特に小さなお子様のいる所では、取り出したらすぐにお子様の手の届かない所へかたづけてください。

両サイドのつまみを持ちながらトップカバーを開けて、印字ヘッドを固定している輸送用固定材を抜き取ります。

- 1 操作パネルを手前に倒します。
- 2 A部を持って矢印の方向に引き抜き、固定材を外してください。



固定材を取り付ける場合は、取り外しの逆の手順でキャリッジを右端に寄せて、下のメインシャフトにはさみ、上のサブシャフトとB部の孔にはまりこむまで押し込んでください。

警告



分解禁止

プリンター本体のカバーや差し込み口についているカバーは、必要な場合を除いて取り外さないでください。

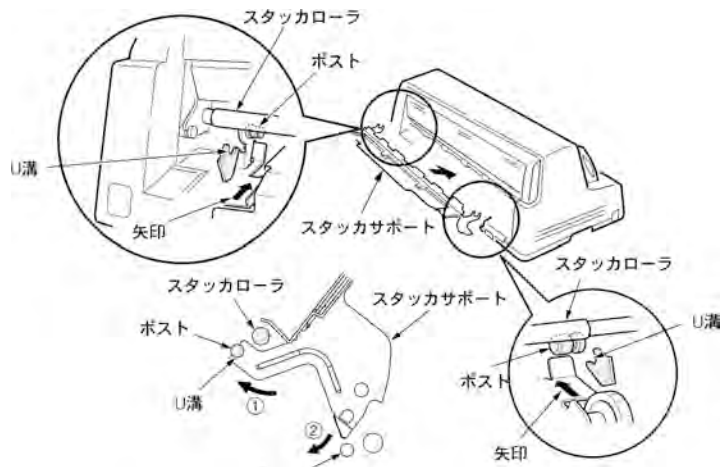
内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。

シートスタッカ・スタッカサポートの取り付け

1 スタッカサポートを取り付けます。

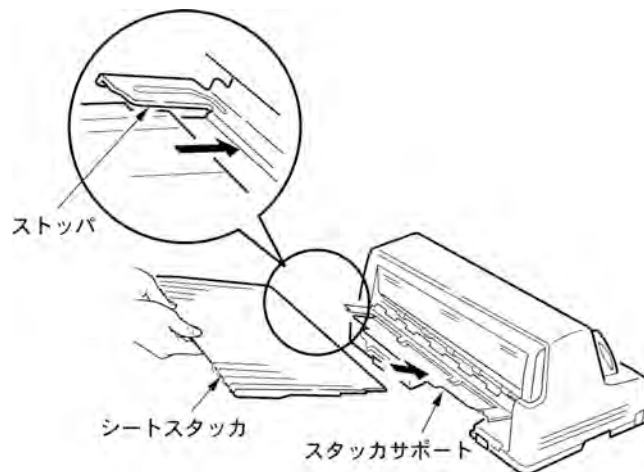
スタッカサポート先端のU溝をプリンター後方の矢印を目安に

- ①スタッカローラの奥にあるポストに差し込みます。
- ②そのまま回転させるように下方に押し込みます。



2 シートスタッカをスタッカサポートの中央に差し込みます。

(左右にストッパーがありますので、内側に差し込みます。)



パソコンとの接続

このプリンターは、セントロニクス仕様のパラレルインタフェースと、USB 2.0 を備えています。プリンターケーブルおよび USB ケーブルは添付されていませんので、別途用意してください。

警告



プリンターケーブルを抜き差しするときは、必ずパソコンと本プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあとに行ってください。感電の原因となります。

注意



一般的禁止

プリンターケーブルの接続は間違いがないようにしてください。誤った接続状態で使用すると、プリンター本体およびパソコン本体が故障する原因となることがあります。

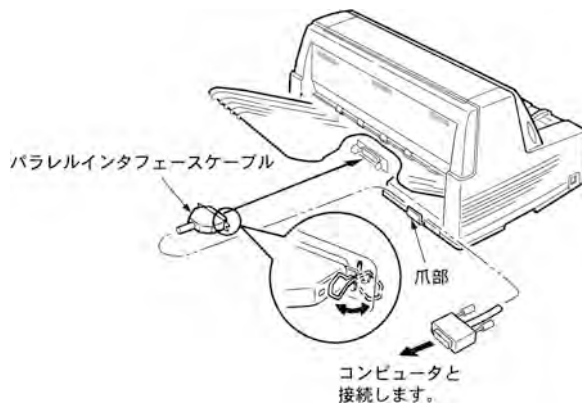
パソコンとの接続は、次の手順で行います。

1 プリンターとパソコンの電源を切る

電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

2 プリンターケーブルをプリンターに接続する

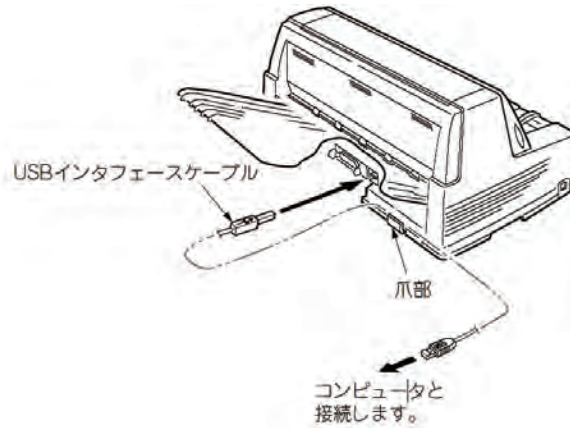
パラレルインタフェースの場合、プリンターケーブルの一方のプラグを、プリンター背面のパラレルインターフェースケーブルコネクタに差し込み、左右のロックピンで固定します。プリンターケーブルは純正品(PC-LP1101)を使用してください。



第1章 お使いになる前に

USB インタフェースの場合、USB ケーブルの一方のプラグを、プリンター背面の USB インタフェースケーブルコネクタに差し込みます。

プリンターケーブルは市販品を使用してください。



- USB インタフェースで接続した場合、パラレルインタフェースとの同時接続はできません。
- USB インタフェースは全てのUSB 機器との接続を保障するものではありません。

電源コードの接続

警告

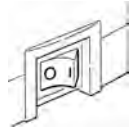


- ・表示された電源電圧以外のコンセントは使用しないでください。また、タコ足配線をしないでください。火災・感電の恐れがあります。
- ・必ずアース付きのコンセントを使用してください。アース接続を行わないで、万一漏電した場合、火災・感電の恐れがあります。なお、アース接続出来ない場合は、販売会社または保守会社にご相談ください。
- ・上位装置または他の機器のサービスコンセントは使用しないでください。装置の故障や火災の原因となります。
- ・電源プラグは、根元まで確実に差し込んでください。

電源コードの接続は、次の手順で行います。

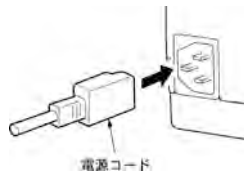
1 プリンターとパソコンの電源を切る

電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

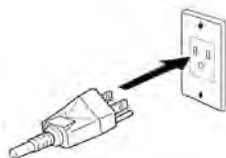


2 プリンターに電源コードを差し込む

プリンター背面の電源コネクタに電源コードを接続します。



3 電源コードのプラグをコンセントに接続します。



電源の投入と切断

プリンタの電源の入れかたと切りかたについて説明します。

▲注意



お願い

購入後初めてプリンターに電源を入れるときは、次の点を確認してください。

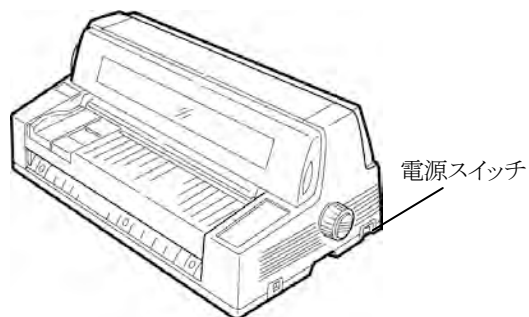
- ・輸送用固定材(印字ヘッド部保護用固定材)が取り外してあること
- ・電源コンセントの電源電圧が100V、周波数が50または60Hzであること



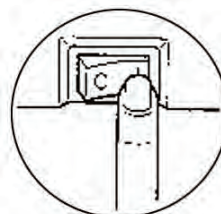
一般的禁止

- ・電源の切断は、必ず電源スイッチで行ってください。電源プラグを電源コンセントから抜いて電源を切ると、プリンター内の回路を傷めたり、印字データを壊したりする場合があります。
- ・印字ヘッドが動いているときは、電源を切らないでください。
- ・電源を切った後、再び電源を入れる場合は4秒以上待ってください。間隔を開けずに電源を入れると、故障の原因になります。

プリンター側面の電源スイッチにより、電源のON、OFFを行います。

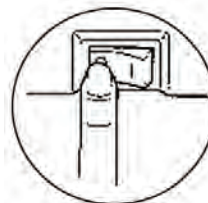


電源ON



「|」側に倒れている状態

電源OFF



「O」側に倒れている状態

リボンカセットの取付け

リボンカセットの取り付けは、次の手順で行います。

1 印字ヘッドを移動させます。

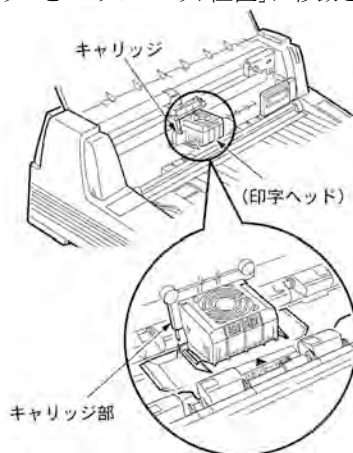
電源スイッチを「ON」にします。印字ヘッドが上昇し左へ移動後、リボンセット位置(中央)に停止したことを確認して、電源スイッチを「OFF」にします。
印字ヘッドが上昇することで、リボンをセットしやすくなります。

2 トップカバーを開きます。

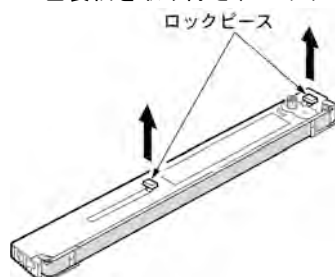
トップカバーの左右のつまみを両手で持って開きます。

3 キャリッジの位置をあわせます。

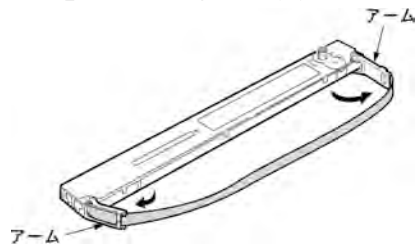
キャリッジが「▲リボンセット位置」にあることを確認します。「▲リボンセット位置」にない場合は、キャリッジを「▲リボンセット位置」に移動させます。



4 リボンカセットの包装紙を取り除き、ロックピースを引き抜きます。

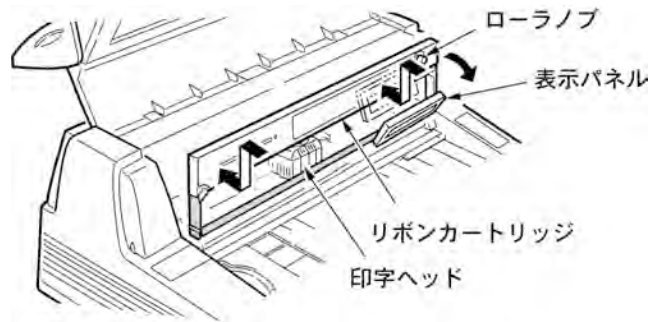


- 5 左右のアームを止まるまで開きます。

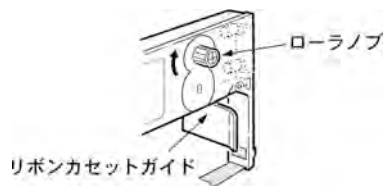


- 6 リボンカセットをセットします。

表示パネルを手前に倒して上方よりリボンカセットを入れて、キャリッジの上側にリボンカセットをセットし、リボンカセットのローラーノブを時計方向(矢印方向)に回しながらリボンカセットの両端を止まるまで押し込みます。

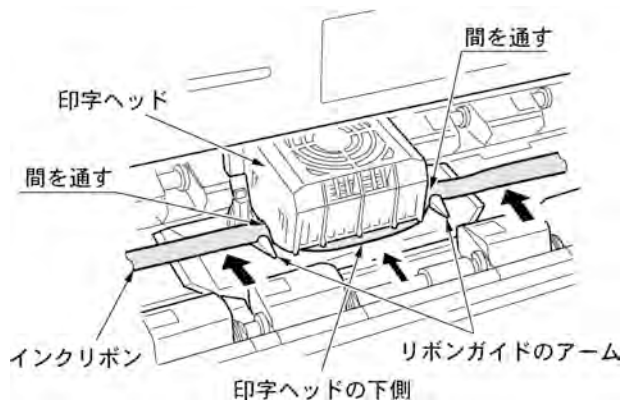


リボンカセットをリボンカセットガイドの上方(矢印部)に突き当てて押し込むと容易にセットできます。

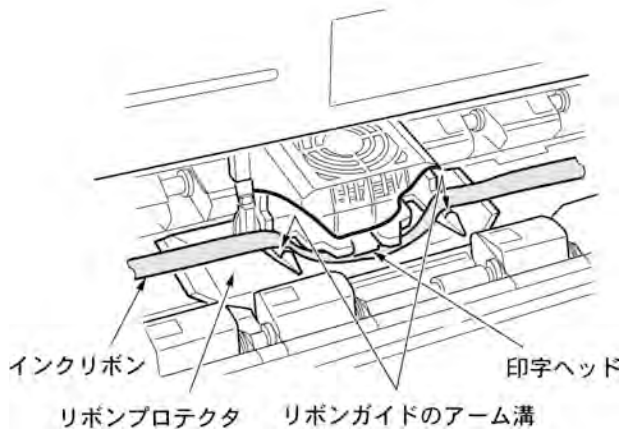


7 印字ヘッドの下にインクリボンを通します。

カセットの左側からインクリボンを引き出し、リボンガイドのアーム先端にインクリボンを乗せ、印字ヘッドの下側にリボンがセットされるように、リボンの左右を指で押さえながら奥のほうに滑り込ませます。

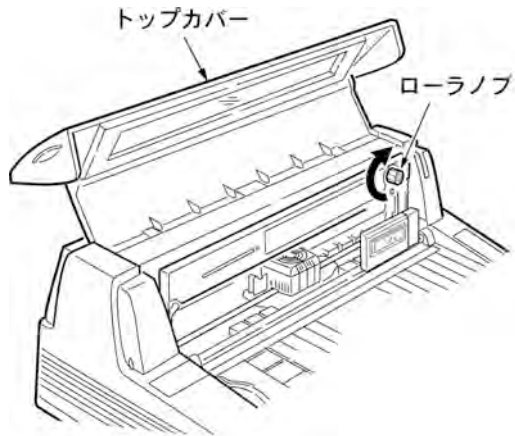


8 リボンガイドのアーム溝にインクリボンが通ったことを確認します。



9 インクリボンのたるみをとります。

最後にもう一度ローラーノブを時計方向(矢印方向)に回してインクリボンのたるみをとります。



10 表示パネルを元に戻し、カバーを閉じます。

オプションの取付け

本プリンターには、次のオプションがあります。

○ オートシートフィーダー（自動給紙機構）

単票用紙を一枚ずつ連続的に送る自動給紙装置です。プリンターの前部または後部に取り付けて使用します。

○ トラクターユニット

連続帳票用紙をセットする装置です。オプションのトラクターユニットをプリンター後方に追加することにより、同時に2種類の連続帳票用紙をセットすることができます。

○ LANアダプタ

本プリンターをネットワークプリンターとして使用する場合に接続します。



警告



発火注意

オプション機器を接続する場合には、当社推奨品以外の機器は接続しないでください。感電・火災または故障の原因となります。

オートシートフィーダーの取付け

オートシートフィーダーは、プリンターの前部または後部に取り付けて使用します。
前後両方に取り付けることもできます。

警告

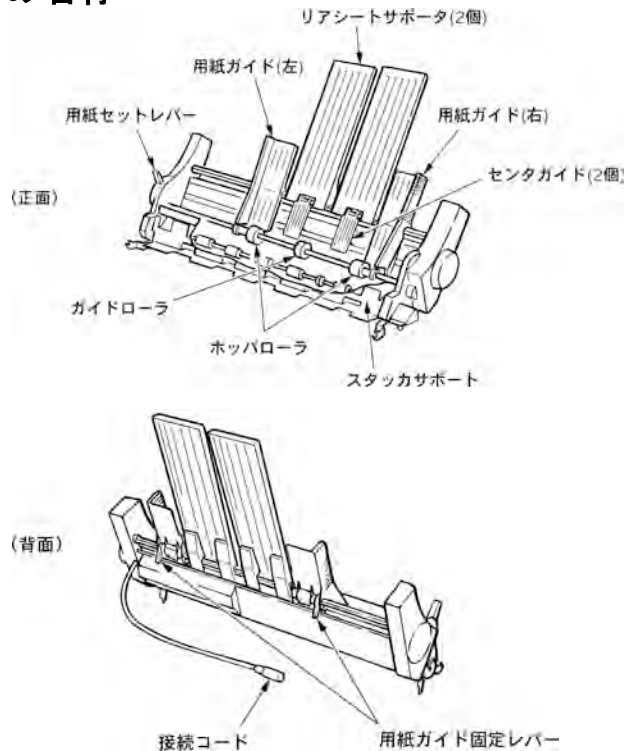


オートシートフィーダーを取り付けたり、取り外したりするときは、必ずパソコンと本プリンターの電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いたあとに行なってください。感電の原因となります。

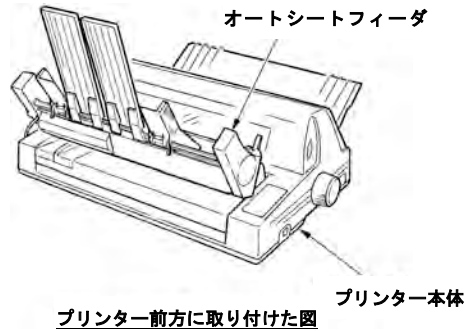


オプションのトラクターユニットを後方に取り付けているときは、オートシートフィーダーをプリンター後方に取り付けられません。

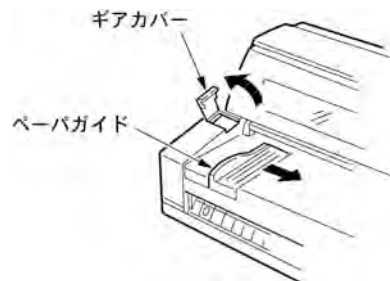
外観と各部の名称



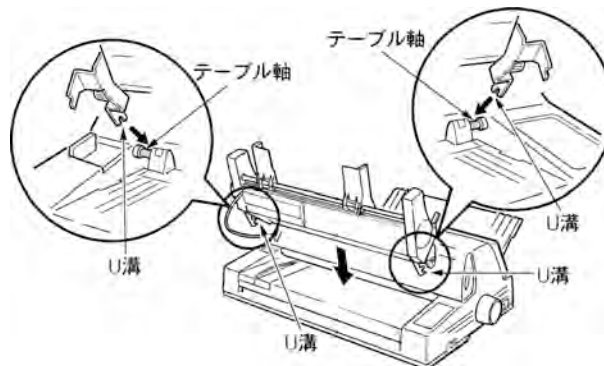
プリンター前部に取り付ける



- 1 プリンターの電源スイッチを「OFF」にします。
電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。
- 2 プリンターのギアカバーを開き、ペーパーガイドを右に寄せます。



- 3 オートシートフィーダーをセットします。
オートシートフィーダーの両側を持ち、両側のU溝をプリンターのテーブル軸に差し込みます。そのまま、オートシートフィーダー全体を静かにおろします。



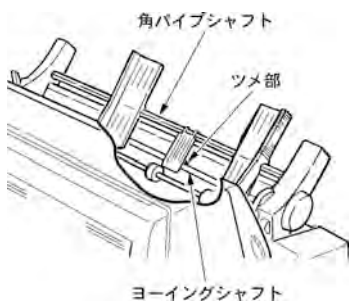
4 ケーブルを接続します。

オートシートフィーダーの接続コードをプリンター左側のコネクタに差し込みます。



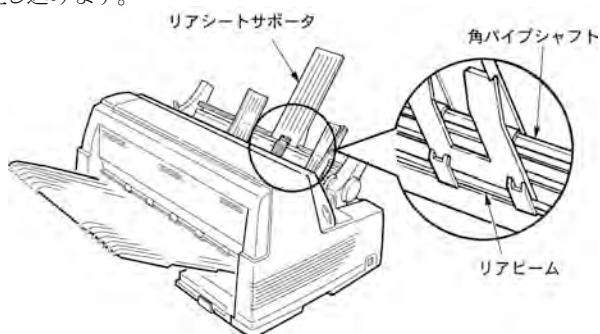
5 センターガイドを取り付けます。

ヨーイングシャフトに引っかけ、ツメ部を角パイプシャフトに差し込みます。



6 リアシートサポータを取り付けます。

角パイプシャフトに引っかけると同時に、リアシートサポータの下側をリアビームにしっかり差し込みます。



センターガイドとリアシートサポータは各2個添付されています。用紙幅にあわせて中央に2個、1個またはすべて取り外してください。取り外した場合は、紛失しないように、用紙ガイドの外側に差し込んでおいてください。

7 プリンターの電源スイッチを「ON」にします。

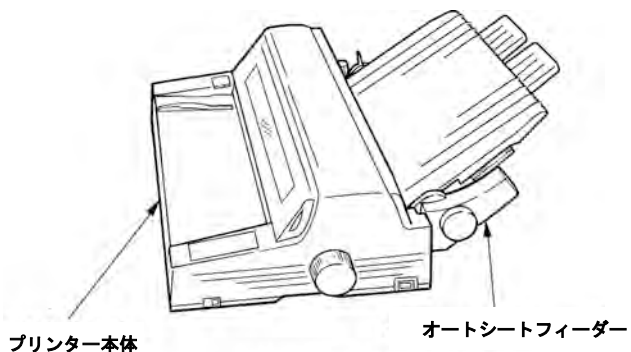
8 接続状態を確認します。

プリンターをオフライン状態にして、「用紙選択」スイッチを押して「マエASF」を選択します。

9 表示パネルに「マエASF」と表示されます。

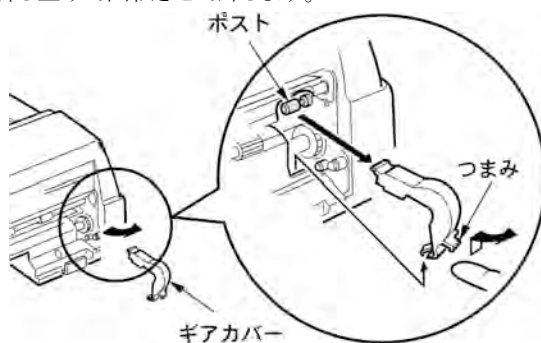
オートシートフィーダーの接続コードを接続していない場合は、表示されません。
オートシートフィーダーおよびセンターガイド、リアシートサポータの取り外しは、取り付けの逆の手順で行います。

プリンター後部に取り付ける



プリンター後方に取り付けた図

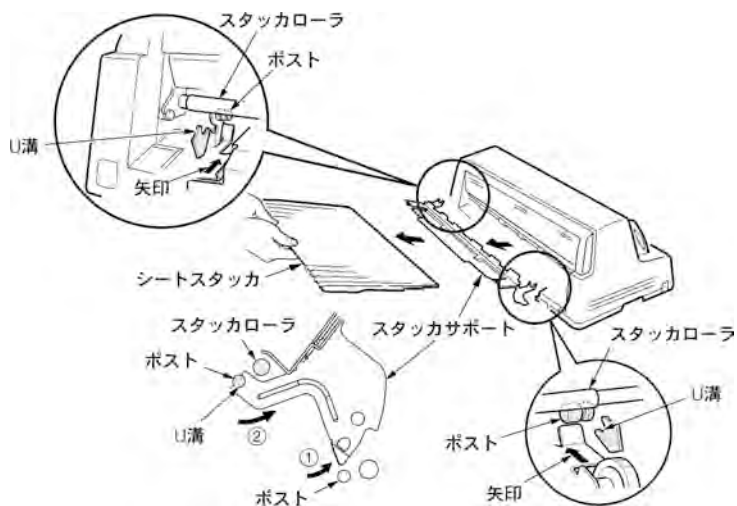
- 1 プリンターの電源スイッチを「OFF」にします。
電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。
- 2 プリンター後方のギアカバーを外します。
つまみを押し上げて回転させて外します。



ギアカバーは、手がギアに触れないためのカバーです。
オプションを使用しないで外したときは、再度逆の手順で取り付けてください。

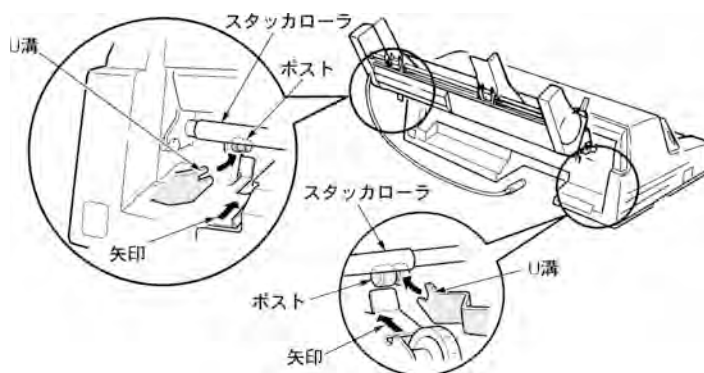
3 シートスタッカおよびスタッカサポートを外します。

取り外したスタッカサポートは使用しませんので、大切に保管してください。
シートスタッカはオートシートフィーダーに取り付けます。



4 オートシートフィーダーをセットします。

オートシートフィーダーを持ち、両側のU溝をプリンタの奥のポストに差し込みます。
そのまま、オートシートフィーダー全体を静かに下におろします。



オートシートフィーダーが確実にセットされているか確認してください。

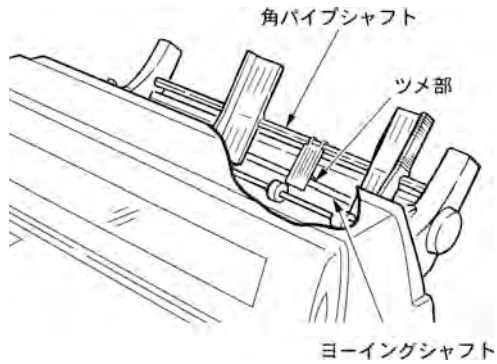
5 ケーブルを接続します。

オートシートフィーダーの接続コードをプリンタ右側のコネクタに接続します。



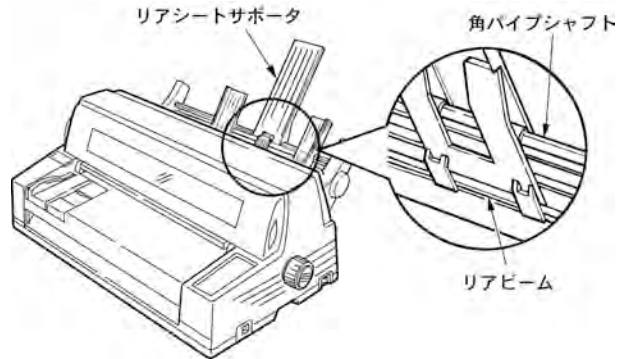
6 センターガイドを取り付けます。

ヨーイングシャフトに引っ掛け、ツメ部を角パイプシャフトに差し込みます。



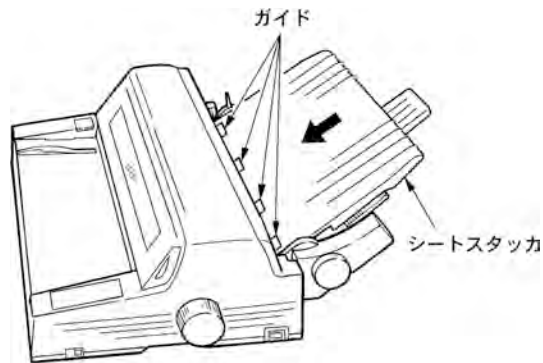
7 リアシートサポータを取り付けます。

角パイプシャフトに引っかけると同時に、リアシートサポータの下側をリアビームにしっかりと差し込みます。



8 プリンターの電源スイッチを「ON」にします。

プリンターから外したシートスタッカを、オートシートフィーダー上にある4カ所のガイドにしっかりと差し込みます。



9 接続状態を確認します。

プリンターをオフライン状態にして、「用紙選択」スイッチを押して「リアASF」を選択します。

10 表示パネルに「リアASF」と表示されます。

オートシートフィーダーの接続コードを接続していない場合は、表示されません。オートシートフィーダーおよびセンタガイド、リアシートサポートの取り外しは、取り付けの逆の手順で行います。

オートシートフィーダーの取り外し

オートシートフィーダーの取り外しは、取付けの逆手順で行います。

- 1 プリンターの電源を切る
- 2 オートシートフィーダーのケーブルを抜く
- 3 オートシートフィーダーを取り外す



警告

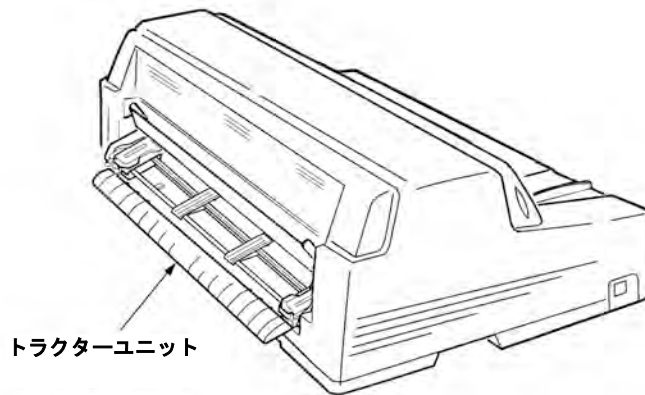
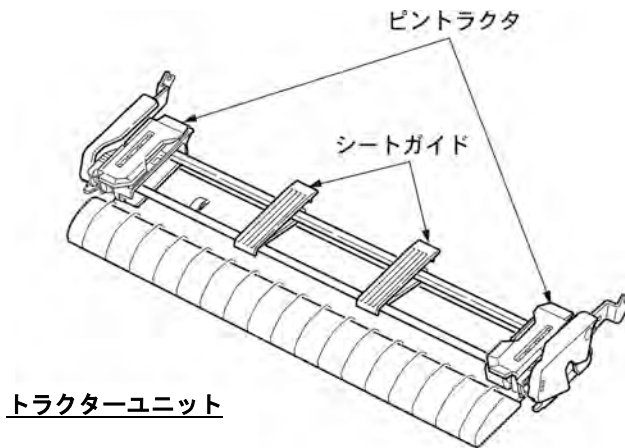


オートシートフィーダーを取り付けたり、取り外したりするときは、必ずパソコンと本プリンターの電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いたあとに行なってください。感電の原因となります。

トラクターユニットの取り付け

トラクターユニットは、プリンターの後部に取り付けて使用します。

外観と各部の名称



プリンター本体に取り付けた図

警告



トラクターユニットを取り付けたり、取り外したりするときは、必ずパソコンと本プリンターの電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いたあとに行なってください。感電の原因となります。

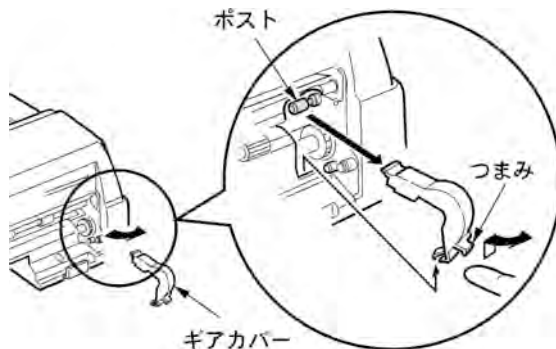


お願い

オプションのトラクターユニットを後方に取り付けているときは、オートシートフィーダーをプリンター後方に取り付けられません。

- 1 プリンターの電源スイッチを「OFF」にします。
電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

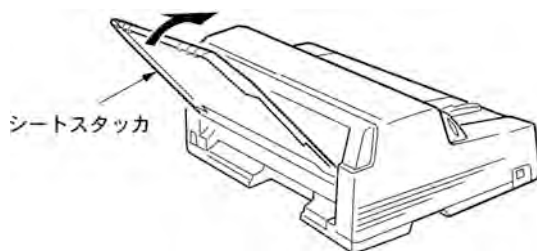
- 2 プリンター後方のギアカバーを外します。
つまみを押し上げて回転させて外します。



お願い

ギアカバーは、手がギアに触れないためのカバーです。オプションを使用しないで外したときは、再度逆の手順で取り付けてください。

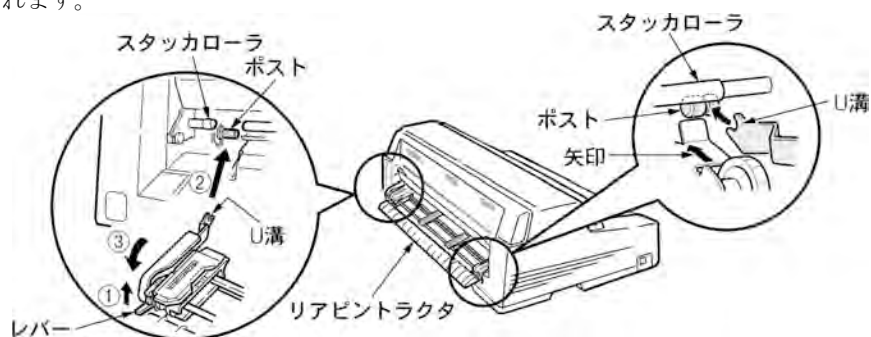
3 シートスタッカを上方に持ち上げて固定します。または、取り外してください。



4 トラクターユニットをセットします。

トラクターユニットは、シートスタッカの内側にセットします。

トラクターユニットの両側のレバー①をつまみながら、トラクターユニット先端のU溝をプリンターの後部のポスト②に差し込み、そのまま③方向に回転させるように下におろします。レバー①から手を離すと、トラクターユニットが固定されます。

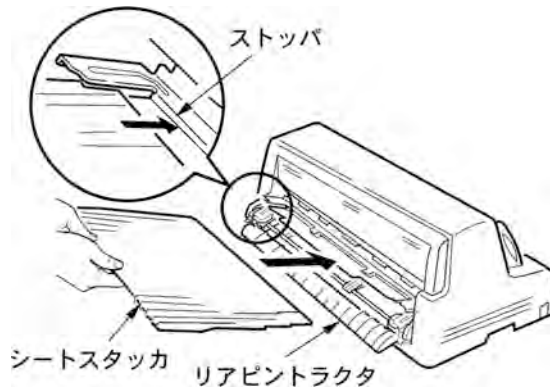


トラクターユニットを上下に動かして固定されていることを確認してください。

お願い

5 シートスタッカをセットする

手順3でシートスタッカを持ち上げた場合は、シートスタッカを下げます。
取り外した場合は、トラクターユニットの左右外側に向けて取り付けます。



トラクターユニットの取り外しは、取り付けの逆の手順で行います。



インタフェースケーブルがトラクターユニットの妨げになるような場合は、ケーブルをリアカバーのツメ部に挟み込んでください。



お願い

インタフェースケーブルを接続するときは、トラクターユニットを外して接続し、その後でトラクターユニットを取り付けなおしてください。

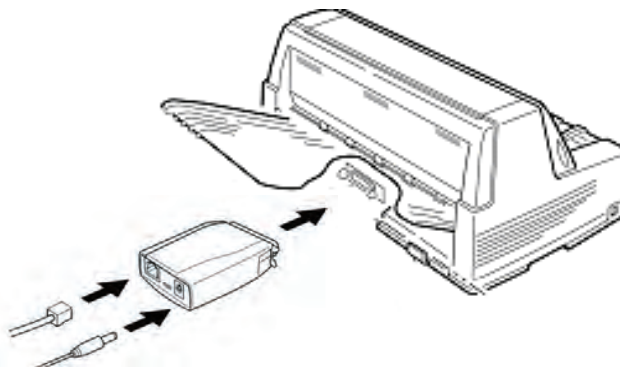
LANアダプタ PC-PB20301 を取り付ける

1 プリンターの電源を切る

プリンターの電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

2 LANアダプタをプリンターに取り付ける

プリンターのパラレルポートにLANアダプタを差し込み、LANアダプタにネットワークケーブル、DCケーブルの順に接続します。



LANアダプタの設定は、LANアダプタ付属の取扱説明書を参照してください。



お願い

「第3章 動作環境の設定」を参照し、メニュー設定で、次の通り、設定項目の変更を行ってください。

- ・『インタフェース』 - 『セントロ/バッファムコウ』
- ・『TOF 改頁』 - 『ムコウ』

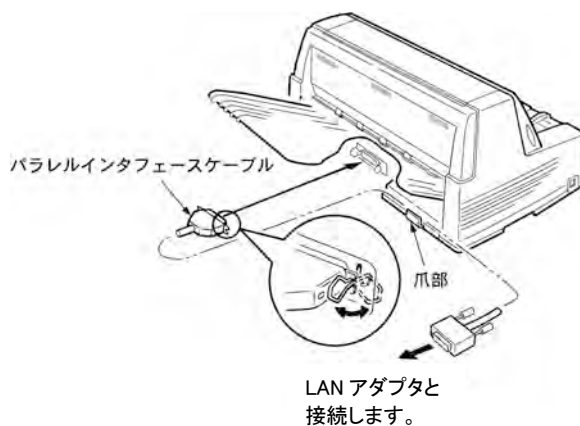
LANアダプタ PC-PB20211 を取り付ける

1 プリンターの電源を切る

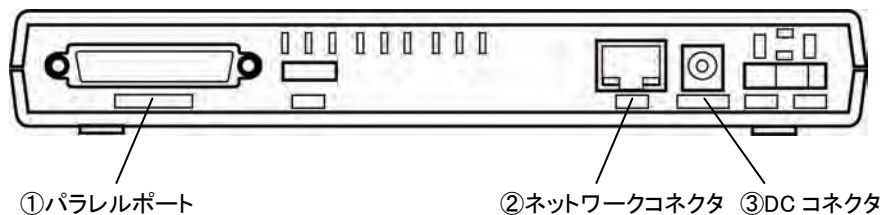
プリンターの電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

2 プリンターとLANアダプタを接続する

プリンター背面のパラレルインターフェースケーブルコネクタに差し込み、左右のロックピンで固定します。



もう一方をLANアダプタ側に接続し、ネットワークケーブル、DCケーブルの順で接続します。



LANアダプタの設定は、LANアダプタ付属の取扱説明書を参照してください。



お願い

「第3章 動作環境の設定」を参照し、メニュー設定で、次の通り、設定項目の変更を行ってください。

- ・『インタフェース』 - 『セントロ/バッファムコウ』
- ・『TOF 改頁』 - 『ムコウ』

第 2 章

プリンタードライバー

この章では、プリンタードライバーの概要、インストールの方法、および設定について説明します。

プリンタードライバーの概要.....	2-2
表記について.....	2-2
ソフトウェアの動作環境.....	2-2
プリンタードライバーのインストール.....	2-3
プリンタードライバーの設定.....	2-5
印刷設定可能範囲について.....	2-42
用紙サイズ.....	2-42
印刷設定可能範囲.....	2-44
用紙の印刷方向.....	2-47

プリンタードライバーの概要

プリンターに添付されているプリンタードライバーの基本的なことがらについて説明します。

表記について

- Microsoft®Windows® XP Operating System 日本語版
- Microsoft®Windows® Server 2003 Operating System 日本語版
- Microsoft®Windows® Vista Operating System 日本語版
- Microsoft®Windows® Server 2008 Operating System 日本語版
- Microsoft®Windows®7 Operating System 日本語版
- Microsoft®WindowsServer®2008 R2 Operating System 日本語版
- Microsoft®Windows®8 Operating System 日本語版
- Microsoft®WindowsServer®2012 Operating System 日本語版

本書中では、上記オペレーティングシステムをそれぞれ Windows XP、Windows Server 2003、Windows Vista、Windows Server 2008、Windows 7、Windows Server 2008 R2、Windows 8、Windows Server 2012 と表記しています。

ソフトウェアの動作環境

対象機種	OS
DOS/V 互換機	Windows XP(日本語版) Windows Server 2003(日本語版) Windows Vista(日本語版) Windows Server 2008(日本語版) Windows 7(日本語版) Windows Server 2008 R2(日本語版) Windows 8(日本語版) Windows Server 2012(日本語版)

プリンタードライバーのインストール

プリンタードライバーのインストール方法について説明します。

また、日立プリンターのホームページにて最新プリンタードライバーのダウンロードサービスを行っていますので、ご利用ください。

日立プリンターホームページ

<http://www.hitachi.co.jp/printer>

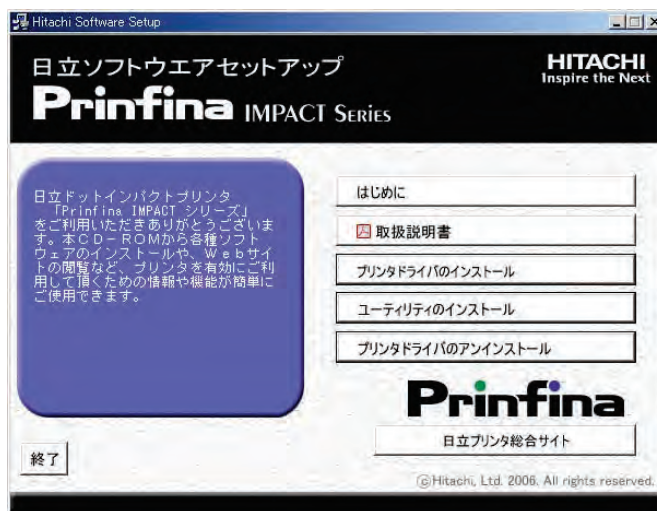
.. ガイド ..

Windows XP、Windows Server 2003、Windows Vista、Windows Server 2008 がインストールされたパソコンと接続して使用する場合で、プリンタードライバーをインストールした後も、プラグ&プレイでプリンターが検出される場合は、プラグ&プレイのウィザードに従って、プリンタードライバーのインストールを行ってください。

1 日立ソフトウェアセットアップを起動する

CD-ROMをパソコンにセットすると、自動的に「日立ソフトウェアセットアップ」が起動します。

※自動的に起動しない場合は、[マイコンピュータ]から[CD-ROMドライブ]を選択し、[Autorun.exe]をダブルクリックしてください。



2 ソフトウェアをインストールする

「ソフトウェアセットアップ」のメニューとガイドに従って、プリンタードライバーのインストールを行います。

インストール方法の詳細は、「ソフトウェアセットアップ」のインストールガイドを参照してください。

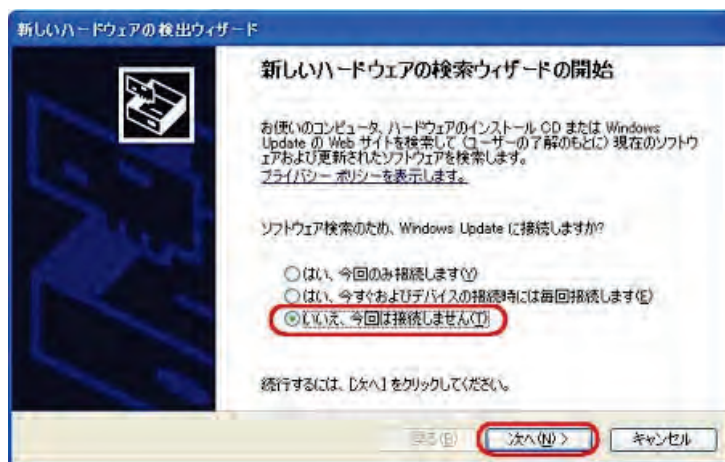
※プラグ & プレイでプリンターが検出された場合

ソフトウェアセットアップからプリンタードライバーをインストールする場合、プラグ & プレイのプリンタ検出画面で「キャンセル」を選択してください。

※ Windows XP Service Pack2 のプラグ & プレイ プリンタ検出画面について

プラグ & プレイにより新しいプリンタが検出された場合、Windows Update に接続するメッセージが表示されます。

本プリンターのプリンタードライバーは、CD-ROM またはホームページで最新版をご提供しています。プラグ & プレイからプリンタードライバーをインストールする場合は、「いいえ、今回は接続しません(T)」を選択してください。



プリンタードライバーの設定

ここでは、プリンタードライバーの設定画面について説明します。

Windows Server 2003 の設定画面

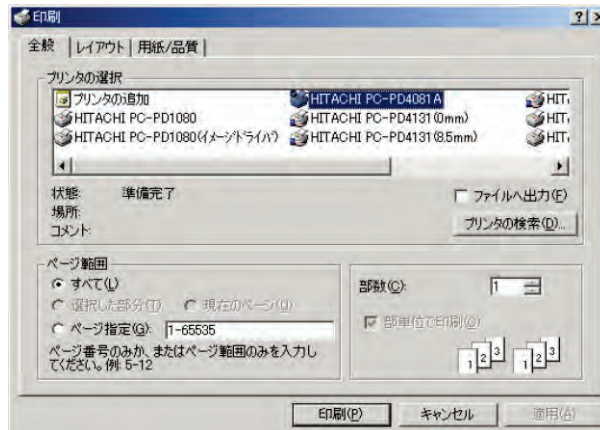
Windows 2003 でのプリンタードライバーの設定は、「印刷」、「印刷設定」、「プリンターのプロパティ」ダイアログボックスで行います。

各ダイアログボックスで、設定できる項目が変わりますので、ご注意ください。

.. ガイド ..

- ・アプリケーションソフトによっては、データ保存時に印刷に関する設定（プリンタードライバーの設定を含む）を保存します。このため、アプリケーションソフト側から変更するまで、保存してある設定値で印刷されることがあります。また、アプリケーション側で用紙サイズなどを設定できるものもあります。
- ・新しい用紙を作成する場合は、「マイコンピュータ」のプリンターを開き、ツールバーの「ファイル」から「サーバーのプロパティ」をクリックして、作成してください。
用紙幅は、13.6インチ以内で設定してください。
- ・給紙方法の「ハード優先」は現在のプリンターの給紙先に印刷します。また、印字開始位置はメニュー設定項目の TOF 位置の設定で調整可能となります。

アプリケーションからの設定画面（印刷）



各アプリケーションソフトでのプリンタの設定項目から表示するプリンタのプロパティです。印刷時に用紙サイズや解像度などの印刷に関する設定が行えます。

【設定画面の表示と設定の変更】

プリンタ設定のプロパティを表示する方法は、アプリケーションソフトごとに異なります。ここでは、ワードパットを例に説明します。

1 ワードパットの[ファイル]メニューから、[印刷]を選択する

2 目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する

[適用]をクリックすると

変更した設定を保存します。このときダイアログボックスは開いたままです。

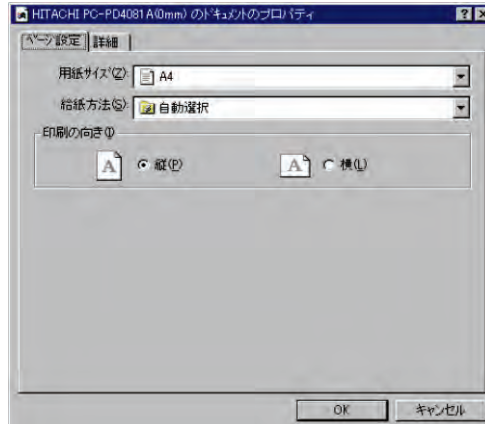
[キャンセル]をクリックすると

変更した設定を適用しないで「印刷」ダイアログボックスを終了します。

[印刷]をクリックすると

変更した設定で印刷が開始されます。

【スタート】からの設定画面（印刷設定）



用紙サイズや解像度などの印刷に関する既定値を設定します。
アプリケーションソフトで用紙やプリンタの設定を行わない場合は、この設定値で印刷します。

【設定画面の表示と設定の変更】

- 1 【スタート】から、【設定】【プリンタ】の順に選択する
- 2 該当するプリンタのアイコンをクリックし、【ファイル】メニューから【印刷設定】を選択する
- 3 目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する
【OK】をクリックすると
変更した設定を保存して「印刷設定」ダイアログボックスを終了します。
【キャンセル】をクリックすると
変更した設定を保存しないで「印刷設定」ダイアログボックスを終了します。
【適用】をクリックすると
変更した設定を保存します。このときダイアログボックスを開いたままです。

.. ガイド ..

変更した設定を以前の設定に戻すには以下の2通りの方法があります。

- (1) 設定を変更した後、変更した項目で右クリックして[変更したオプションを元に戻す]ボタンを表示し、クリックする。
- (2) [詳細設定]ダイアログの「詳細なドキュメントの設定」を右クリックして、[変更したオプションを元に戻す]ボタンを表示し、クリックする。

プリンタのプロパティ



プリンタドライバーやポートの選択などが行えます。

【設定画面の表示と設定の変更】

- 1 [スタート]から、[設定][プリンタ]の順に選択する
- 2 該当するプリンタのアイコンをクリックし、[ファイル]メニューから[プロパティ]を選択する
- 3 目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する
[OK]をクリックすると
変更した設定を保存してプロパティを終了します。
[キャンセル]をクリックすると
変更した設定を保存しないでプロパティを終了します。
[適用]をクリックすると
変更した設定を保存します。このときプロパティは開いたままです。

.. ガイド ..

変更した設定を以前の設定に戻すには以下の方法があります。([デバイスの設定] タブのみ有効)

設定を変更した後、[デバイスの設定]タブの[デバイスの設定]を右クリックします。

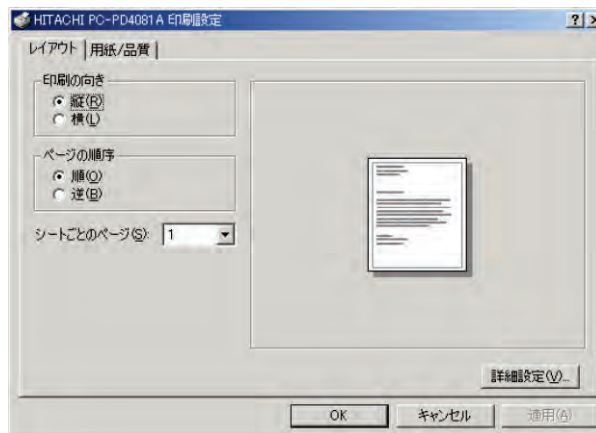
[変更したオプションを元に戻す]ボタンが表示されますので、クリックします。

ダイアログ一覧

(注1)とあるダイアログは「印刷」、「印刷設定」ダイアログボックスで表示されます。

(注2)とあるダイアログは「プリンタのプロパティ」ダイアログボックスでのみ表示されます。

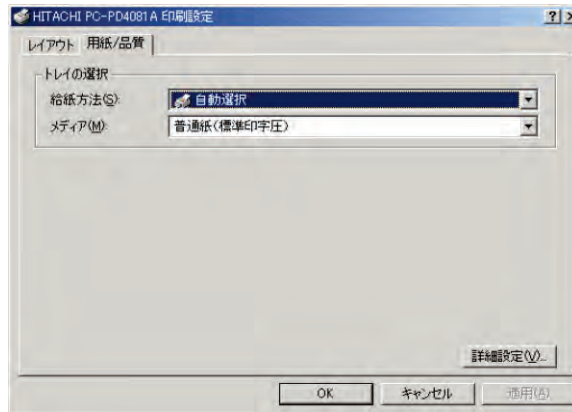
〔レイアウト〕 (注1)



印刷の向き、ページ順序、シートごとの印刷ページなど、レイアウトに関する設定などを行います。

設定項目	内容
印刷の向き	印刷の向きを指定します。
ページの順序	印刷するページの順序を指定します。
シートごとのページ	1枚の用紙に何ページ分印刷するのかを指定します。

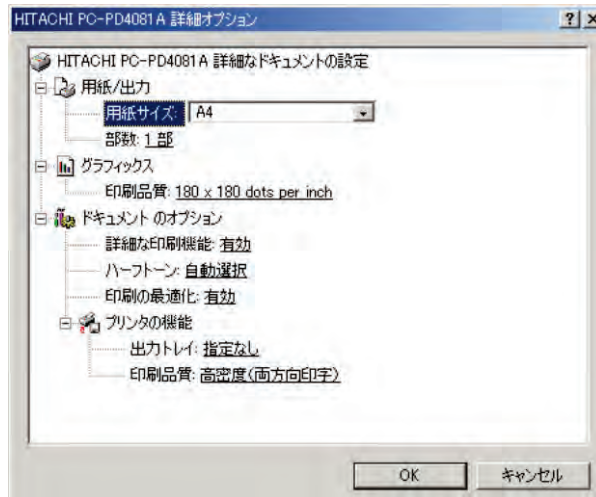
〔用紙/品質〕 (注1)



給紙方法・メディアなどの用紙に関する設定を行います。

設定項目	内容
給紙方法	用紙の給紙方法を選択します。 ・「自動選択」のまま印刷すると、[デバイスの設定]タブで、同じ用紙のサイズが割り当てられている給紙方法で印刷します。同じ用紙サイズがどの給紙方法にも割り当てられていない場合は、手差しで印刷します。
メディア	用紙の厚さを設定します。

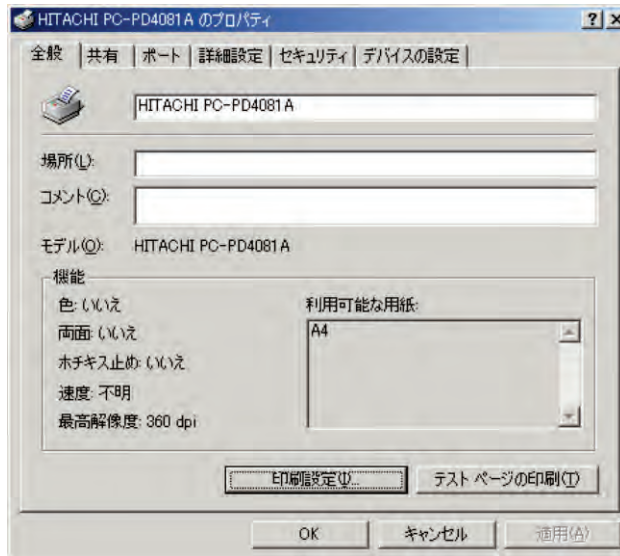
〔詳細〕 (注1)



次の項目の設定が行えます。

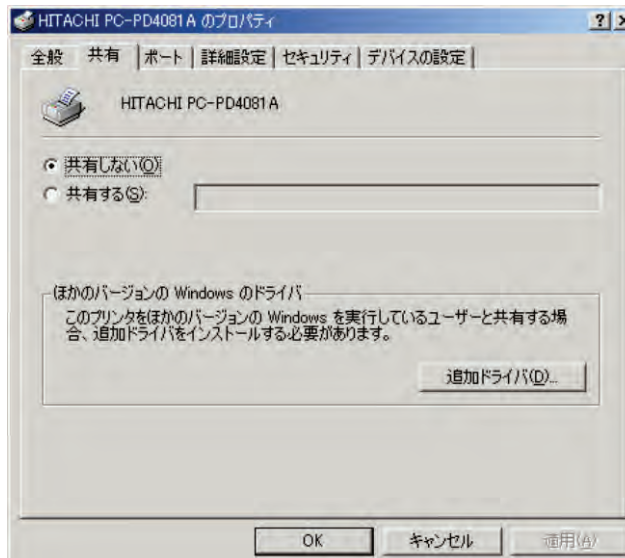
設定項目	設定内容		備考
用紙/出力	用紙サイズ		用紙サイズを選択します。
	部数		印刷部数を設定します。
グラフィックス	印刷品質		解像度を設定します。
ドキュメントのオプション	詳細な印刷機能		印刷機能の設定を有効にするかしないかを設定します。 有効：[ページの順序][シートごとのページ]および[部数]の設定が有効になります。 無効：[ページの順序][シートごとのページ]および[部数]の設定が無効(初期値)になります。
	ハーフトーン		ハーフトーンの種類を設定します。
	印刷の最適化		印刷の最適化を有効にするかしないかを設定します。
ドキュメントのオプション	プリンタの機能	印刷品質	印刷の品位を設定します。
		出力トレイ	用紙の排出方法を設定します。 ・自動排出: プリンタの操作パネルで指定した排出方法になります。 ・手前排出: 単票テーブル側に排出します。 ・後方排出: リアスタッカに排出します。

〔全般〕 (注 2)



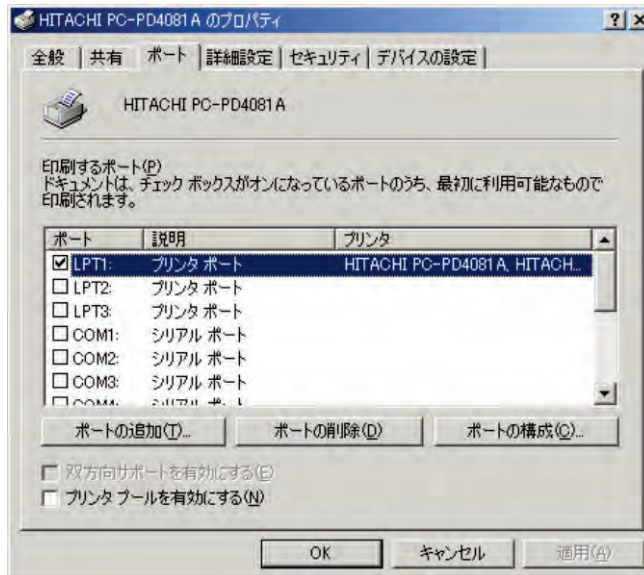
プリンタの場所の入力、コメントの入力、機能一覧の表示、印刷設定、テストページの印刷を行います。

〔共有〕 (注 2)



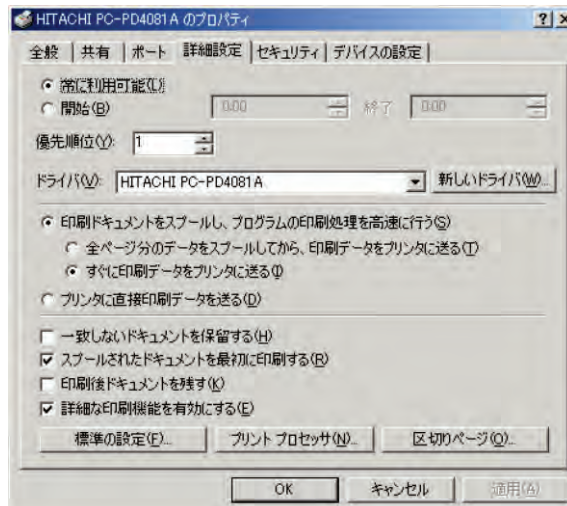
プリンタの共有に関する設定や代替ドライバーのインストールを行います。ただし、代替ドライバーはサポートしません。

〔ポート〕 (注2)



印刷先のポートに関する設定を行います。

〔詳細設定〕 (注2)



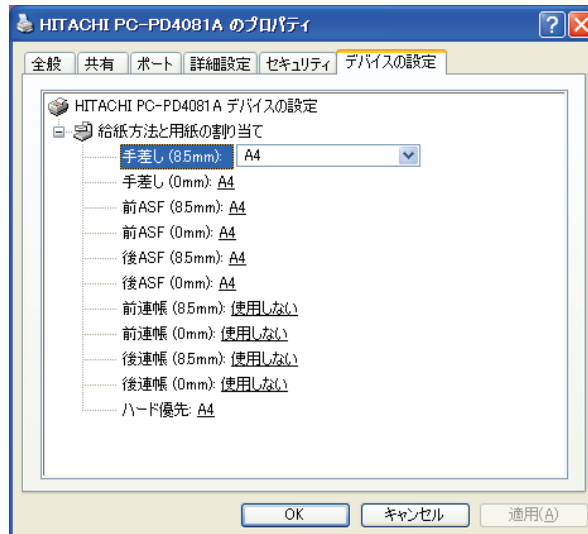
プリンタの利用可能時間、優先順位、プリントプロセッサ、区切りページを設定します。

〔セキュリティ〕 (注2)



プリンタのセキュリティに関する設定を行います。

〔デバイスの設定〕 (注2)



給紙方法と用紙の割り当ての設定を行います。

設定項目	内容
給紙方法と用紙の割り当て	給紙方法に対して、用紙を割り当てます。給紙方法で「自動選択」を指定した場合は、同一サイズの内紙を複数の給紙方法に割り当てないでください。

Windows XP の設定画面

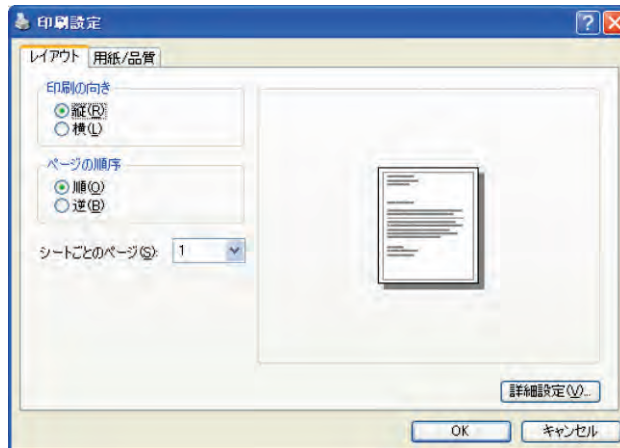
Windows XP でのプリンタドライバの設定は、「印刷」、「印刷設定」、「プリンタのプロパティ」ダイアログボックスで行います。

各ダイアログボックスで、設定できる項目が変わりますので、ご注意ください。

.. ガイド ..

- アプリケーションソフトによっては、データ保存時に印刷に関する設定（プリンタドライバの設定を含む）を保存します。このため、アプリケーションソフト側から変更するまで、保存してある設定値で印刷されることがあります。また、アプリケーション側で用紙サイズなどを設定できるものもあります。
- 新しい用紙を作成する場合は、「マイコンピュータ」のプリンタを開き、ツールバーの「ファイル」から「サーバーのプロパティ」をクリックして、作成してください。
用紙幅は、13.6インチ以内で設定してください。
- 給紙方法の「ハード優先」は現在のプリンタの給紙先に印刷します。また、印字開始位置はメニュー設定項目の TOF 位置の設定で調整可能となります。

アプリケーションからの設定画面（印刷）



各アプリケーションソフトでのプリンタの設定項目から表示するプリンタのプロパティです。印刷時に用紙サイズや解像度などの印刷に関する設定が行えます。

【設定画面の表示と設定の変更】

プリンタ設定のプロパティを表示する方法は、アプリケーションソフトごとに異なります。ここでは、ワードパットを例に説明します。

- 1 ワードパットの[ファイル]メニューから、[印刷]を選択する
- 2 目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する

[適用]をクリックすると

変更した設定を保存します。このときダイアログボックスは開いたままです。

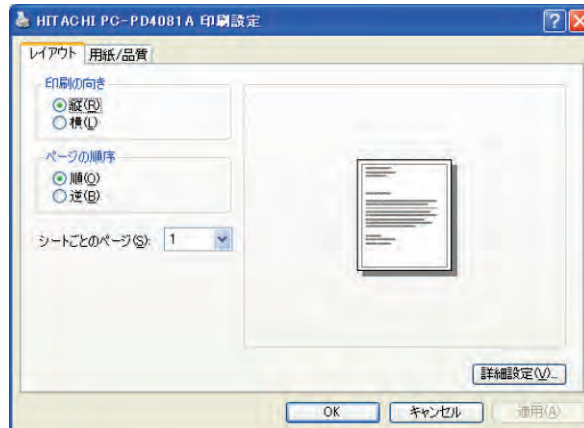
[キャンセル]をクリックすると

変更した設定を適用しないで「印刷」ダイアログボックスを終了します。

[印刷]をクリックすると

変更した設定で印刷が開始されます。

【スタート】からの設定画面（印刷設定）



用紙サイズや解像度などの印刷に関する既定値を設定します。
アプリケーションソフトで用紙やプリンタの設定を行わない場合は、この設定値で印刷します。

【設定画面の表示と設定の変更】

- 1 【スタート】から、【プリンタとFAX】の順に選択する
- 2 該当するプリンタのアイコンをクリックし、【ファイル】メニューから【印刷設定】を選択する
- 3 目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する

【OK】をクリックすると

変更した設定を保存して「印刷設定」ダイアログボックスを終了します。

【キャンセル】をクリックすると

変更した設定を保存しないで「印刷設定」ダイアログボックスを終了します。

【適用】をクリックすると

変更した設定を保存します。このときダイアログボックスを開いたままです。

.. ガイド ..

変更した設定を以前の設定に戻すには以下の2通りの方法があります。

- (1) 定を変更した後、変更した項目で右クリックして[変更したオプションを元に戻す]ボタンを表示し、クリックする。
- (2) [詳細設定]ダイアログの「詳細なドキュメントの設定」を右クリックして、[変更したオプションを元に戻す]ボタンを表示し、クリックする。

プリンタのプロパティ



プリンタドライバやポートの選択などが行えます。

【設定画面の表示と設定の変更】

- 1 [スタート]から、[プリンタとFAX]の順に選択する
- 2 該当するプリンタのアイコンをクリックし、[ファイル]メニューから[プロパティ]を選択する
- 3 目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する
 - [OK]をクリックすると
変更した設定を保存してプロパティを終了します。
 - [キャンセル]をクリックすると
変更した設定を保存しないでプロパティを終了します。
 - [適用]をクリックすると
変更した設定を保存します。このときプロパティは開いたままです。

.. ガイド ..

変更した設定を以前の設定に戻すには以下の方法があります。([デバイスの設定] タブのみ有効)

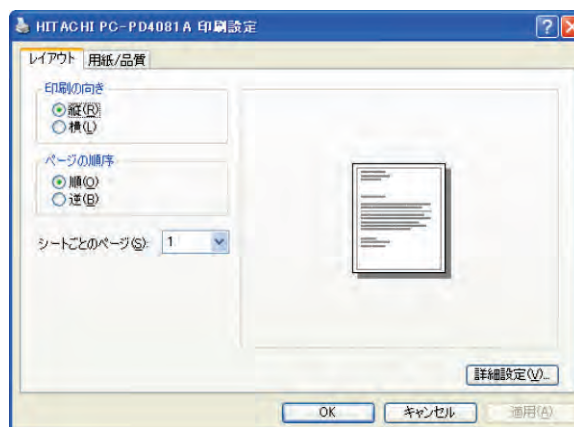
設定を変更した後、[デバイスの設定]タブの[デバイスの設定]を右クリックします。
[変更したオプションを元に戻す]ボタンが表示されますので、クリックします。

ダイアログ一覧

(注1)とあるダイアログは「印刷」、「印刷設定」ダイアログボックスで表示されます。

(注2)とあるダイアログは「プリンタのプロパティ」ダイアログボックスでのみ表示されます。

〔レイアウト〕 (注1)



印刷の向き、ページ順序、シートごとの印刷ページなど、レイアウトに関する設定などを行います。

設定項目	内容
印刷の向き	印刷の向きを指定します。
ページの順序	印刷するページの順序を指定します。
シートごとのページ	1枚の用紙に何ページ分印刷するのかを指定します。

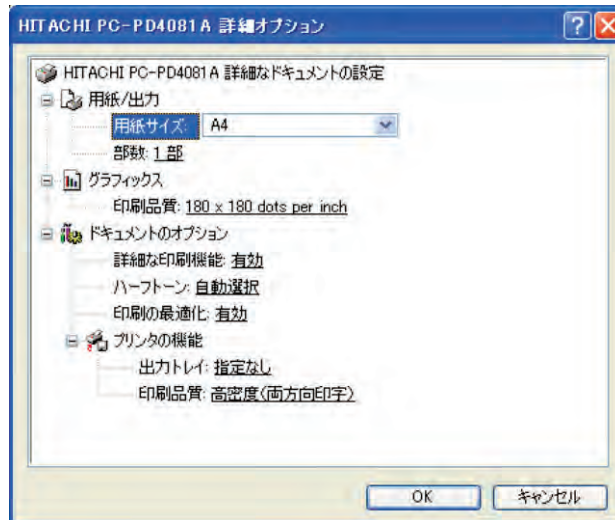
〔用紙/品質〕 (注1)



給紙方法・メディアなどの用紙に関する設定を行います。

設定項目	内容
給紙方法	用紙の給紙方法を選択します。 ・「自動選択」のまま印刷すると、[デバイスの設定]タブで、同じ用紙のサイズが割り当てられている給紙方法で印刷します。同じ用紙サイズがどの給紙方法にも割り当てられていない場合は、手差しで印刷します。
メディア	用紙の厚さを設定します。

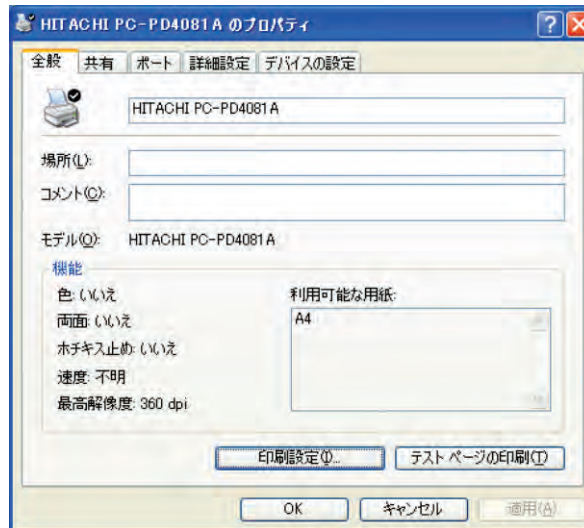
〔詳細〕 (注1)



次の項目の設定が行えます。

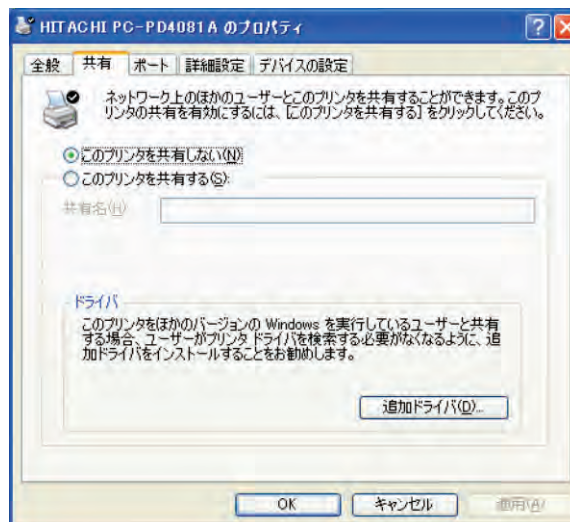
設定項目	設定内容		備考
用紙/出力	用紙サイズ		用紙サイズを選択します。
	部数		印刷部数を設定します。
グラフィックス	印刷品質		解像度を設定します。
ドキュメントのオプション	詳細な印刷機能		印刷機能の設定を有効にするかしないかを設定します。 有効：[ページの順序][シートごとのページ]および[部数]の設定が有効になります。 無効：[ページの順序][シートごとのページ]および[部数]の設定が無効(初期値)になります。
	ハーフトーン		ハーフトーンの種類を設定します。
	印刷の最適化		印刷の最適化を有効にするかしないかを設定します。
ドキュメントのオプション	プリンタの機能	印刷品質	印刷の品位を設定します。
		出力トレイ	用紙の排出方法を設定します。 ・自動排出: プリンタの操作パネルで指定した排出方法になります。 ・手前排出: 単票テーブル側に排出します。 ・後方排出: リアスタックに排出します。

〔全般〕 (注 2)



プリンタの場所の入力、コメントの入力、機能一覧の表示、印刷設定、テストページの印刷を行います。

〔共有〕 (注 2)

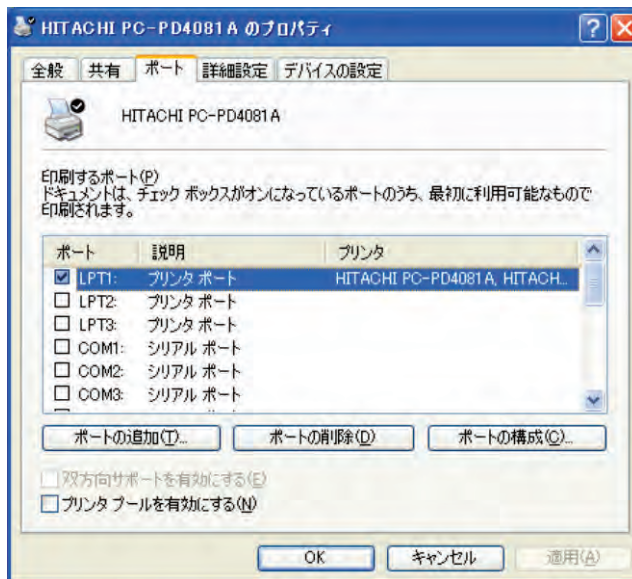


プリンタの共有に関する設定や代替ドライバーのインストールを行います。

ただし、代替ドライバーはサポートしません。

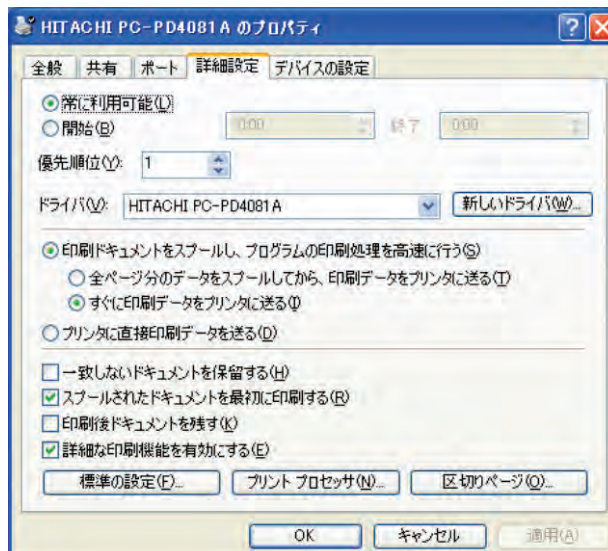
※上記のような画面が表示される場合は、ウィザードに従ってネットワークのセットアップを実行してください。

〔ポート〕 (注2)



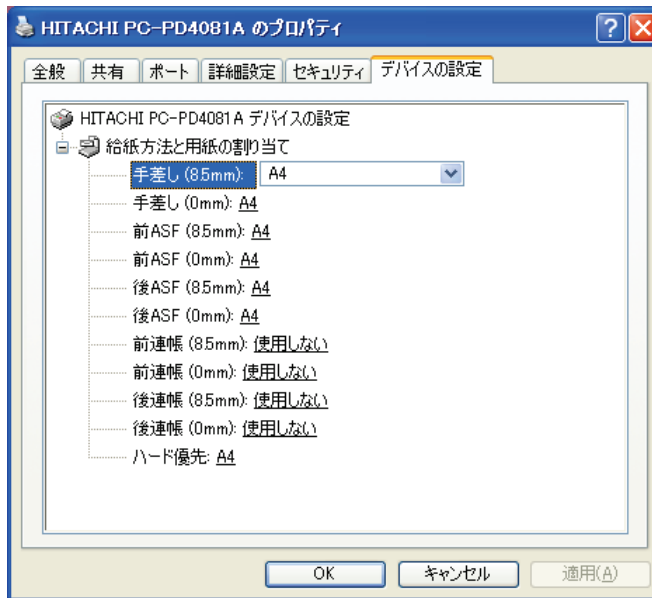
印刷先のポートに関する設定を行います。

〔詳細設定〕 (注2)



プリンタの利用可能時間、優先順位、プリントプロセッサ、区切りページを設定します。

【デバイスの設定】 (注2)



給紙方法と用紙の割り当ての設定を行います。

設定項目	内容
給紙方法と用紙の割り当て	給紙方法に対して、用紙を割り当てます。給紙方法で「自動選択」を指定した場合は、同一サイズ of 用紙を複数の給紙方法に割り当てないでください。

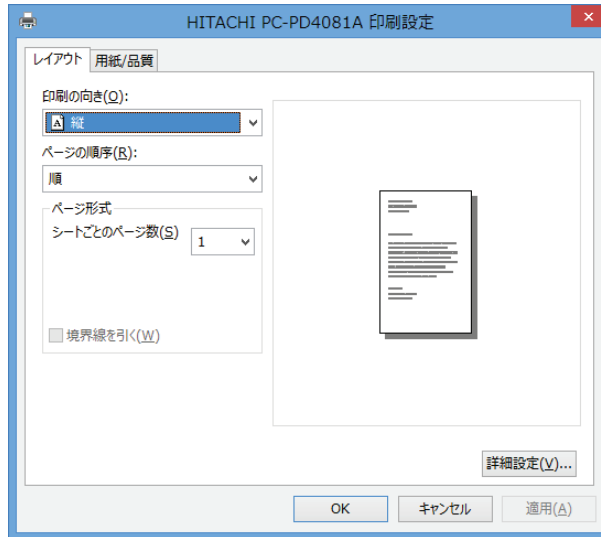
Windows Vista/ Windows Server2008 Windows 7/ Windows Server2008 R2 Windows 8/ Windows Server2012 の設定画面

Windows Vista/ Windows Server2008/ Windows 7/ Windows Server2008 R2
Windows8/ Windows Server2012 でのプリンタドライバの設定は、「印刷」、
「印刷設定」、「プリンタのプロパティ」ダイアログボックスで行います。
各ダイアログボックスで、設定できる項目が変わりますので、ご注意ください。
プリンタのプロパティの表示方法は Windows によって異なりますので各 Windows の
操作に従ってください。

.. ガイド ..

- ・アプリケーションソフトによっては、データ保存時に印刷に関する設定（プリンタドライバの設定を含む）を保存します。このため、アプリケーションソフト側から変更するまで、保存してある設定値で印刷されることがあります。また、アプリケーション側で用紙サイズなどを設定できるものもあります。
- ・新しい用紙を作成する場合は、「プリンタ」のプリンタアイコン以外の任意の場所を右クリックし、「管理者として実行」-「サーバーのプロパティ」の「用紙」タブで作成してください。
用紙幅は、13.6インチ以内で設定してください。
画面は Windows 8 を例に説明しています。

アプリケーションからの設定画面



各アプリケーションソフトでのプリンタの設定項目から表示するプリンタのプロパティです。印刷時に用紙サイズや解像度などの印刷に関する設定が行えます。

【設定画面の表示と設定の変更】

プリンタ設定のプロパティを表示する方法は、アプリケーションソフトごとに異なります。ここでは、ワードパットを例に説明します。

1 ワードパットの[ファイル]メニューから、[印刷]を選択する

2 目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する

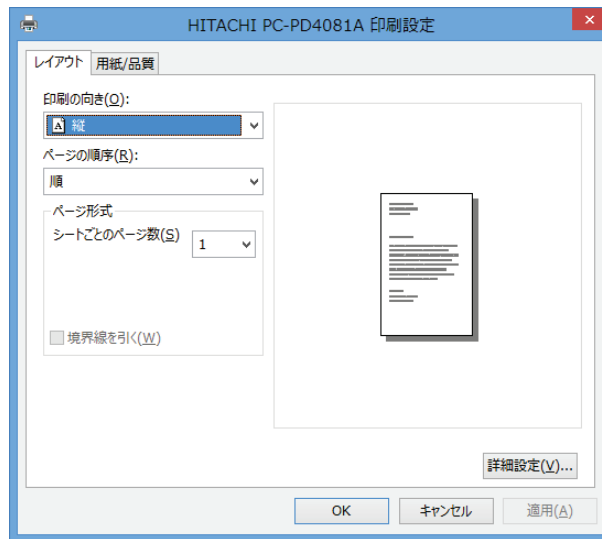
[OK]をクリックすると、

変更した設定を保存してプロパティを終了します。

[キャンセル]をクリックすると、

変更した設定を保存しないでプロパティを終了します。

【スタート】からの設定画面（印刷設定）



用紙サイズや解像度などの印刷に関する既定値を設定します。
アプリケーションソフトで用紙やプリンタの設定を行わない場合は、この設定値で印刷します。

【設定画面の表示と設定の変更】

- 1 [チャーム]から、[設定][コントロールパネル][デバイスとプリンター]の順に選択する
- 2 該当するプリンターのアイコンをクリックし、[ファイル]メニューから[印刷設定]を選択する
- 3 目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する

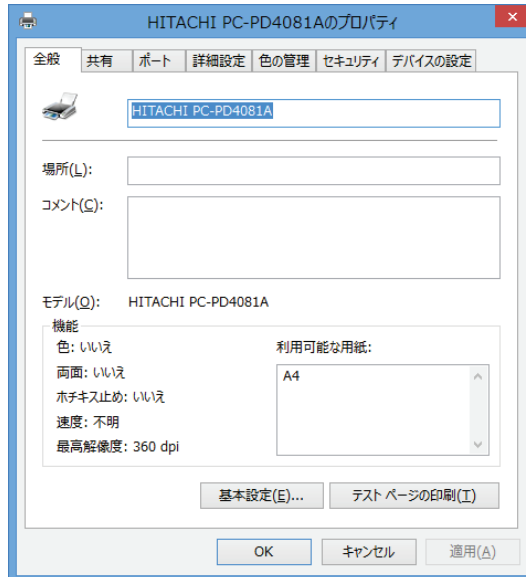
[OK]をクリックすると、
変更した設定を保存してプロパティを終了します。
[キャンセル]をクリックすると、
変更した設定を保存しないでプロパティを終了します。

.. ガイド ..

変更した設定を以前の設定に戻すには以下の2通りの方法があります。

- (1) 設定を変更した後、変更した項目で右クリックして[変更したオプションを元に戻す]ボタンを表示し、クリックする。
- (2) [詳細設定]ダイアログの「詳細なドキュメントの設定」を右クリックして、[変更したオプションを元に戻す]ボタンを表示し、クリックする。

プリンタのプロパティ



プリンタードライバーやポートの選択などが行えます。

【設定画面の表示と設定の変更】

- 1 [チャーム]から、[設定][コントロールパネル][デバイスとプリンター]の順に選択する
- 2 該当するプリンタのアイコンをクリックし、[ファイル]メニューから [プリンターのプロパティ]を選択する
- 3 目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する
 - [OK]をクリックすると
変更した設定を保存してプロパティを終了します。
 - [キャンセル]をクリックすると
変更した設定を保存しないでプロパティを終了します。
 - [適用]をクリックすると
変更した設定を保存します。このときプロパティは開いたままです。

.. ガイド ..

変更した設定を以前の設定に戻すには以下の方法があります。([デバイスの設定] タブのみ有効)

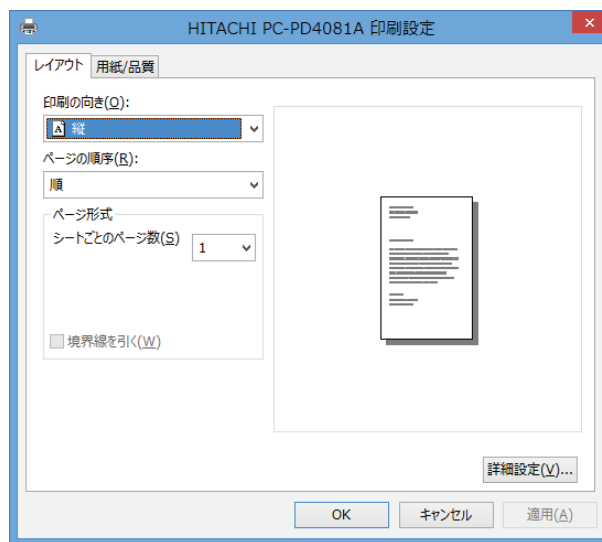
設定を変更した後、[デバイスの設定]タブの[デバイスの設定]を右クリックします。
[変更したオプションを元に戻す]ボタンが表示されますので、クリックします。

ダイアログ一覧

(注1)とあるダイアログは「印刷」、「印刷設定」ダイアログボックスで表示されます。

(注2)とあるダイアログは「プリンタのプロパティ」ダイアログボックスでのみ表示されます。

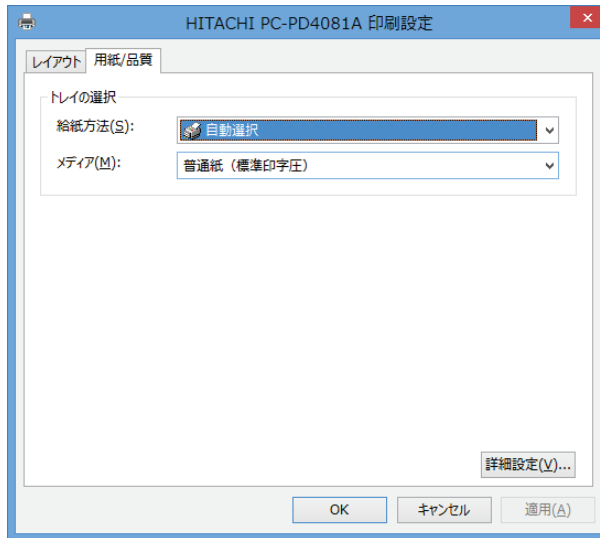
〔レイアウト〕 (注1)



印刷の向き、ページ順序、シートごとの印刷ページなど、レイアウトに関する設定などを行います。

設定項目	内容
印刷の向き	印刷の向きを指定します。
ページの順序	印刷するページの順序を指定します。
シートごとのページ	1枚の用紙に何ページ分印刷するのかを指定します。

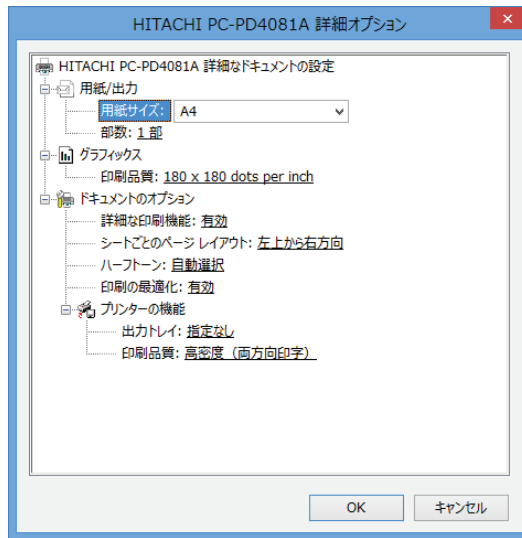
〔用紙/品質〕 (注1)



給紙方法・メディアなどの用紙に関する設定を行います。

設定項目	内容
給紙方法	用紙の給紙方法を選択します。 ・「自動選択」のまま印刷すると、[デバイスの設定]タブで、同じ用紙のサイズが割り当てられている給紙方法で印刷します。同じ用紙サイズがどの給紙方法にも割り当てられていない場合は、手差しで印刷します。
メディア	用紙の厚さを設定します。

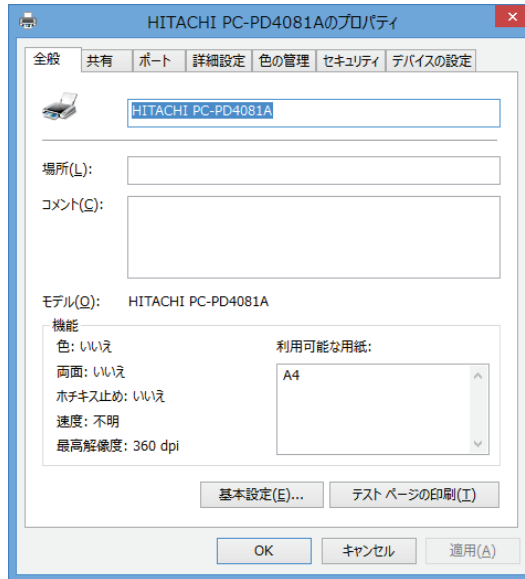
〔詳細〕 (注1)



次の項目の設定が行えます。

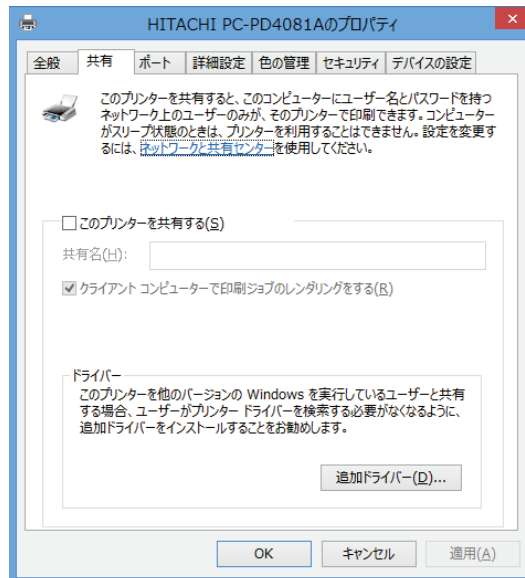
設定項目	設定内容	備考	
用紙/出力	用紙サイズ	用紙サイズを選択します。	
	部数	印刷部数を設定します。	
グラフィックス	印刷品質	解像度を設定します。	
ドキュメントのオプション	詳細な印刷機能	印刷機能の設定を有効にするかしないかを設定します。 有効：[ページの順序][シートごとのページ]および[部数]の設定が有効になります。 無効：[ページの順序][シートごとのページ]および[部数]の設定が無効(初期値)になります。	
	ハーフトーン	ハーフトーンの種類を設定します。	
	印刷の最適化	印刷の最適化を有効にするかしないかを設定します。	
	プリンターの機能	出カトレイ	用紙の排出方法を設定します。 ・自動排出: プリンターの操作パネルで指定した排出方法になります。 ・手前排出: 単票テーブル側に排出します。 ・後方排出: リアスタックに排出します。
		印刷品質	印刷の圧力を設定します。

〔全般〕 (注2)



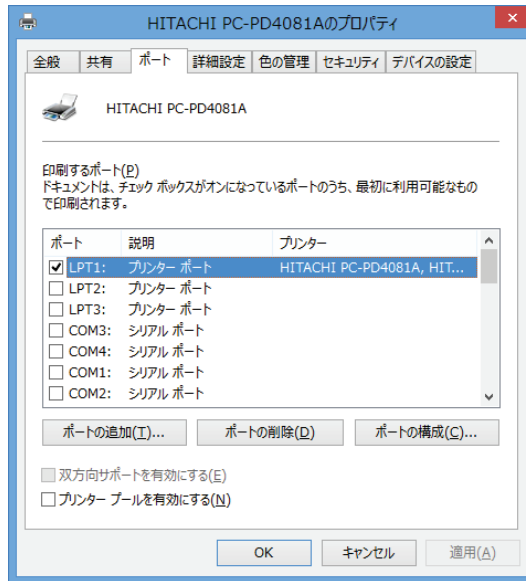
プリンターの場所の入力、コメントの入力、機能一覧の表示、印刷設定、テストページの印刷を行います。

〔共有〕 (注2)



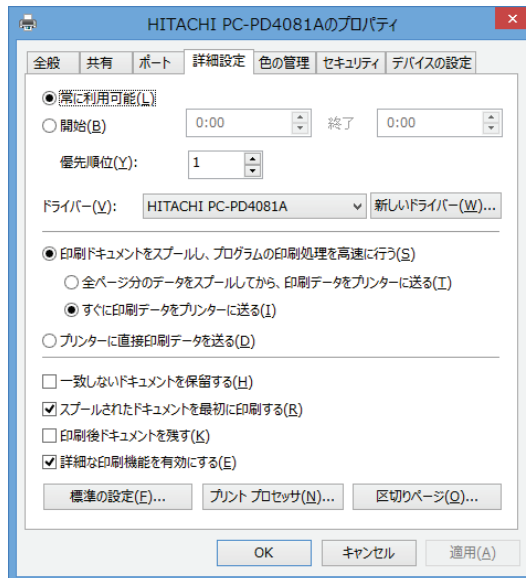
プリンターの共有に関する設定や代替ドライバーのインストールを行います。ただし、代替ドライバーはサポートしません。

〔ポート〕 (注 2)



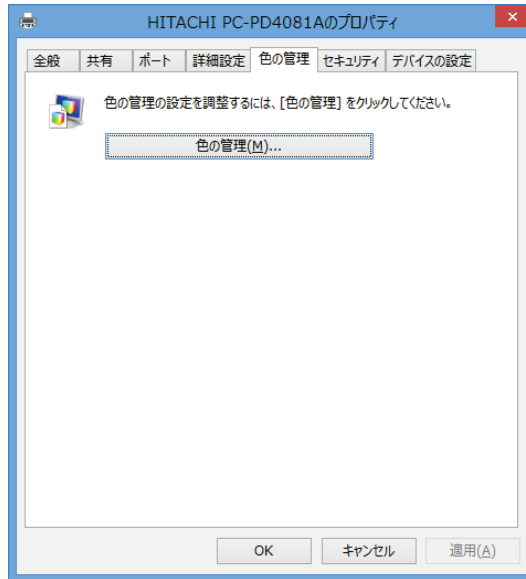
印刷先のポートに関する設定を行います。

〔詳細設定〕 (注 2)



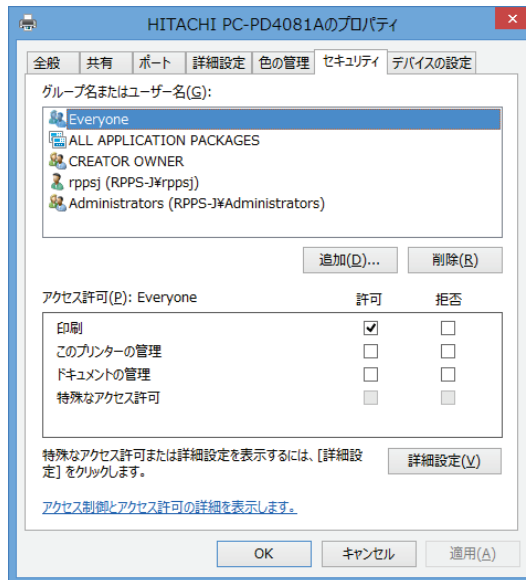
プリンターの利用可能時間、優先順位、プリントプロセッサ、区切りページを設定します。

〔色の管理〕 (注 2)



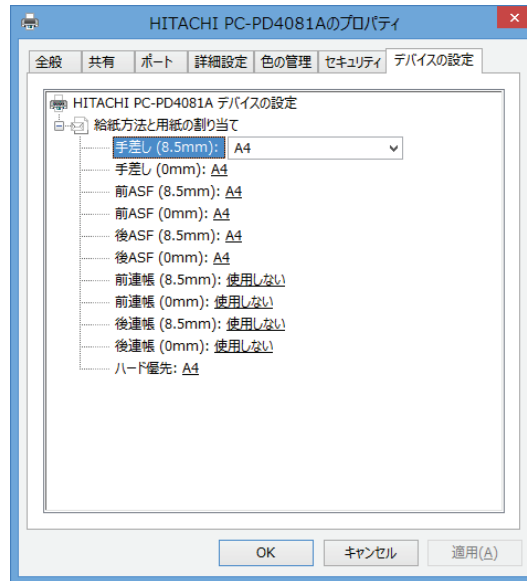
プリンターの色の管理に関する設定を行います。

〔セキュリティ〕 (注 2)



プリンターのセキュリティの管理に関する設定を行います。

〔デバイスの設定〕 (注2)



給紙方法と用紙の割り当ての設定を行います。

設定項目	内容
給紙方法と用紙の割り当て	給紙方法に対して、用紙を割り当てます。給紙方法で「自動選択」を指定した場合は、同一サイズの用紙を複数の給紙方法に割り当てないでください。

印刷設定可能範囲について

このプリンタードライバーで使用できる用紙サイズおよび印刷設定可能範囲は、次のようになっています。

用紙サイズ

.. ガイド ..

Windows XP、Windows Server 2003、Windows Vista、Windows Server 2008、Windows 7、Windows Server 2008 R2、Windows 8、Windows Server 2012 で下表の用紙サイズが表示されない場合は、「マイコンピュータ」のプリンタを開き、ツールバーの「ファイル」から「サーバのプロパティ」をクリックして、作成してください。

単位:mm

用紙	縦(ポートレート)		横(ランドスケープ)	
	用紙幅	用紙長	用紙幅	用紙長
A4	210.00	297.00	297.00	210.00
A3	297.00	420.00	420.00	297.00
A5	148.00	210.00	210.00	148.00
A6	105.00	148.00	148.00	105.00
B4	257.00	364.00	364.00	257.00
B5	182.00	257.00	257.00	182.00
Letter	215.90	279.40	279.40	215.90
Legal	215.90	355.60	355.60	215.90
官製はがき	100.00	148.00	148.00	100.00
往復はがき	200.00	148.00	148.00	200.00
封筒(長形 4 号)横	90.00	205.00	—	—
封筒(長形 3 号)横	120.00	235.00	—	—
封筒(角形 3 号)横	216.00	277.00	—	—
封筒(角形 2 号)横	240.00	332.00	—	—
名刺	55.00	90.00	—	—
10×11inch 連続紙	254.00	279.40	—	—
12×11inch 連続紙	304.80	279.40	—	—
15×11inch 連続紙	381.00	279.40	—	—
縦 3inch 連続紙	381.00	76.20	—	—
縦 3.5inch 連続紙	381.00	90.17	—	—

用紙	縦(ポートレート)		横(ランドスケープ)	
	用紙幅	用紙長	用紙幅	用紙長
縦 4inch 連続紙	381.00	101.60	—	—
縦 4.5inch 連続紙	381.00	114.30	—	—
縦 5inch 連続紙	381.00	127.00	—	—
縦 5.5inch 連続紙	381.00	139.70	—	—
縦 6inch 連続紙	381.00	152.40	—	—
縦 6.5inch 連続紙	381.00	165.10	—	—
縦 7inch 連続紙	381.00	177.80	—	—
縦 7.5inch 連続紙	381.00	190.50	—	—
縦 8inch 連続紙	381.00	203.20	—	—
縦 8.5inch 連続紙	381.00	215.90	—	—
縦 9inch 連続紙	381.00	228.60	—	—
縦 9.5inch 連続紙	381.00	241.30	—	—
縦 10inch 連続紙	381.00	254.00	—	—
縦 10.5inch 連続紙	381.00	266.70	—	—
縦 11inch 連続紙	381.00	279.40	—	—
縦 11.5inch 連続紙	381.00	292.10	—	—
縦 12inch 連続紙	381.00	304.80	—	—
縦 12.5inch 連続紙	381.00	317.50	—	—
縦 13inch 連続紙	381.00	330.20	—	—
縦 13.5inch 連続紙	381.00	342.90	—	—
縦 14inch 連続紙	381.00	355.60	—	—
ユーザー定義サイズ(注)	55.00	70.00	—	—

注) この値はデフォルト値です。設定可能範囲(mm)は、用紙幅が55.00～420.00で、用紙長が70.00～420.00です。

.. ガイド ..

ユーザー定義サイズは、プリンタにセット可能な最大用紙幅まで指定できますが、本取扱説明書の用紙規格を参照して、印刷可能範囲内で使用してください。

印刷設定可能範囲

単位:mm

用紙	余白					
	上端	下端	左端	右端		
A4,A4 横	給紙方法別 上・下端値 参照		4.94	4.94		
A3						
A3 横			37.25	37.39		
A5,A5 横					4.94	4.94
A6,A6 横						
B4						
B4 横						
B5,B5 横						
Letter						
Legal						
はがき,はがき横						
往復はがき,往復はがき横						
封筒(長形4号)横						
封筒(長形3号)横						
封筒(角形3号)横						
封筒(角形2号)横						
名刺						
10×11inch 連続紙					0	35.56
12×11inch 連続紙						
15×11inch 連続紙						
縦 3inch 連続紙						
縦 3.5inch 連続紙						
縦 4inch 連続紙						
縦 4.5inch 連続紙						
縦 5inch 連続紙						
縦 5.5inch 連続紙						
縦 6inch 連続紙						
縦 6.5inch 連続紙						
縦 7inch 連続紙						

用紙	余白			
	上端	下端	左端	右端
縦 7.5inch 連続紙	給紙方法別 上・下端値 参照	0	35.56	35.56
縦 8inch 連続紙				
縦 8.5inch 連続紙				
縦 9inch 連続紙				
縦 9.5inch 連続紙				
縦 10inch 連続紙				
縦 10.5inch 連続紙				
縦 11inch 連続紙				
縦 11.5inch 連続紙				
縦 12inch 連続紙				
縦 12.5inch 連続紙				
縦 13inch 連続紙				
縦 13.5inch 連続紙				
縦 14inch 連続紙				
ユーザー定義サイズ(注)	4.94	4.94	4.94	4.94

給紙方法別 上・下端値

単位:mm

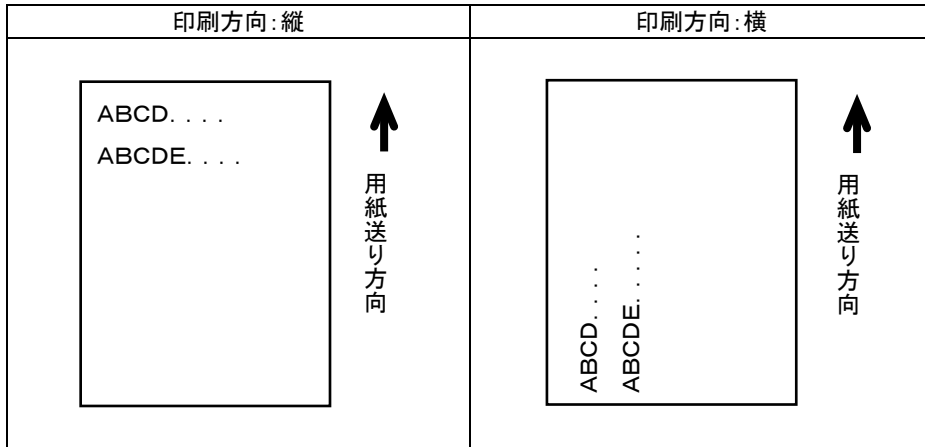
給紙方法		マージン(既定値)	
		上端	下端
手差し	8.5mm	8.47	4.66
	0mm	0	0
前ASF	8.5mm	8.47	4.66
	0mm	0	0
後ASF	8.5mm	8.47	4.66
	0mm	0	0
前連帳	8.5mm	8.47	4.66
	0mm	0	0
後連帳	8.5mm	8.47	4.66
	0mm	0	0

.. ガイド ..

- ・封筒を使用する場合のマージン値については、「第 5 章 使用できる用紙について」の用紙規格に合わせて調整してください。
- ・「縦 3inch 連続紙」～「縦 14inch 連続紙」の連続紙については、用紙幅を全て 15inch に規定してありますので、使用するには「第 5 章 使用できる用紙について」の用紙規格を参照し、規格範囲内で右端マージンを適宜設定してください。
また、これらの連続紙を使用する場合、アプリケーションによりヘッダ、フッタの位置がずれる場合があります。この場合、アプリケーションでヘッダ、フッタの位置を調節して印刷してください。

用紙の印刷方向

印刷方向は、プリンタドライバーの設定画面の「印刷の向き」の設定により、次のようになります。



.. ガイド ..

アプリケーションにより、Windows 画面への表示方法や印刷方法が異なる場合があります。

第 3 章

プリンターの機能と その使い方

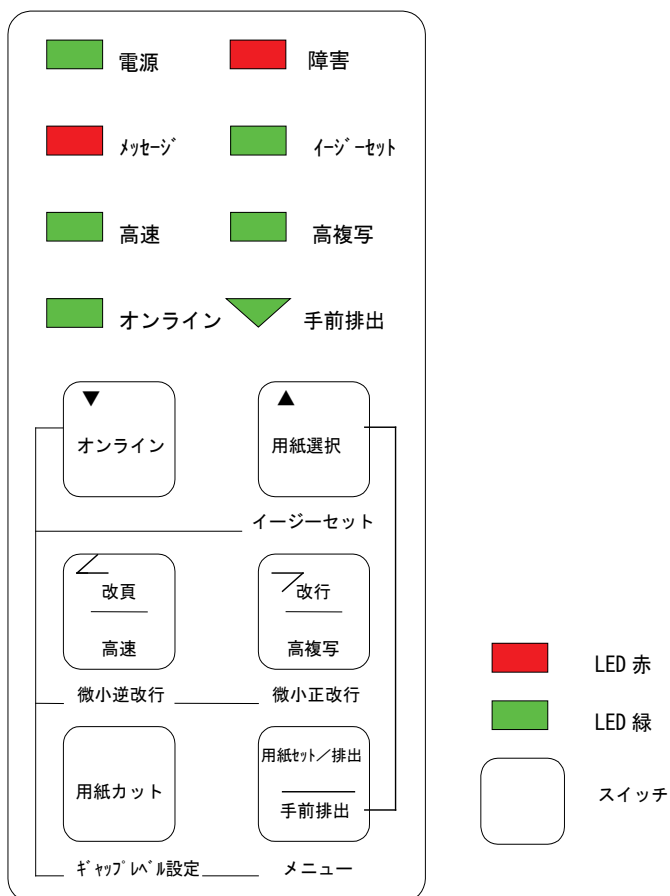
この章では、操作パネルの機能やその使い方について説明します。

操作パネルの機能	3-2
操作パネルランプ	3-3
操作パネルスイッチ	3-4
表示パネル	3-6
動作環境の設定	3-7
メニュー設定の変更方法	3-7
メニュー設定項目	3-10
[大項目] : オフィスモード	3-10
[大項目] : テサシセッテイ	3-10
[大項目] : マエASFセッテイ	3-13
[大項目] : ウシロASFセッテイ	3-14
[大項目] : マエレンチョウセッテイ	3-15
[大項目] : ウシロレンチョウセッテイ	3-16
[大項目] : ハードウエアセッテイ	3-17
[大項目] : コマンドキノウセッテイ	3-20
[大項目] : ソノタセッテイ	3-21
メニュー設定初期化方法	3-23

操作パネルの機能

操作パネルには、プリンターの状態を示すランプとプリンターを操作するためのスイッチがあります。また、表示パネルによりプリンターの状態を表示します。

【表示パネル部】



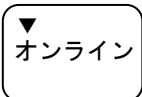
操作パネルランプ

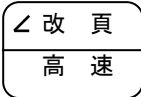

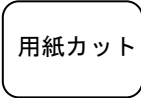

操作パネルランプは、点灯、消灯、点滅でプリンターの状態を表しています、ランプが示す状態表示は、下表の通りです。

名 称	点 灯	消 灯	点 滅
電 源 (緑)	電源ON状態	電源OFF状態	—
オンライン (緑)	オンライン状態	オフライン状態	①メニューモード中 ②カバーオープンアラーム ③データ/動作保持アラーム ④自己診断エラー (メッセージランプと併点滅)
高 速 (緑)	高速印字モード	①高品位印字モード ②高複写印字モード	—
メッセージ (赤)	表示パネルに メッセージ表示時	給紙済み	①ペーパージャム ②自己診断エラー (オンラインランプと併点滅)
手前排出 (緑)	手前排出モード	①後方排出モード ②帳票モード	—
高複写 (緑)	高複写印字モード	①高品位印字モード ②高速印字モード	—
イージーセット (緑)	イージーセット有効	イージーセット無効	—
障 害 (赤)	ハード障害発生	正常	—

操作パネルスイッチ

本プリンターには、6個のスイッチがあります。
 スイッチを押すことで、プリンターの状態や機能が選択できます。
 表示パネルや操作パネルのランプに状態や機能が表示されます。
 (スイッチでの切り替えは、次の電源OFFまで有効です。
 継続して設定を変更したい場合は、メニュー設定で変更を行ってください。)

スイッチ名称	機 能
 オンライン	<ul style="list-style-type: none"> ●オンライン状態とオフライン状態を切り替えます。 ●オンライン状態のときは、「オンライン」ランプが点灯します。 ●他のスイッチと同時に押し下し状態、機能を切り替えます。 本文中では、オンラインと表記します。

スイッチ名称	状態	状 態・機 能	
		単票用紙	連続用紙
 改頁 高速	オフライン	用紙を排出します。	改頁を行います。
	オンライン	 用紙を逆方向に微少送りします。 <small>を押しながら</small>	
	オンライン	高速/高品位印字の切り替えを行います。 初期値は高品位になっています。 選択状態は、表示パネル(B部)と操作パネルのランプで表示されます。	
 用紙カット	オフライン	無効	カット位置まで用紙を送ります。再押下またはデータ受信で元の位置に戻ります。
	オンライン	 紙厚レンジを切り替えます。 初期値はオートギャップになっています。 選択状態は、表示パネル(D部)に表示されます。 初期値のオートギャップ時は、表示されません。	
	オンライン	無効	初期値は、無効です。 メニュー設定の「オンラインジノカットSW」を「ユウコウ」にすると、オンライン時でも用紙カット機能が使用できます。

スイッチ名称	状態	状態・機能	
		単票用紙	連続用紙
▲ 用紙選択	オフライン	<p>用紙モードを切り替えます。 初期値は、「テサシ」になっています。 選択状態は、表示パネル(C部)に表示されます。 「テサシ」-「マエASF」-「ウシロASF」-「マエレンチョウ」-「ウシロレンチョウ」の順に切り替わります。ASFは接続時のみ表示されます。</p>	
	オンライン	<p>オンライン を押しながら イージーセットモードの切り替えを行います。初期値はイージーセット機能が有効になっています。選択状態は、操作パネルのランプで表示されます。</p>	無効
↙ 改行 高複写	オフライン	改行を行います。	
	オンライン	<p>オンライン を押しながら 用紙を正方向に微少送りします。</p>	
用紙セット/排出 手前排出	オフライン	用紙を給紙または排紙しません。	オートロードまたは用紙を回避します。
	オンライン	<p>オンライン を押しながら メニュー設定に移行します。</p>	
	オンライン	無効	<p>用紙選択 を押しながら 排紙方向の切り替えを行います。</p>
	オンライン	無効	無効

表示パネル

表示パネルには、プリンターの設定や選択されている状態、エラーメッセージなどが表示されます。

表示パネル部

			A 部									B 部		
			C 部									D 部		

表示形式：16文字×2行

表示部	表示内容	表示例	内容
A部 (9文字)	ステータス 表示	インサツカノウ	オンライン状態
		タイキチュウ	オフライン状態
		HEXモード	16進ダンプ印字時のオンライン状態
B部 (7文字)	印字モード 表示	ツウジョウ	通常印字モード
		コウソク	高速印字モード 操作パネルの高速ランプと同期して表示。
		コウフクシャ	高複写印字モード 操作パネルの高複写ランプと同期して表示。
C部 (10文字)	用紙モード 表示	テサシ	単票手差しモード
		マエASF	単票自動給紙(前)
		ウシロASF	単票自動給紙(後)
		マエレンチョウ	帳票モード(前)
		ウシロレンチョウ	帳票モード(後)
D部 (6文字)	紙厚レンジ 表示	レンジ×	マニュアルギャップモード (×は、1~8及びA~Eを表示。)
		(表示無し)	オートギャップモード

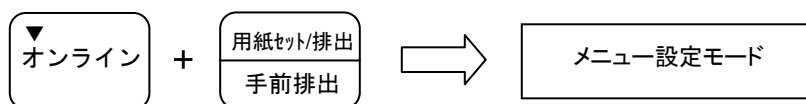
動作環境の設定

ここでは、プリンターの動作環境の設定について、説明します。
プリンターの動作環境は、操作パネルからメニュー設定を変更することで設定することができます。

メニュー設定の変更方法

1 メニュー設定モードに移行する

プリンターのオフライン時に次のスイッチを同時に押下し、メニュー設定モードに移行します。



表示パネルに「オフィスモード」と表示されていることを確認してください。
(表示されていない場合、もう一度スイッチ操作をやり直してください。)

2 設定内容を変更する

設定の変更は、5つのスイッチで行います。

「大項目」-「中項目」の順で変更する項目を選択し、設定値の変更を行います。
メニュー設定の状態遷移は、次ページをご覧ください。

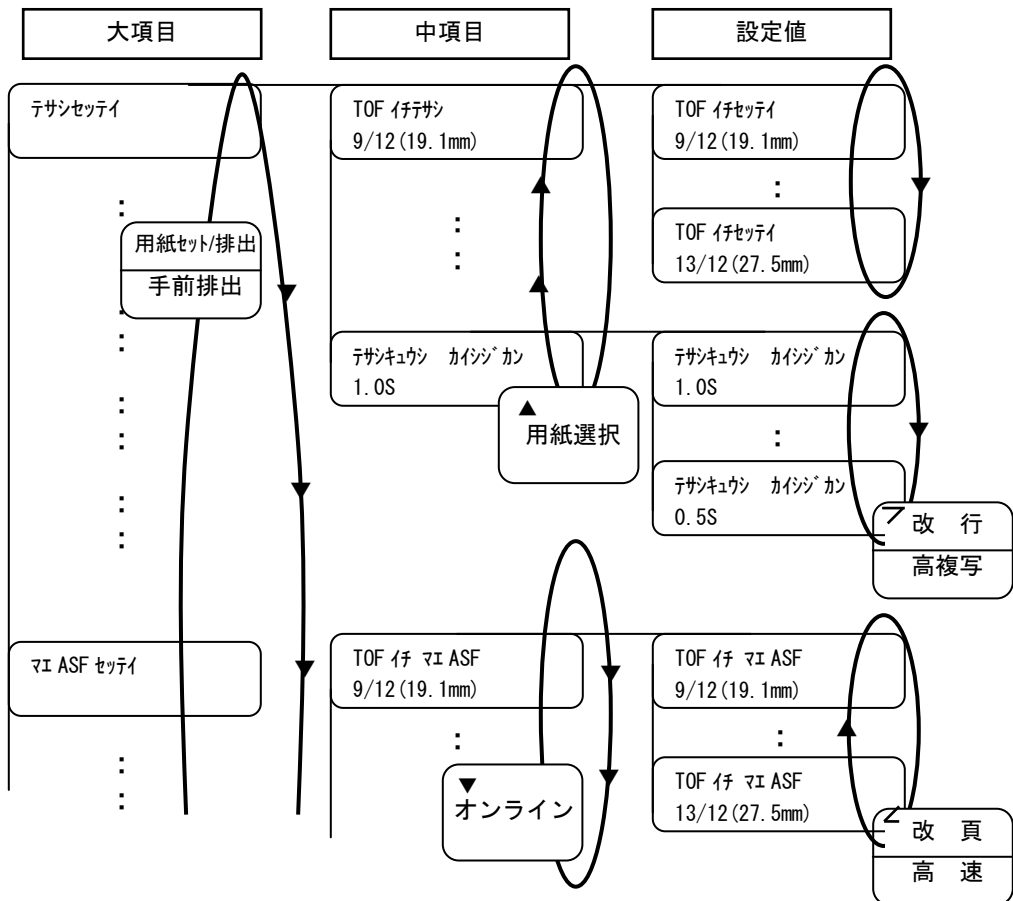
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> ▼ オンライン </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> ▲ 用紙選択 </div>	①大項目を選択します
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 用紙セット/排出 手前排出 </div>		②中項目を選択します
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> ◀ 改 頁 高 速 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> ↗ 改 行 高 複 写 </div>	③設定値を切り替えます

第3章 プリンターの機能とその使い方

メニュー設定モードでは、以下の機能を実行することができます。

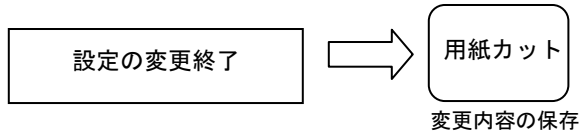
メニューモード機能		トップメニュー名称
1	オフィスモード	オフィスモード
2	手差しモード設定	テサシ セッテイ
3	前ASFモード設定	マエ ASF セッテイ
4	後ASFモード設定	ウシロ ASF セッテイ
5	前連帳モード設定	マエレンチョウ セッテイ
6	後連帳モード設定	ウシロレンチョウ セッテイ
7	ハードウェア設定	ハードウェア セッテイ
8	コマンド機能設定	コマンド キノウ
9	その他の設定	ソノタ セッテイ

【メニュー設定状態遷移】



3 設定内容を保存する

設定変更した内容は、「用紙カット」スイッチを押下することで、イニシャル動作を行いメモリーに記憶されます。



メニュー設定項目

メニュー設定項目は次の通りです。

アンダーラインのある設定値が初期値(工場出荷時の値)です。

[大項目] : オフィスモード

中項目 [LCD表示]	設定値	機能
オフィスモード [オフィスモード]	ユウウ1 ユウウ2 ムウ	印字時の動作音を抑える低騒音モードの有効/無効を設定します。 有効1: 全てのデータをオフィスモード印字 有効2: OCR文字を含む行以外をオフィスモードで印字



メモ

オフィスモード使用時は、スループットが低下する場合があります。
印字速度を重視される場合は、オフィスモードを無効に設定してください。
また、オフィスモード有効時は、高速スイッチおよび高速印字指定コマンドは無効になります。

[大項目] : テサシセットイ

中項目 [LCD表示]	設定値	機能
単票吸入位置(手差し) [TOF イ テサ]	0/12(0 mm) 1/12(2.1mm) : (1/12 インチ単位) 9/12(19.1mm) : (1/12 インチ単位) 12/12(25.4mm) 13/12(27.5mm)	単票給紙時(手差し)の頭出し位置を設定します。頭出しは、第1文字目文字中心です。 但し、設定値 4/12 インチ(8.5mm)は、第1文字目文字上端までの値を設定します。
手差し給紙開始時間 [テサキョウシカシツカ]	2.0S 1.5S 1.0S 0.5S	手差し単票使用時に、用紙をセットしてから給紙ローラーが回転し、給紙動作を開始するまでの時間を設定します。
手差し給紙速度 [テサキョウソクド]	ツウジョウ テイソク	単票手差しモード時の給紙速度を設定します。
単票排出方向 [ハインツホウコウ テサ]	ゼンホウ コウホク	手差し単票時の排出方向を選択します。
PE 検出位置 [PE キョリ テサ]	4.6mm ムウ	単票手差しの PE を検出する、しない及び検出位置を設定します。
	4.6mm : 用紙下端から 4.6mm で紙なしを検出します。 ムウ : 印字ヘッド中心が用紙下端になるまで印字を行い、用紙を排出します。	

[大項目] : テサシセットイ

中項目 [LCD表示]	設定値	機能
紙厚調整 [カミアツォウセイ テサシ]	ジドウ レンジ 1 : レンジ 8 レンジ A : レンジ E	用紙厚さ調整の自動/手動調整を設定します。
イージークセツ機能 [イージークセツ]	ユウコウ ムコウ	斜行補正機構を使用する、しないを設定します。
紙厚位置 [カミアツイ テサシ]	50.8mm 101.6mm	オートキヤップ動作を行う用紙左端からの位置を選択します。
イージークセツ斜行検出 [イージークセツコウケンシュツ]	コウセイト ツウジョウ ヨコジテンビョウ	イージークセツ機能を有効にした場合の用紙吸入時の斜行検出精度を設定します。「ヨコジテンビョウ」に設定した場合は斜行を検出しません。
手差し斜行検出 [テサシ シャコウケンシュツ]	コウセイト ツウジョウ ヨコジテンビョウ	イージークセツ機能を無効にした場合の用紙吸入時の斜行検出精度を設定します。「ヨコジテンビョウ」に設定した場合は斜行を検出しません。
手差し時のFFコード [テサシノFFコード]	FF ハイシュツ	単票手差し時のFFコード機能を設定します。
単票手差しPE処理 [タンビョウテサシPEシヨリ]	ユウコウ ムコウ 30S~990S(30秒単位)	単票手差しの用紙未給紙状態でのオンライン状態になるまでの時間を設定します。(初期値は60秒です。)
	ユウコウ : PE(紙なし)でオンラインになります。 ムコウ : PE(紙なし)でもオンラインを継続します。 印字起動後もオンラインのままです。 30S~990S: PE(紙なし)でもオンラインを継続します。 印字起動後、設定時間を経過するとオンラインになります。	
吸入位置微調整 (手差し) [TOF テサシホウイ]	-2.1mm :(1/120インチ単位) 0mm :(1/120インチ単位) +2.1mm	手差し単票吸入位置で設定されている頭出し位置を中心に±10/120インチの範囲で微調整が行えます。
PE検出位置微調整 [PEキョリホウイ テサシ]	-4.2mm :(1/60インチ単位) 0mm :(1/60インチ単位) +4.2mm	PE検出位置を中心に±10/60インチの範囲で微調整が行えます。

第3章 プリンターの機能とその使い方

[大項目] : テサシセットイ

中項目 [LCD 表示]	設定値	機能	
第一文字打出位置補正 (手差し) [1 モジ ムセイ テサシ]	-1.4mm :(1/180 インチ単位) <u>0</u> mm :(1/180 インチ単位) +1.4mm	手差し単票の1文字目の印字位置を ±10/180 インチの範囲で微調整が 行えます。	
イージセットの左端余白 [イージセットサツヨハク]	0mm :(1/90 インチ単位) 5.1mm :(1/90 インチ単位) 45.2mm	イージセット使用時の左端余白を 0~45.2mm の範囲で微調整が 行えます。	
改行補正 (手差し) [LF ホセイ テサシ]	-10 : <u>0</u> : +10	手差し単票使用時、40行の用紙送り に対する改行誤差を設定分だけ 補正します。	
	設定値		40行当たりの補正量
	0		0mm
	±1		±0.14mm
	±2		±0.35mm
	±3		±0.56mm
	±4		±0.77mm
	±5		±0.98mm
	±6		±1.19mm
	±7		±1.40mm
	±8		±1.54mm
±9	±1.75mm		
±10	±1.96mm		

[大項目] : マエASFセッテイ

中項目 [LCD表示]	設定値	機能
単票吸入位置 (前 ASF) [TOF イ マ ASF]	0/12 (0 mm) 1/12 (2.1mm) : (1/12 インチ単位) <u>9/12 (19.1mm)</u> : (1/12 インチ単位) 12/12 (25.4mm) 13/12 (27.5mm)	単票給紙時 (前方接続自動給紙) の頭出し位置を設定します。頭出しは、第 1 文字目文字中心です。 但し、設定値 4/12 インチ (8.5mm) は、第 1 文字目文字上端までの値を設定します。
単票排出方向 [ハシユツ マ ASF]	ゼンホウ コウカ	単票の排出方向を選択します。
PE 検出位置 [PE キョリ マ ASF]	<u>4.6mm</u> ムコウ	単票前 ASF の PE を検出する、しない及び検出位置を設定します。
紙厚調整 [カミアツ マ ASF]	ジドウ レンジ 1 : レンジ 8 レンジ A : レンジ E	用紙厚さ調整の自動/手動調整を設定します。
紙厚位置 [カミアツイ マ ASF]	<u>50.8mm</u> 101.6mm	オートキヤップ動作を行う用紙左端からの位置を選択します。
前 ASF 斜行検出 [マ ASF ショウケンシュツ]	コウセイト ツジヨウ ムケンシュツ	ASF から用紙を吸入した場合の斜行検出精度を設定します。 「ムコウ」に設定した場合は斜行を検出しません。
吸入位置微調整 (前 ASF) [TOF マ ASF ケイ]	-2.1mm : (1/120 インチ単位) <u>0mm</u> : (1/120 インチ単位) +2.1mm	前 ASF 単票吸入位置で設定されている頭出し位置を中心に±10/120 インチの範囲で微調整が行えます。
PE 検出位置微調整 (前 ASF) [PE キョリケイ マ ASF]	-4.2mm : (1/60 インチ単位) <u>0mm</u> : (1/60 インチ単位) +4.2mm	PE 検出位置を中心に±10/60 インチの範囲で微調整が行えます。
第一文字打出位置補正 (前 ASF) [1 モジ ケイ マ ASF]	-1.4mm : (1/180 インチ単位) <u>0mm</u> : (1/180 インチ単位) +1.4mm	単票の 1 文字目の印字位置を±10/180 インチの範囲で微調整が行えます。
改行補正 (前 ASF) [LF ケイ マ ASF]	-10 : <u>0</u> : +10	前 ASF 単票使用時、10 インチ (254mm) の用紙送りに対する改行誤差を設定分だけ補正する。 設定値、補正量は、「LF ケイ テザ」を参照ください。

[大項目] : ウシロASFセッテイ

中項目 [LCD表示]	設定値	機能
単票吸入位置 (後ASF) [TOF仔ウシロASF]	0/12(0 mm) 1/12(2. 1mm) : (1/12 インチ単位) 9/12(19. 1mm) : (1/12 インチ単位) 12/12(25. 4mm) 13/12(27. 5mm)	単票給紙時(後方接続自動給紙)の頭出し位置を設定します。頭出しは、第1文字目文字中心です。 但し、設定値4/12インチ(8. 5mm)は、第1文字目文字上端までの値を設定します。
単票排出方向 [ハイシュウウシロASF]	ゼンポウ コウホ	単票の排出方向を選択します。
PE検出位置 [PEキョリウシロASF]	4. 6mm ムコウ	単票後ASFのPEを検出する、しない及び検出位置を設定します。
紙厚調整 [カミアツウシロASF]	ジドウ レンジ 1 : レンジ 8 レンジ A : レンジ E	用紙厚さ調整の自動/手動調整を設定します。
紙厚位置 [カミアツイウシロASF]	50. 8mm 101. 6mm	オートキヤップ動作を行う用紙左端からの位置を選択します。
吸入位置微調整 (後ASF) [TOFウシロASF 純イ]	-2. 1mm : (1/120 インチ単位) 0mm : (1/120 インチ単位) +2. 1mm	後ASF単票吸入位置で設定されている頭出し位置を中心に±10/120 インチの範囲で微調整が行えます。
PE検出位置微調整 [PEキョリ純イウシロASF]	-4. 2mm : (1/60 インチ単位) 0mm : (1/60 インチ単位) +4. 2mm	PE検出位置を中心に±10/60 インチの範囲で微調整が行えます。
第一文字打出位置補正 (後ASF) [1モジ純イウシロASF]	-1. 4mm : (1/180 インチ単位) 0mm : (1/180 インチ単位) +1. 4mm	単票の1文字目の印字位置を±10/180 インチの範囲で微調整が行えます。
改行補正(後ASF) [LF純イウシロASF]	-10 -9 : 0 : +9 +10	後ASF単票使用時、10インチ(254mm)の用紙送りに対する改行誤差を設定分だけ補正する。 設定値、補正量は、「LF純イテサシ」を参照ください。
フレ印刷検知 [フレインサツケンチ]	ユウコウ ムコウ	後ASF接続時にフレ印刷を検知する、しないを選択します。

[大項目] : マエレンチョウセツテイ

中項目 [LCD表示]	設定値	機能
連帳吸入位置(前連帳) [TOF イチ マエレンチョウ]	0/12(0 mm) 1/12(2.1mm) : (1/12 インチ単位) 13/12(27.5mm) 14/12(29.6mm) 15/12(31.8mm)	連帳給紙時(前トラクタ)の頭出し位置を設定します。頭出しは、第1文字目文字中心です。 但し、設定値4/12インチ(8.5mm)は、第1文字目文字上端までの値を設定します。
改行量 [カキヤウリョウ マエ]	3LPI 4LPI 6LPI 8LPI	前連帳の改行量を設定します。 本設定後に改行ピッチを変更するコマンドを受信した場合、改行量はコマンドの設定に従います。
頁長(前連帳) [ページチョウ マエ]	1キョウ :(1行単位) 66キョウ :(1行単位) 99キョウ	連票(前トラクタセット)のデフォルトのページ長を設定します。
PE 検出位置(前連帳) [PE キョリ マエレンチョウ]	4.6mm0mm	連票(前トラクタセット)のPEの検出位置を設定します。
紙厚調整(前連帳) [カミアツチョウセイ マエ]	ジトウ レンジ 1 : レンジ 8 レンジ A : レンジ E	用紙厚さ調整の自動/手動調整を設定します。
紙厚位置 [カミアツチ マエレンチョウ]	50.8mm 101.6mm	オートキヤップ動作を行う用紙左端からの位置を選択します。
電源投入時の用紙位置 [POW ON ヨウシ マエ]	ゲンザイチ カットイ	前連帳で電源を入れたときの用紙位置を設定します。
吸入位置微調整 (前連帳) [TOF マエレンチョウホウイ]	-2.1mm : 0mm : +2.1mm	前連帳吸入位置で設定されている頭出し位置を中心に±10/120インチの範囲で微調整を行います。
PE 検出位置微調整 (前連帳) [PE キョリホウイ マエ]	-4.2mm :(1/60 インチ単位) 0mm :(1/60 インチ単位) +4.2mm	PE 検出位置を中心に±10/60インチの範囲で微調整を行います。
第一文字打出位置補正 [1 モジ マホウイ マエ]	-1.4mm :(1/180 インチ単位) 0mm :(1/180 インチ単位) +1.4mm	前連帳の1文字目の印字位置を±10/180インチの範囲で微調整を行います。

[大項目] : ウシロレンチョウセツテイ

中項目 [LCD表示]	設定値	機能
連帳吸入位置(後連帳) [TOF イ ウシロレンチョウ]	0/12(0 mm) 1/12(2.1mm) : (1/12 インチ単位) 13/12(27.5mm) 14/12(29.6mm) 15/12(31.8mm)	連帳給紙時(後トラクタ)の頭出し位置を設定します。頭出しは、第1文字目文字中心です。 但し、設定値4/12インチ(8.5mm)は、第1文字目文字上端までの値を設定します。
改行量 [カイキョウリョウ ウシロ]	3LPI 4LPI 6LPI 8LPI	後連帳の改行量を設定します。 本設定後に改行ピッチを変更するコマンドを受信した場合、改行量はコマンドの設定に従います。
頁長(後連帳) [ページチョウ ウシロ]	1キョウ :(1行単位) 66キョウ :(1行単位) 99キョウ	連票(後トラクタセット)のデフォルトのページ長を設定します。
PE 検出位置(後連帳) [PE キョリ ウシロレンチョウ]	4.6mm 0mm	連票(後トラクタセット)のPEの検出位置を設定します。
紙厚調整(後連帳) [カミアツキョウセイ ウシロ]	ジドウ レンジ 1 : レンジ 8 レンジ A : レンジ E	用紙厚さ調整の自動/手動調整を設定します。
紙厚位置 [カミアツイ ウシロレンチョウ]	50.8mm 101.6mm	オートキャップ動作を行う用紙左端からの位置を選択します。
電源投入時の用紙位置 [POW ON ヨウシ ウシロ]	ゲンザイチ カットイ	後連帳で電源を入れたときの用紙位置を設定します。
吸入位置微調整 (後連帳) [TOF ウシロレンチョウセイ]	-2.1mm : 0mm : +2.1mm	後連帳吸入位置で設定されている頭出し位置を中心に±10/120インチの範囲で微調整を行います。
PE 検出位置微調整 (後連帳) [PE キョリセイ ウシロ]	-4.2mm :(1/60インチ単位) 0mm :(1/60インチ単位) +4.2mm	PE 検出位置を中心に±10/60インチの範囲で微調整を行います。
第一文字打出位置補正 (後連帳) [1 モジ マセイ ウシロ]	-1.4mm :(1/180インチ単位) 0mm :(1/180インチ単位) +1.4mm	後連帳の1文字目の印字位置を±10/180インチの範囲で微調整を行います。

[大項目] : ハードウェアセッテイ

中項目 [LCD表示]	設定値	機能
インタフェース [インタフェース]	ジトウ/パツファユウコウ セントロ/パツファユウコウ セントロ/パツファムコウ USB/パツファユウコウ	ホストと接続可能なインタフェース, および受信パツファの有無を設定します。 各設定値に対する機能は以下のようになります。 ・ジトウ/パツファユウコウ: セントロ/USBの自動選択 受信パツファ有効 ・セントロ/パツファユウコウ: セントロ固定 受信パツファ: 有効 ・セントロ/パツファムコウ: セントロ(外付けLAN)固定 受信パツファ: 無効 ・USB/パツファユウコウ: USB固定 受信パツファ: 有効
インタフェース タイムアウト [I/F タイムアウト]	15S 30S 45S 1min 2min 3min 4min 5min	「インタフェース」の設定が「ジトウ/パツファユウコウ」に設定されている場合のタイムアウト時間を設定します。
改行量 [カイキョウリョウ タンビョウ]	3LPI 4LPI 6LPI 8LPI	単票(手差し/前ASF/後ASF)の改行量を設定します。 本設定後に改行ビツチを変更するコマンドを受信した場合、改行量はコマンドの設定に従います。
用紙モード [ヨウシモード]	レンチョウモード タンビョウモード	電源投入時、I-PRIME 信号受信時の用紙モードを設定します。
用紙種類選択 [ヨウシシユルイ タンビョウ]	テサン ASF	ASF 接続状態で、電源を入れた時(I-PRIME 受信時)の給紙方法を設定します。
連帳種類選択 [ヨウシシユルイ レンチョウ]	マエレンチョウ ウシロレンチョウ	前後同時にトラクタを接続したときの優先する給紙方法を設定します。
ASF の選択 [ASF ノセンタク]	マエ ASF ユウセン ウシロ ASF ユウセン	前後同時に ASF を接続したときの優先する ASF を設定します。 この選択項目は、前後に ASF 接続した場合のみ表示されます。
ASF 用紙なし時の動作 [ASF カミナシ]	PE テサン	ASF に用紙がセットされていない場合の動作を設定します。
ASF 紙厚検出 [ASF カミアツケンシュツ]	ヨウシモード キリカエシ ヨウシコト	ASF 給紙時の紙厚検出タイミングを設定します。
単票排出後モード [タンビョウハイシュツコト]	レンチョウ タンビョウ	単票排出後の用紙モードを設定します。

[大項目] : ハードウェアセットイ

中項目 [LCD 表示]	設定値	機能
手差し割り込み処理 [テサワリコミシヨリ]	ユウコウ ムコウ	ASF モード時の手差し割り込み動作を(する/しない)を設定します。 有効に設定した場合は ASF モード時(用紙未給紙状態)でも手差しから給紙できます。
連帳オートローディング [レンチャウオートロード]	ユウコウ ムコウ	連帳のオートローディング(する/しない)を設定します。
	ユウコウ : 用紙モード(前連帳/後連帳)切り替え時に指定の連帳がセットされている場合オートロードします。 ムコウ : オートロードしません。	
オートティアオフ [オートティアオフ]	1S 3S ムコウ	用紙が TOF 位置にあるとき、設定された時間印字データが送信されなかった場合、自動的にカット位置まで用紙を送ります。用紙が TOF 位置にない場合は、紙送りを行いません。
カットスイッチ動作 [カット SW ドウサ]	キュウニユウ ミンメ	用紙カットスイッチやオートティアオフ機能を使って用紙をカット位置まで送る場合の用紙カット位置を設定します。
		「ミシ目」に設定されている場合、現在の印字位置下方のミシ目がカット位置にくるように用紙を送ります。但し、現在の印字位置が TOF 位置にあるときは、上方のミシ目がカット位置にくるように用紙を送ります。「吸入量」に設定されている場合、現在の印字位置上方に吸入量分の余白をとった部分にカット位置がくるように用紙を送ります。
オンライン時のカットスイッチ [オンラインジノカット SW]	ユウコウ ムコウ	オンライン時に用紙カットスイッチの有効、無効を設定します。
連帳退避時間 [レンチャウタイビジカン]	ナシ 30S~990S	連続用紙を 22 インチ退避しても PE が検出できなかった場合、退避エラーで準備未完状態とするまでの時間を設定します。(初期値は 60 秒です。)
退避待ち動作 [タイビマチドウサ]	ムトウサ カットイマテオクル レンチャウタイビ	連帳退避待ち時の連帳動作を設定します。
ミシ目スキップ [ミンメスキップ]	ナシ 1 インチ(25.4mm)	連票のミシ目部分を 1 インチ飛び越えて印字します。
		「1 インチ」と設定した場合、連帳のミシ目の部分を 1 インチ分印字しません。但し、セットされている連帳の頁長と設定されている頁長が合っている場合に限りです。
用紙外印字防止 [ヨウシガイインジホウシ]	ユウコウ ムコウ	用紙の左右端を検出し、印字領域を超えるデータの処理方法を設定します。
	ユウコウ: イージョーセット有効時に印字領域を越えるデータ(右端 5.08mm)をカットします。 ムコウ : 受信したデータをそのまま印字します。	

[大項目] : ハードウェアセッテイ

中項目 [LCD 表示]	設定値	機能
改行スイッチ [カイ ^レ ヨウ SW]	セッテイ コマンド ^レ	改行スイッチ押下時の用紙の改行量を設定 します。
	セッテイ: 改行量の設定値に従います。 コマンド ^レ : コマンド ^レ による改行ビ ^レ ツチに従います。	
印字モード 変更契機 [イン ^レ モード ^レ ハンコウケイ]	コマンド ^レ ユウセン メニューユウセン	印字モード ^レ の変更を、コマンド ^レ 優先とするか メニュー設定を優先とするかを設定しま す。 「メニュー優先」の場合、以下の印字モード 変 更コマンド ^レ は無効(受け捨て)となります。 a. 漢字高速指定コマンド ^レ b. 印字圧モード ^レ 設定コマンド ^レ c. 高速印字モード ^レ 設定コマンド ^レ
ページ長変更契機 [ページ ^レ チョウハンコウケイ]	コマンド ^レ ユウセン メニューユウセン	ページ長の変更を、コマンド ^レ 優先とするか メニュー設定を優先とするかを設定しま す。 「メニュー優先」の場合、ページ長設定コマ ンド ^レ は無効(受け捨て)となります。
単票排出方向 [タンビ ^レ ヨウハイシュツホウコウ]	コマンド ^レ ユウセン メニューユウセン	単票用紙の排出方向をコマンド ^レ に従うか、 プリンターの設定値に従うかを設定しま す。 「メニュー優先」の場合、単票排出方向設定 コマンド ^レ は無効(受け捨て)となります。
ブザー設定 [ブザー ^レ セッテイ]	ON(ツウジョウ) ON(ショウ) OFF	ブザー鳴動の「ON/OFF」を設定します。 「ON(ショウ)」を選択した場合、音量が小さ くなります。
ブザー動作 [ブザー ^レ ドウサ]	Aモード ^レ Bモード ^レ OFF	ブザー設定「ON/OFF」との組み合わせに より、ブザー鳴動の設定を行います。 動作詳細は、下表を参照ください。

動作条件	ブザー設定 ON(ツウジョウ)			ブザー設定 ON(ショウ)			ブザー設定 OFF		
	Aモード ^レ	Bモード ^レ	OFF	Aモード ^レ	Bモード ^レ	OFF	Aモード ^レ	Bモード ^レ	OFF
BELLコマンド受信時	○	○	○	○	○	○	○	○	×
PE検出	○	◎	×	○	◎	×	×	×	×
連帳退避待ち	◎	◎	×	◎	◎	×	◎	◎	×
単票セット待ち(連単切替コマンド ^レ 実行中)	◎	◎	×	◎	◎	×	×	×	×
単票セット待ち(単票/手差し選択時)	◎	◎	×	◎	◎	×	◎	◎	×
単票抜き取り待ち	◎	◎	×	◎	◎	×	×	×	×
連帳退避タイムアウト	○	◎	×	○	◎	×	×	×	×
単票セットタイムアウト	○	◎	×	○	◎	×	×	×	×
用紙排出エラー	○	◎	×	○	◎	×	×	×	×
16進モニター確認	○	○	○	○	○	○	○	○	×
プリンター設定項目初期化	○	○	○	○	○	○	○	○	×
エラー(アラーム)検出時	○	◎	×	○	◎	×	○	◎	×

○: 単発鳴動 ◎: 連続鳴動 ×: 鳴動しない
ブザー設定「OFF」の時の音量は「ツウジョウ」です。

[大項目] :ハードウェアセットイ

中項目 [LCD表示]	設定値	機能
印字桁数 [インジケタスウ]	136 ケタ 132 ケタ	一行の最大印字桁数を設定します。
パワーセーブモード [パワーセーブモード]	ユウコウ ムコウ	パワーセーブモードの ON/OFF を設定します。
パワーセーブ時間 [パワーセーブシカン]	5min 10min 15min 30min 60min	パワーセーブモードに移行するまでの時間を設定します。

[大項目] : コマンドキノウセットイ

中項目 [LCD表示]	設定値	機能
TOF 改頁 [TOF カイページ]	ユウコウ ムコウ	連帳モード時に TOF 位置で受信した FF コードの有効/無効を設定します。
CR 動作 [CR ドウサ]	CR CR+LF	CR コード受信時の動作を設定します。
ANK コード表 [ANK コードヒョウ]	カタカタ グラフィックス	ANK コード表を設定します。
ANK 文字品位 [ANK モジヒン]	ゴウヘン ドラフト	ANK 文字品位を設定します。
ANK フォント [ANK フォント]	ケーリエ ローマン OCR-B	フォントの選択を行います。 ANK 文字書体選択コマンドを受信した場合は、コマンドを優先します。
国際文字選択 [コクサイモジ]	ニッポン アメリカ	国際文字の出力種類を設定します。
ANK 文字間隔 [ANK モジカンカク]	10CPI 12CPI 15CPI	ANK 文字印字時の文字間隔を設定します。
漢字フォント [カンジフォント]	ミンチョウタイ ゴシツクタイ	漢字の書体を設定します。
印字方向指定 1 [インジホウコウ 1]	カタホウコウ リョウホウコウ	縦 2 倍拡張文字を印字するときの印字方向を設定します。
印字方向指定 2 [インジホウコウ 2]	カタホウコウ リョウホウコウ	ビットイメージ、拡張グラフィックコード表の「BOH～DFH、F4H、F5H」および、オフィスモード有効時の印字方向を設定します。本設定が片方向に設定されている場合、片方向印字設定/解除コマンドで両方向に設定しても単方向印字を行います。
DC1・DC3 [DC1・DC3]	ユウコウ ムコウ	DC1、及び DC3 コード受信時の有効/無効を設定します。

[大項目] : ソノタセツテイ

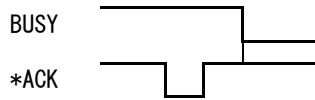
中項目 [LCD表示]	設定値	機能
印字圧 [インジヤツ]	ヒョウジユン コウフクシヤ	電源投入時の印字圧モードを設定します。
カルならし動作 [カルナラシトウサ]	ユウコウ ムコウ	単票吸入時、または改頁時の単票先端ならし動作を設定します。 横長の用紙(B4サイズ以上)等を使用する際に用紙選択がカルする場合は、本機能を有効に設定してください。
リボシマスク保護 [リボシマスクホゴ]	ユウコウ ムコウ	リボシマスクの孔が改行時に損傷するのを保護する機能を設定します。 有効に設定した場合、連帳改頁時にセンターリング動作を行います。 連帳改頁時に印刷開始位置がズれる場合は、本機能を有効に設定してください。
ゼロフォント [ゼロフォント]	0 Φ (スラッシュ有)	ANKコード表の数字「0」の字体を設定します。
AUTO FEED XT 信号 [AUTO FEED XT]	ユウコウ ムコウ	AUTO FEED XT 信号の有効/無効を設定します。メニュー設定の「CRトウサ」及び、本設定の状態により、CRコードの処理は次の表のようになります。

本設定	メニューの設定	電源投入時 *AUTO FEED XT の信号状態	CRコードの動作
*AUTO FEED XT 信号	CRコード		
ムコウ	CR	—	自動改行しない
	CR+LF	—	自動改行する
ユウコウ	CR	LOW	自動改行する
		HIGH	自動改行しない
	CR+LF	—	自動改行する

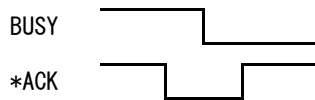
[大項目] : ソノタセツテイ

中項目 [LCD 表示]	設定値	機能
SLCT IN [SLCT IN]	ユウコウ ムコウ	インタフェース信号上の SLCT IN 信号の有効/無効を設定します。
インタフェース設定 [インタフェースセツテイ]	A-B-A A-B	インタフェースの ACKNLG、BUSY 信号の設定を行います。
POWER ON READY [POWER ON READY]	ユウコウ ムコウ	電源投入時、自動的に準備完状態にするかしないかを設定します。
双方向 I/F [ソウホウコウ I/F]	ユウコウ ムコウ	双方向インタフェースの有効/無効を設定します。

a. 「*ACK-BUSY タイミング = A-B」



b. 「*ACK-BUSY タイミング = A-B-A」



添付のプリンタドライバ使用時は、プリンタドライバの余白が優先されます（吸入位置の設定は反映されません）ので、アプリケーション側の余白設定にて調整願います。

メニュー設定初期化方法

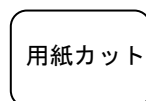
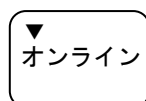
メニュー設定の初期化を行うことで、変更した設定値の内容を初期値（工場出荷時）に戻すことができます。

1 プリンターの電源を切る

電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

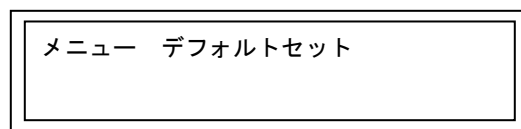
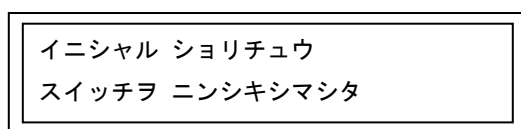
2 初期化を行います。

次の3つのスイッチを押しながら、プリンターの電源を入れます。



3 表示パネルの表示内容を確認する。

表示パネルに次の内容が表示されたことを確認します。



プリンターが起動したら、初期化の完了です。

第4章

用紙のセット

この章では、用紙のセット方法について説明します。

用紙をセットする.....	4-2
単票テーブルに用紙をセットする.....	4-3
連続用紙をセットする.....	4-7
連続用紙をカット位置に送る.....	4-16
オートシートフィーダーに用紙をセットする.....	4-18
用紙厚を調整する.....	4-24
印字位置を微調整する.....	4-26
印字開始位置を微調整する.....	4-26
行間ズレを微調整する(水平印字補正).....	4-27

用紙をセットする

このプリンターでは、単票用紙および連続帳票用紙が使用できます。

.. ガイド ..

オプションのトラクターユニットは、プリンターの後方に取付け可能です。

オプションのトラクターユニットをプリンター後方にセットすることにより、

連続用紙を前後同時にセットすることができます。

オートシートフィーダーとトラクターユニットをプリンター後方に同時接続することはできません。

単票テーブルに用紙をセットする

イージーセット機能を使用すると、単票テーブルの中央に用紙を差し込むと自動的に吸入されます。単票用紙は一枚ずつ差し込んでください。使用できる用紙サイズは、はがき～A3です。詳細は、「第5章 用紙について」を参照してください。
イージーセット機能オンで使用できない用紙はイージーセット機能オフにして使用してください。

1 プリンターの電源を入れる

スイッチが「|」側に倒れていることを確認します。

2 イージーセット機能の有効／無効を設定する

操作パネルの「イージーセット」ランプにより、イージーセット機能の有効／無効を確認します。

プリンターをオフライン状態にしてから、**オンライン**スイッチを押したまま、**用紙選択**スイッチを押すことで、イージーセット機能の有効／無効を切り替えることができます。

3 用紙モードが単票手差しモードになっていることを確認する

表示パネルに「テサシ」と表示されていることを確認します。

表示パネルに「テサシ」と表示されていない場合は、**オンライン**スイッチを押して、プリンターをオフライン状態（「オンライン」ランプ消灯）にし、用紙選択スイッチを押して、用紙モードを「テサシ」に切り替えます。

このとき連続用紙が吸入されたままの場合は、メニュー設定に従って、連続用紙の「退避」または「カット位置までの紙送り」を行います。



お願い

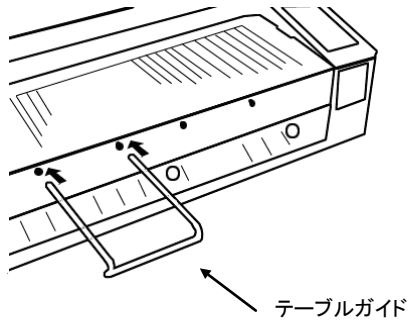
連帳用紙の退避動作が終了する前に単票テーブルに用紙をセットすると、「単票手差し」状態に切り替わらない場合があります。
連帳用紙の退避動作が終了し、「単票手差し」状態に切り替わった後に単票をセットするようにしてください。

4 上位装置から印刷を実行する

パソコンなどから印刷を実行します。

5 用紙をセットする

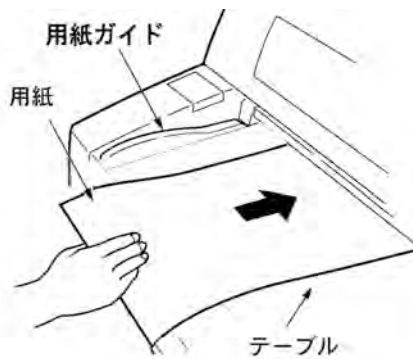
プリンターのブザーが鳴動し、表示パネルに「タンピョウ セットマチ ヨウシヲ セットシテクダサイ」と単票用紙のセット要求が表示されたら、用紙ガイドを左端に寄せ、単票テーブルに用紙をセットします。



A3サイズなど大きな用紙を使用する場合は、添付品のテーブルガイドを取り付けてください。

・イージーセット機能を有効に設定した場合

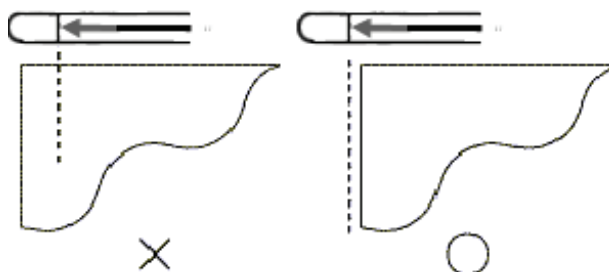
イージーセット機能の有効範囲に用紙をセットします。



印字開始位置は、メニュー設定の左端余白量に従います。
工場出荷時は、用紙左端より 5.1mm の位置になります。

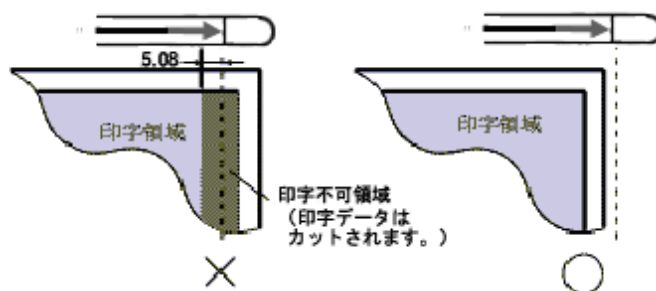
用紙左端位置に関する注意

プリンタのラベル ← 部（「イージーセット機能」の用紙セット範囲）に対して、用紙の左端を下記の×で示す位置にセットした場合、用紙は吸入後排出されます。○で示す位置にセットしてください。



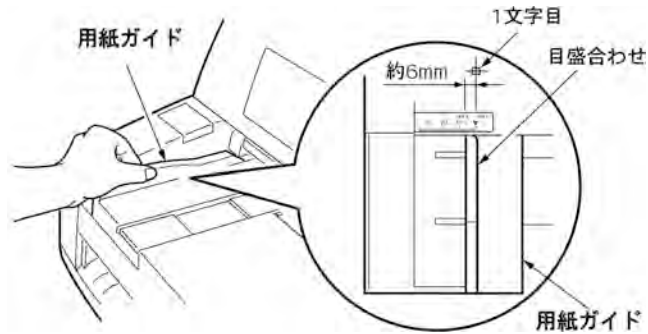
用紙右端位置に関する注意

プリンタのラベル → 部（「イージーセット機能」の用紙セット範囲）に対して、用紙の右端を下記の×で示す位置にセットすると、印字データがカットされることがあるので、○の位置にセットしてください。



・イージーセット機能を無効に設定した場合

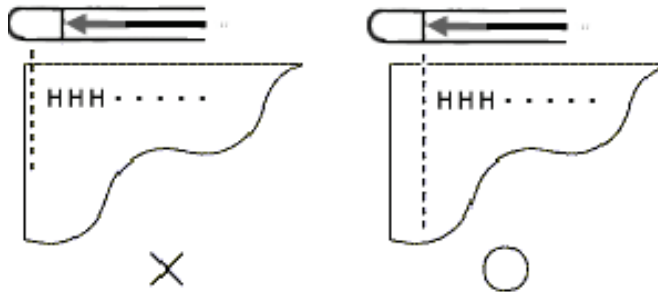
用紙ガイドに沿って、用紙をセットします。



印字開始位置を帳票に合わせて細かく設定したい場合は、イージーセット機能をオフにして用紙ガイドで調整してください。

矢印の範囲を越える用紙セット時の注意 (A3横等)

A3横等の用紙使用時は、矢印の範囲を越えますので、印字開始位置が ← 内に収まるように「手差し設定」の「イージーセット左端余白」の設定値を変更してください。



連続用紙をセットする

次の1～2の基本操作を行い、連続用紙をセットする場所（前連帳、後連帳）にあわせて、それぞれの操作を行ってください。



単票テーブルに用紙が残ったまま連帳用紙を吸入させると、単票テーブル上の用紙も同時に吸入してしまう場合があります。連帳使用時には、単票テーブルの上に用紙をセットしないでください。

1 プリンターの電源を入れる

スイッチが「|」側に倒れていることを確認します。

2 用紙モードを確認する

用紙モードを「前連帳」または「後連帳」に設定します。

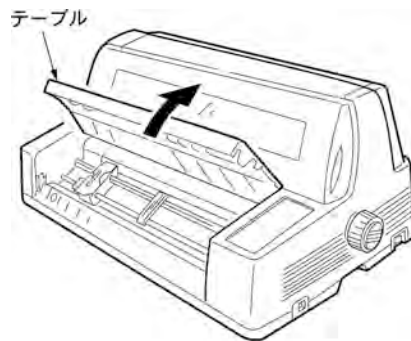
オンラインスイッチを押して、プリンタをオフライン状態（「オンライン」ランプ消灯）にし、

用紙選択スイッチを押して、用紙モードを「マエレンチョウ」または「ウシロレンチョウ」に切り替えます。

前トラクターから給紙する場合

3 用紙モードが「マエレンチョウ」になっていることを確認する

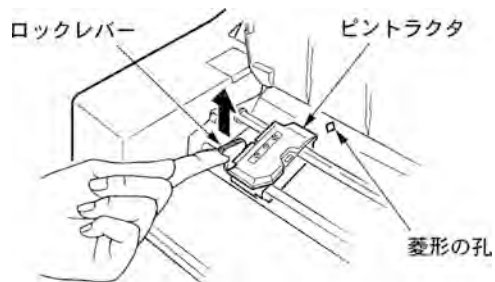
4 テーブルを開く



5 左側のピントラクタの位置をあわせる

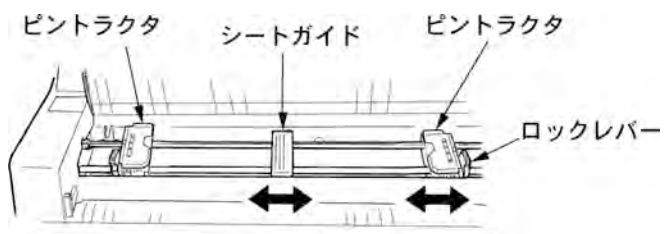
左側のピントラクタのロックレバーを引き上げ、横方向の印字位置をあわせ、位置をあわせたら、ロックレバーを下げて固定します。

・目盛上の「▼」および菱形の孔の中心が、横方向の1文字目の中心になります。



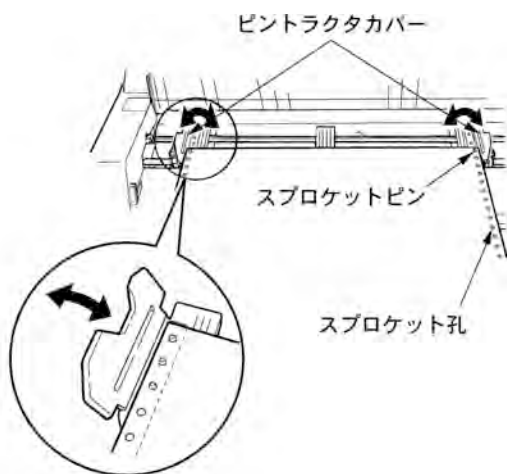
6 右側のピントラクタの位置をあわせる

右側のピントラクタのロックレバーを開放し、連続用紙の幅にあわせませす。
シートガイドは左右のピントラクタの中央に移動します。



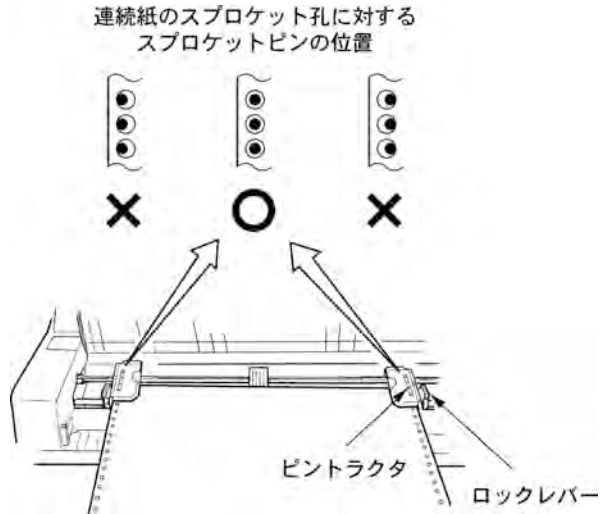
7 連続用紙をセットする

左右のピントラクタカバーを開いて連続用紙をセットし、ピントラクタカバーを閉じます。
用紙セット時には、左右のスプロケットピンとの位置が、ずれないように注意してください。



8 ロックレバーを固定する

右側のピントラクタを連続紙の幅にあわせ、ロックレバーを押し上げて固定します。

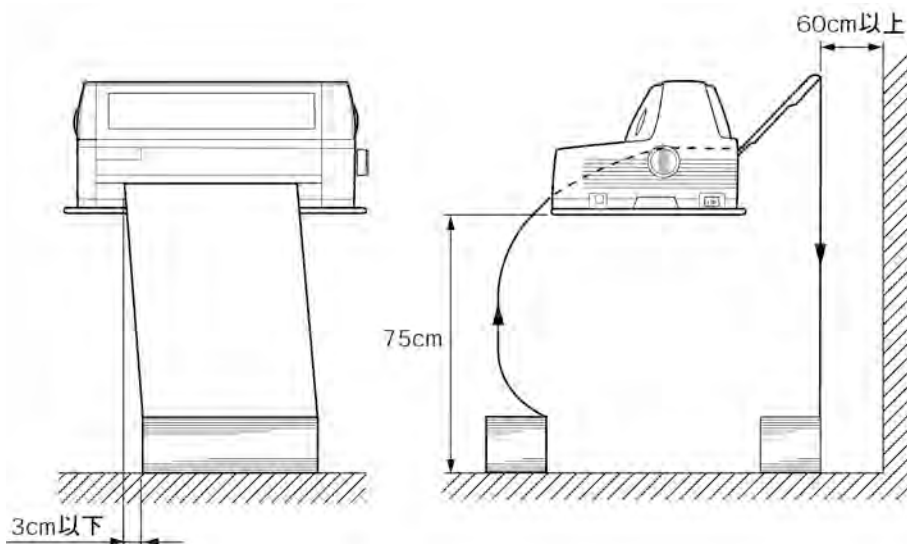


9 用紙をロードする

テーブルを閉じ、**用紙セット/排出**スイッチを押して、1行目印字開始位置まで連続用紙をロードします。

連続用紙の置き方

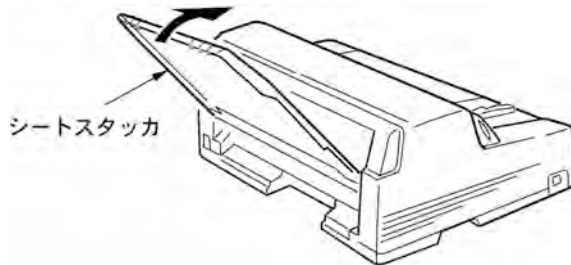
- ・プリンターを置く机の高さは、75cmを目安にしてください。
- ・連続紙は、用紙走行経路に沿って、プリンターと平行に置いてください。
左右方向のズレは3cm以下にしてください。
- ・プリンターの前部と机の縁をあわせてください。
- ・プリンターの後部は印字後の用紙スペース確保のため、壁から60cm以上離してください。
- ・インターフェースケーブルや電源コードが用紙と干渉しないように注意してください。



後ろトラクターからの給紙

10 用紙モードが「ウシロレンチョウ」になっていることを確認する

11 シートスタッカを持ち上げて固定する



12 左側のピントラクタの位置をあわせる

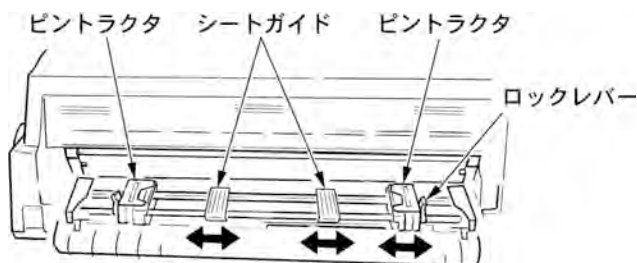
左側のピントラクタのロックレバーを引き上げ、横方向の印字位置をあわせ、位置をあわせたら、ロックレバーを下げて固定します。

- ・目盛上の「▼」および菱形の孔の中心が、横方向の1文字目の中心になります。



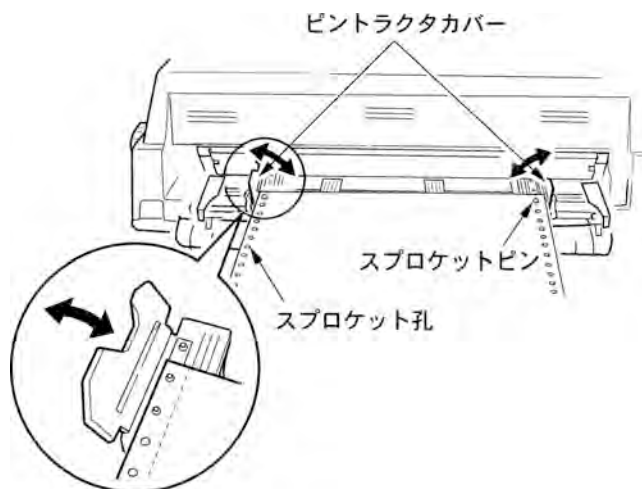
13 右側のピントラクタの位置をあわせる

右側のピントラクタのロックレバーを開放し、連続用紙の幅にあわせませす。
シートガイドは左右のピントラクタの中央に移動します。



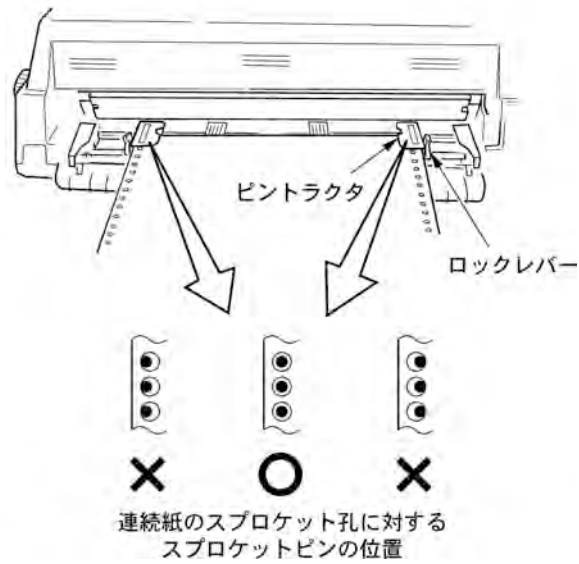
14 連続用紙をセットする

左右のピントラクタカバーを開いて連続用紙をセットし、ピントラクタカバーを閉じます。
用紙セット時には、左右のスプロケットピンとの位置が、ずれないように注意してください。



15 ロックレバーを固定する

右側のピントラクタを連続紙の幅にあわせ、ロックレバーを押し上げて固定します。

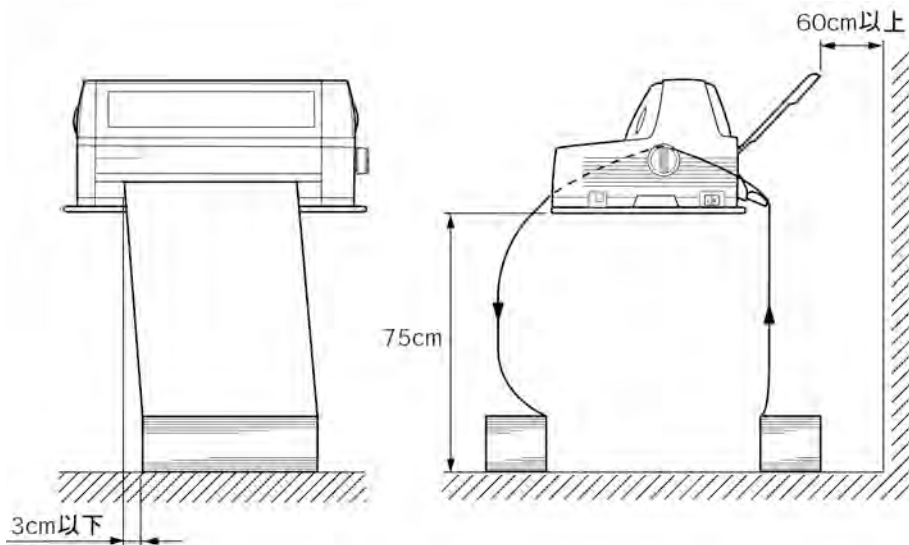


16 用紙を印字ロードする

シートスタッカを下げ、**用紙セット/排出**スイッチを押して、1行目印字開始位置まで連続用紙をロードします。

連続用紙の置き方

- ・プリンターを置く机の高さは、75cmを目安にしてください。
- ・連続紙は、用紙走行経路に沿って、プリンターと平行に置いてください。
左右方向のズレは3cm以下にしてください。
- ・プリンターの前部と机の縁をあわせてください。
- ・プリンターの後部は印字後の用紙スペース確保のため、壁から60cm以上離してください。
- ・インターフェースケーブルや電源コードが用紙と干渉しないように注意してください。



連続用紙をカット位置に送る

連続用紙のミシン目が、カットしやすい位置(カット位置)にくるように用紙を送ります。

1 オフライン状態で **用紙カット** スイッチを押す

最終ページのミシン目が、用紙カット位置まで送られます。

メニュー設定のハードウェア設定で、「オートティアオフ」を「1秒」または「3秒」に設定している場合は、印字が終わる(または印字データを印字し終わる)ごとに自動的に用紙カット位置まで、用紙が送られます。

2 印字済みの用紙をカットする

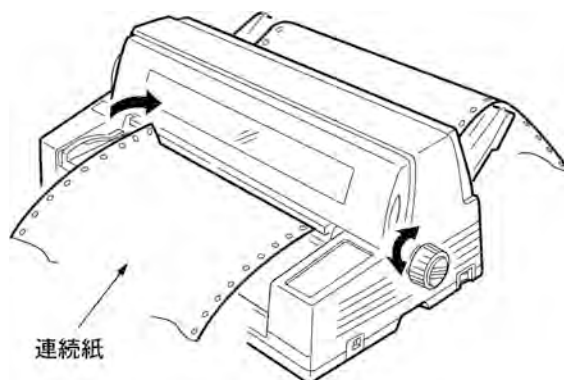
<連続用紙を前方からセットした場合>

連続用紙のミシン目部分を押しさえながら、ゆっくりカットしてください。



<連続用紙を後方からセットした場合>

連続用紙のミシン目部分を押さえながら、ゆっくりカットしてください。

**3 用紙を印字開始位置に戻す**

再度 **用紙カット** スイッチを押すと、用紙が印字開始位置まで戻ります。

.. ガイド ..

カット位置があわない場合は、カット位置の補正を行ってください。

カット位置の補正方法

用紙カット スイッチを押した状態で、**改行/高複写** スイッチまたは、**改頁/高速** スイッチを押してください。

改行/高複写 スイッチを押すと正方向へ 1/120 インチ単位でカット位置を補正します。

改頁/高速 スイッチを押すと逆方向へ 1/120 インチ単位でカット位置を補正します。

移動したカット位置はスイッチを離した時点でプリンターに記憶されます。

オートシートフィーダーに用紙をセットする

オートシートフィーダーは、プリンターの前後に取り付けることができます。
基本的な用紙のセット方法は、どちらに取り付けた場合でも同じです。
説明では、オートシートフィーダーを前方に取り付けています。
また、説明図を見やすくするために、センタガイド、リアシートサポータを一部、
1個のみとしています。



お願い

紙質は同一種類のをセットしてください。
銘柄や連量(紙厚)などが異なるものを一緒にしてセットしないでください。

1 プリンターの電源を入れる

スイッチが「|」側に倒れていることを確認します。

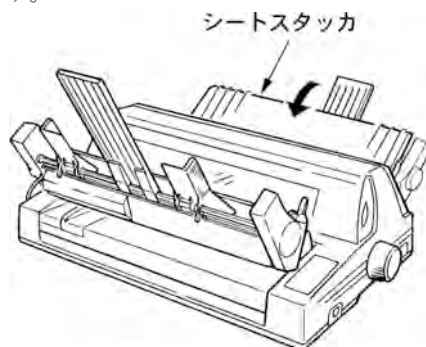
2 用紙モードを確認する

用紙モードを「マエASF」または「ウシロASF」に設定します。

オンラインスイッチを押して、プリンタをオフライン状態(「オンライン」ランプ消灯)にし、
用紙選択スイッチを押して、用紙モードを「マエASF」または「ウシロASF」に
切り替えます。

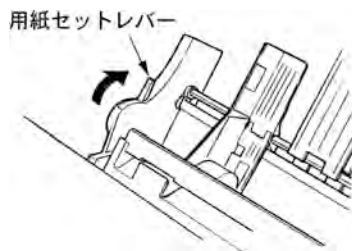
3 シートスタッカを起こす

プリンター後方のオートシートフィーダーに用紙をセットする場合は、シートスタッカを
前に起こします。



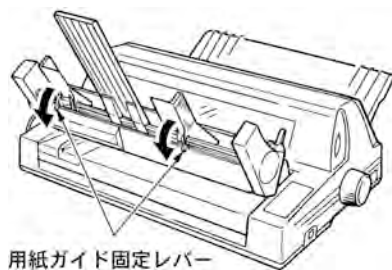
4 用紙セットレバーを「RESET」にする

オートシートフィーダーの用紙セットレバーを「RESET」にします。



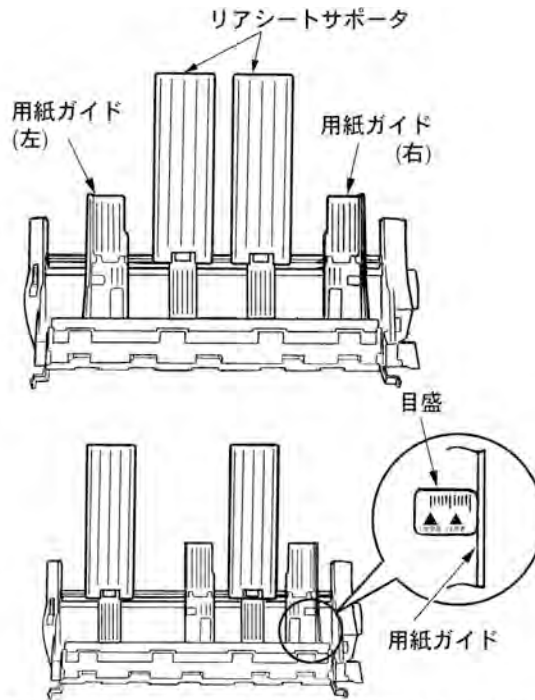
5 左右の用紙ガイド固定レバーを下げる

用紙ガイドの固定を解除します。



6 用紙ガイドの位置を調整する

用紙ガイド上の目盛の「1文字目▲」マークが1文字目の中心になるように用紙ガイド(右)の位置を決め、用紙ガイド固定レバーを上げて固定します。



用紙幅に合わせてリアシートサポータ、センタガイドを外し、用紙ガイドの外側にセットしてください。

7 用紙をセットする

用紙の左端を用紙ガイド(右)にあわせ、印字する面を上にして、用紙をセットします。

普通紙の場合

折り曲げて用紙の端をずらす

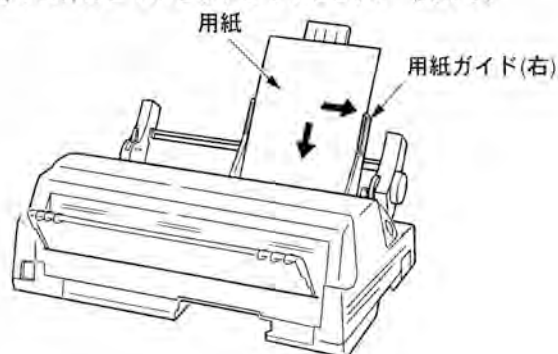
解きほぐし

そろえる



複写紙の場合

のり付けの部分を下にセットしてください。(天のり)

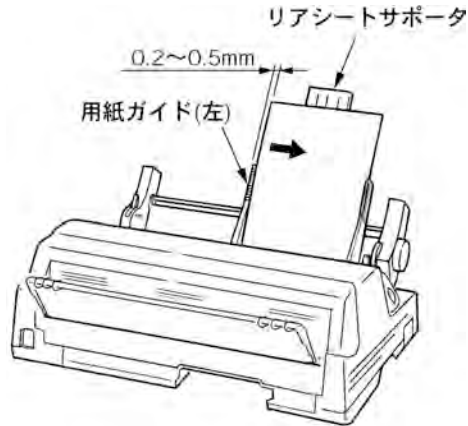


.. ガイド ..

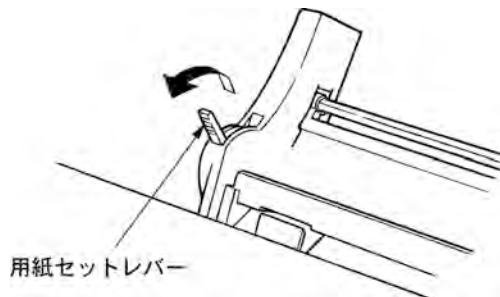
- ・用紙はよくさばき、上下左右をそろえてください。
特に複写紙の場合、のり付けの部分が次の用紙と貼り付いていることがあります。
- ・用紙ガイドの上段の線を越えないように用紙をセットしてください。
普通紙の場合、連量55kg用紙で180枚が目安です。
- ・大きなサイズの内紙や複写紙の場合は、総紙厚を10mm以下にしてください。
- ・折り目、しわ、傷、反りがあるもの、用紙の角が特殊な形状をしたものは使用しないでください。
- ・紙質、厚さ、大きさの異なる用紙を混ぜて使用しないでください。

8 用紙ガイドを固定する

用紙ガイド(左)を用紙幅にあわせ、用紙ガイド固定レバーを上げて、固定します。

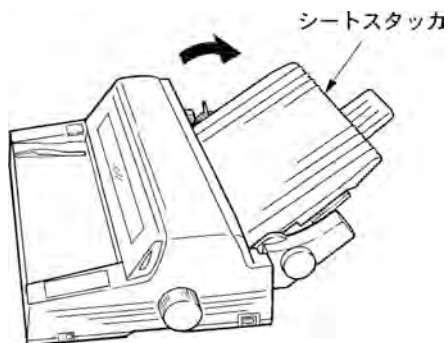


9 用紙セットレバーを静かに「SET」にします。



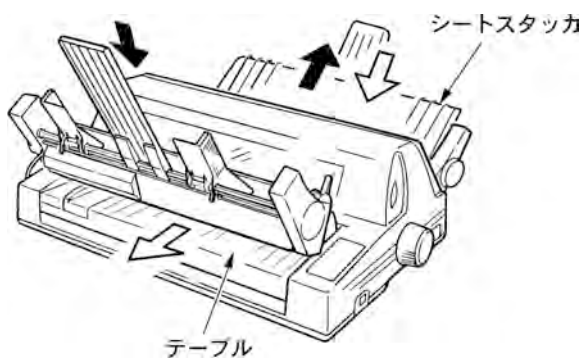
10 シートスタッカを戻す

プリンター後方のオートシートフィーダーに用紙をセットした場合は、シートスタッカを後ろに倒します。



.. ガイド ..

- ・使用中、用紙の端が不揃いになりましたら、印刷を中止し、用紙をそろえて、もう一度セットし直してください
- ・用紙を長時間オートシートフィーダーに放置しないでください。
用紙がカールする原因になります。
- ・オートシートフィーダーからの給紙の場合、用紙の逆改行量は、1回の吸入に対して累計 8.47mm(1/13 インチ)以内です。
- ・複写紙を使用する場合、
 - ①ASF前方取り付け時 シートスタッカ側へ排出
 - ②ASF後方取り付け時 単票テーブル側へ排出としてください。逆の場合、用紙の種類によって、用紙つまりの原因となることがあります。



- ・オートシートフィーダーを前後に取り付けた場合、メニュー設定で、どちらのオートシートフィーダーから給紙するかを設定します。
- ・用紙の種類によっては、セットした最後の用紙が正常に印刷されない場合があります。

用紙厚を調整する

用紙厚の調整とは、印字ヘッドとプラテンの間隔を使用する用紙の厚みに合わせることです。本プリンターは、使用する用紙の厚さ、枚数に応じて自動的に印字ヘッドの位置を上下に調整する自動紙厚調整機能を装備しており、通常は紙厚調整の必要はありません。宅配便伝票などの段差のある用紙に印字するときに、自動紙厚調整ではうまく印字できない場合、操作パネルで手動紙厚調整を設定してください。

設定の変更には、当該印刷のみ設定を有効にするパネル操作と、継続的に設定を有効とするメニュー設定の変更があります。

メニュー設定では、手差し、前ASF、後ASF、前連帳、後連帳の各用紙モードで用紙厚を設定することができます。

設定は、次ページの値を参考に行ってください。

パネル操作、メニュー設定の変更については、「第3章 プリンターの機能とその使い方」を参照して、「**カミアツチョウセイ XXXX**」を設定してください。

(XXXXは、各用紙モード)

設定の目安を次に示します。

用紙の種類と厚さ		用紙厚調整ダイヤルの位置												
1枚紙	複写紙	1	2	3	4	5	6	7	8	A	B	C	D	E
連量 40~70kg	一般的な1枚 (連量 34kg)	○												
連量 70~110kg	2枚		○											
連量 110~135kg	3枚			○										
ハガキ	4枚				○									
各種封筒 特殊紙など	5枚					○								
	6枚						○							
	7枚							○						
	8枚								○					
各種宅配伝票 (ゆうパック等)										○				
											○			
												○		
リボン交換時													○	○



お願い

手動でお使いなる場合は、用紙の厚さに対して下記の目安に従って用紙厚調整をセットしてください。

用紙厚調整値は、数字1~8、英字A~Eの13段階あり、1目盛増す毎に約0.05mm単位で用紙と印字ヘッドの間隔が広くなります。おおよその目安として1~2番の設定で1枚、1目増す毎に用紙1枚分間隔が広がります。

使用する用紙の複写枚数、厚さに応じて適切な印字品質となるように設定してください。

使用する用紙に対して、用紙厚調整が適切でないときは、次のような現象が起こることがあります。

用紙厚に対して用紙厚調整が広すぎる時

印字抜けが生じることがあります。

用紙厚に対して用紙厚調整が狭すぎる時

- ・印字中にリボンがはずれたり、たるんだりして印字ヘッドの故障の原因になることがあります。
- ・用紙の端面が切れたり、しわになったりすることがあります。
- ・リボンによって用紙が汚れることがあります。
- ・用紙の送りが悪くなることがあります。
- ・キャリアが正常に動かなくなることがあります。

印字位置を微調整する

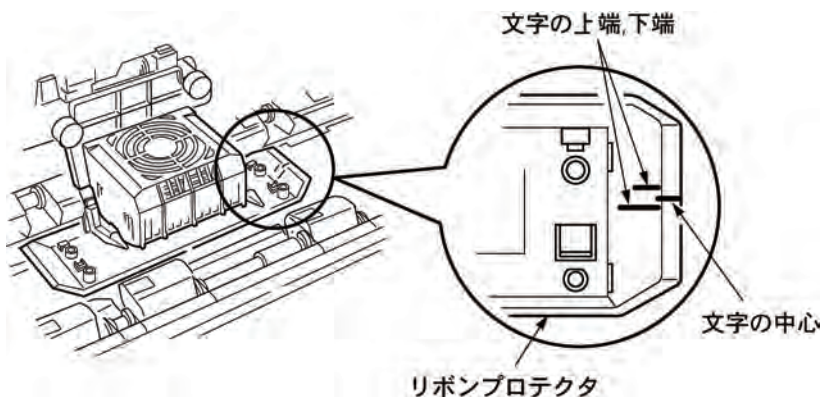
印字開始位置を微調整する

1文字目の印字位置を任意の位置に設定することができます。

1文字目印字位置とは、用紙の先頭行のことで、用紙が自動給紙されて停止する位置です。用紙の種類によっては、1文字目印字位置が異なる場合がありますので、この機能を設定してください。

設定の変更には、当該印刷のみ設定を有効にするパネル操作と、継続的に設定を有効とするメニュー設定の変更があります。

メニュー設定では、手差し、前ASF、後ASF、前連帳、後連帳の各用紙モードで印字開始位置を設定することができます。



パネル操作、メニュー設定の変更については、「第3章 プリンターの機能とその使い方」を参照して、[TOFイチ XXXX]を設定してください。

(XXXXは、各用紙モード)

行間ズレを微調整する（水平印字補正）

縦罫線などを正逆両方向で印字したときに生じる行間の横方向の印字位置の不揃いを直します。オフィスモード、標準印字モード、高速印字モード、ドラフト印字モードの行間ズレを直すことができます。ドラフト印字モードとは 60dpi の解像度の内蔵フォントを使用して標準の 3 倍の速度で印字するモードです。

設定の変更については、「第6章 保守と点検」の「水平印字補正」を参照してください。

第5章

用紙について

この章では、本プリンターで印刷できる用紙と取り扱い上の注意点について説明します。

使用できる用紙について.....	5-2
手差しで使用する単票用紙.....	5-3
オートシートフィーダーで使用する単票用紙.....	5-8
連続帳票用紙.....	5-11
とじ穴の開けかた.....	5-22
プレプリント用紙を使用するとき.....	5-23
用紙の形状について.....	5-27
取扱い上のご注意.....	5-28
再生紙の利用について.....	5-31
使用できない用紙.....	5-33
帳票設計時のご注意.....	5-36

使用できる用紙について

本プリンターで印字できる用紙は下記の通りです。ご確認のうえご使用ください。
 なお、用紙の詳細については、「用紙の種類」をご確認ください。

使用可能用紙一覧

用紙種類 形名・品名			普通紙		複写紙			はがき用紙	ラベル紙	封筒用紙	宅配伝票	OA和紙
			上質紙	再生紙	裏カーボン紙	ケミカルカーボン紙	ワнтаイムカーボン紙					
連続用紙	プリンター	前連続紙	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
		後連続紙	○	○	○	○	○	—	○	—	○	—
単票用紙	手差し単票		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	イージーセット		○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	オートシートフィーダー	前ASF	○	○	○	○	○	○	○	—	—	○
		後ASF	○	○	○	○	○	○	○	—	—	○

(※1)○が使用可能用紙です。

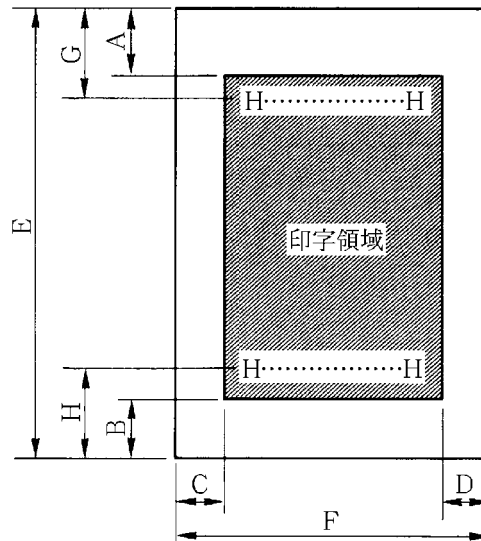
用紙の種類

用紙の種類・名称	特 徴	
普通紙	上質紙	複写可能処理を施していない原紙。
	再生紙	古紙を利用したもの。
複写紙	裏カーボン紙	原紙の裏にカーボンを塗布して重ね合わせたもの。
	ケミカルカーボン紙 (化学感圧紙)	原紙に特殊な化学薬品処理をして重ね合わせたもの。
	ワнтаイムカーボン紙	複写可能処理を施していない用紙の間にカーボン紙を挟み込んだものであるもの。
はがき用紙	はがき用として作成された厚手の用紙。	
ラベル用紙	原紙の裏側にのりが塗布されており、はく離可能なシール状の用紙。	
封筒用紙	重ね合わせた用紙の一部が封筒状にのり付けされたもの。	
宅配伝票	おおむね6～8枚の複写紙を重ね合わせたもので、一部にはがき、ラベル紙等を重ね合わせたものがある。	
OA和紙	OA用の和紙。	

手差しで使用する単票用紙

一般用紙

用紙サイズおよび印字領域



記号	項目	寸法 (mm)
A	印字禁止領域	4.2
B	印字禁止領域	4.2
C	左端印字禁止範囲	5.08 *1
D	右端印字禁止範囲	5.08 *2
E	用紙長さ	70~420
F	用紙幅	55~420 (イージークセット使用時 100~420) *3
G	頭出し位置	以下の値をメニュー設定で設定可能です。 0mm、2.1mm、4.2mm、6.4mm、8.5mm、10.6mm、12.7mm、 14.8mm、16.9mm、19.1mm、21.2mm、23.3mm、25.4mm、 27.5mm (ただし、0~6.4mm は上端印字禁止)
H	下端印字禁止範囲	6.35

注 1) 印字領域以外への印字は禁止します。

注 2) A, B 値は、ドットピッチが 0.14mm の値です。

*1 A3横の場合: イージークセット有効時 約 18~43mm / イージークセット無効時 約 31~43mm

*2 A3横の場合: イージークセット有効時 約 29~50mm / イージークセット無効時 約 32~45mm

*3 印字可能領域は最大 345mm(13.6 インチ)です。

用紙枚数

連量の単位: kg

装置	用紙種類	複写枚数	枚 数										
			1 枚目	2 枚目	3 枚目	4 枚目	5 枚目	6 枚目	7 枚目	8 枚目			
プリンタ	普通紙	1 枚	45~180										
	裏カーボン紙	2 枚	34~55	34~70									
		3 枚	34~45	34~45	34~70								
		4 枚	34	34	34	34~70							
		5 枚	34	34	34	34	34~55						
		6 枚	34	34	34	34	34	34~55					
		7 枚	34	34	34	34	34	34	34~55				
		8 枚	34	34	34	34	34	34	34	34~55			
		ケミカルカーボン紙	2 枚	34~55	34~70								
	3 枚		34~45	34~45	34~70								
	4 枚		34	34	34	34~70							
	5 枚		34	34	34	34	34~55						
	6 枚		34	34	34	34	34	34~55					
	7 枚		34	34	34	34	34	34	34~55				
8 枚	34	34	34	34	34	34	34	34	34~55				

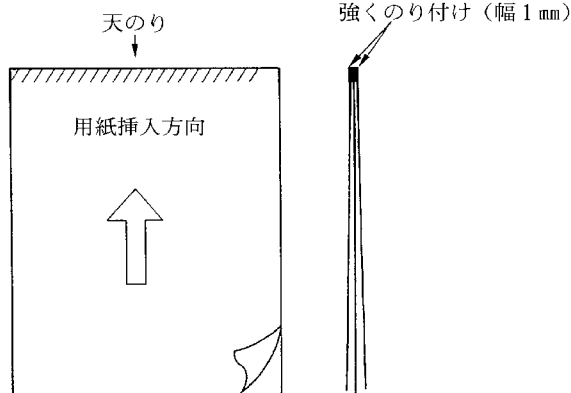
注 1) 連量とは、四六版(788×1091 mm)の用紙 1000 枚の重量を kg で示した値。

注 2) ノンカーボン紙および裏カーボン紙の連量は、用紙メーカーによって多少異なる場合があるため表の数値に近いものを選んでください。なお、裏カーボン紙は、多湿環境で使用しないでください。

注 3) 中カーボン紙は、単票用紙の場合使用しないでください。

用紙のとじ方法

とじ方法は、必ず下図のように天のりとしにしてください。

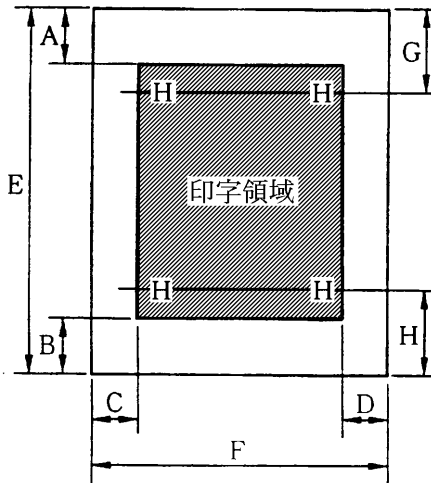


注1) のり付け部が波打ったり硬くなったりしないように、のりの量と種類に注意してください。

注2) 複写紙をする場合で、各用紙間の用紙が異なる場合、一番うすい紙を中層、次に厚い紙を上層、一番厚い紙を最下層紙としてください。

はがき

用紙サイズおよび印字領域



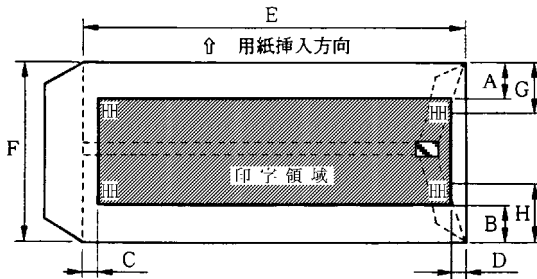
記号	項目	寸法(mm)
A	上端余白	4.2 以上
B	下端余白	4.2 以上
C	左端余白	5.08 以上
D	右端余白	5.08 以上
E	用紙長さ	100, 148, 200
F	用紙幅	100, 148, 200
G	上端打出し	5.9 以上
H	下端打出し	5.9 以上

注) 往復はがきは、折り目のないものを使用してください。

私製はがきを使用する場合は、十分に確認を行ってから使用してください。

封筒

用紙サイズおよび印字領域



記号	項目	寸法(mm)
A	上端余白	7.38 以上
B	下端余白	7.38 以上
C	左端余白	12 以上
D	右端余白	12 以上
G	上端打出し	9 以上
H	下端打出し	9 以上


封筒サイズおよび坪量

封筒の種類	寸法		坪量(g/m ²)		最大用紙厚 (mm)
	E(mm)	F(mm)	クラフト紙	その他の紙	
長形 2 号	277	119	70,85	70 以上 85 以下	0.48
長形 3 号	235	120	50,60,70,85	55 以上 85 以下	0.48
長形 4 号	205	90			
長形 5 号	185	90			
角形 2 号	332	240	70,85	70 以上 85 以下	0.48
角形 3 号	277	216	50,60,70,85	70 以上 85 以下	0.48
角形 4 号	267	197			
角形 5 号	240	190			
角形 6 号	229	162			
角形 7 号	205	142			
角形 8 号	197	119			
洋形 1 号	176	120			
洋形 2 号	162	114	81 以下	81 以下	0.46
洋形 3 号	148	98			
洋形 4 号	235	105			
洋形 5 号	217	95			
洋形 6 号	190	98			
洋形 7 号	165	92			
US10	239	105			
ジャーマンタイプ [®]	220	111			

注 1) 印字領域以外への印字を禁止します。

注 2) 封筒印字時は、印字汚れ・かすれなどが発生しやすくなりますので、十分確認の上使用してください。また、自動紙厚調整機構の故障の原因となりますので、手動紙厚調整に切り替えて使用してください。

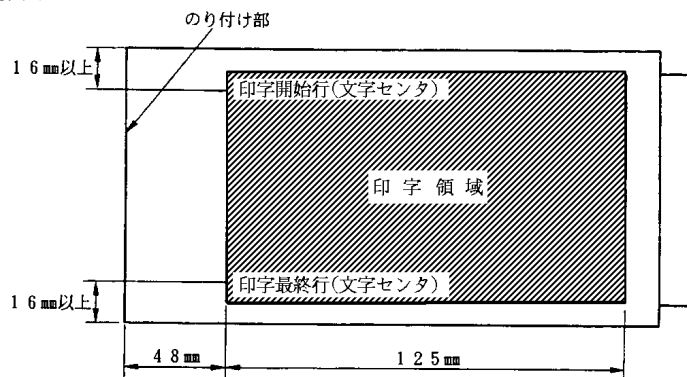
注 3) 印字領域内の用紙の段差は、最大 0.15mm 以下としてください。

- 注 4) のり付け部の上およびその周辺 5mm 以内への印字を禁止します。
- 注 5) フラップ部破線の食込みが封筒肩より 12mm 以上の場合は、破線部の右側で印字してください。
- 注 6) フラップ部などがのり付け加工された封筒は、使用しないでください。
- 注 7) 切手およびシールなどを貼付けた封筒は、使用しないでください。
- 注 8)  斜線部への印字は、リボン汚れが発生し易いのでさけてください。
- 注 9) 封筒はイメージセット機能オフにして印字してください。イメージセット機能オンで印字すると、封筒のフラップ部(斜めの部分)を用紙端面と判断し、印字開始位置がズレることがあります。
- 注 10) 封筒のフラップ部(斜めの部分)は第1ドットの左側となるように用紙ガイドを移動して使用してください。
- 注 11) オートシートフィーダーでは使用できません。

宅配伝票

ここでは宅配伝票としての代表的な郵便小包ラベル(ゆうパック)について規定します。他の宅配伝票を使用する場合は、十分確認の上ご使用願います。郵便小包ラベル(普通用 A、C)

印字領域

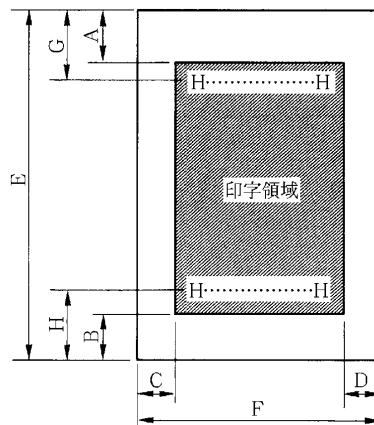


- 注 1) 印字領域以外の印字は禁止します。
- 注 2) 用紙厚段差のある伝票を印字すると、自動紙厚調整機構の故障の原因となりますので、手動紙厚調整に切り替えて使用してください。
- 注 3) 印字領域内の用紙の段差は、最大 0.15mm 以下としてください。
- 注 4) 用紙の最大厚さは、ゆうパック伝票 (Max 0.6mm) 以下としてください。
- 注 5) 折れ曲がりのある用紙は、斜行、角折れ、および用紙づまりの原因になります。

オートシートフィーダーで使用する単票用紙

一般用紙

用紙サイズおよび印字領域



用紙幅	名称	寸法(mm)
A	印字禁止領域	4.2
B	印字禁止領域	4.2
C	左端印字禁止範囲	5.08 *1
D	右端印字禁止範囲	5.08 *2
E	用紙長さ	90~420
F	用紙幅	100~420 *3
G	頭出し位置	以下の値をメニュー設定で設定可能です。 0mm、2.1mm、4.2mm、6.4mm、8.5mm、10.6mm、12.7mm、 14.8mm、16.9mm、19.1mm、21.2mm、23.3mm、25.4mm、 27.5mm (ただし、0~6.4mm は上端印字禁止)
H	下端印字禁止範囲	6.35

注) 印字領域以外の印字は禁止します。

*1 A3横の場合: 約 35~37mm

*2 A3横の場合: 約 37~39mm

*3 印字可能領域は最大 345mm(13.6 インチ)です。

用紙枚数

連量の単位:kg

装置	用紙種類	複写枚数	枚数				
			1枚目	2枚目	3枚目	4枚目	5枚目
オートシートフィーダー	普通紙	1枚	55~135				
	裏カーボン紙	2枚	34~55	34~70	—	—	—
		3枚	34~45	34~45	34~70	—	—
		4枚	34	34	34	34~70	
		5枚	34	34	34	34	34~55
	ケミカルカーボン紙	2枚	34~55	34~70	—	—	—
		3枚	34~45	34~45	34~70	—	—
		4枚	34	34	34	34~70	
		5枚	34	34	34	34	34~55

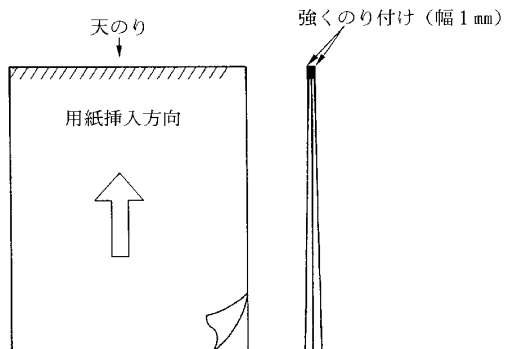
注1) 連量とは、四六版（788 mm×1091 mm）の用紙1000枚の重量をkgで示します。

注2) ノンカーボン紙および裏カーボン紙の連量は、メーカーによって多少異なる場合もありますが、その場合は表の数値に近いものを選んでください。

注3) 中カーボン紙は、単票用紙の場合使用しないでください。

用紙のとじ方法

とじ方法は、必ず下図のように天のりとじにしてください。



注1) のり付け部が波打ったり硬くなったりしないように、のりの量と種類を注意してください。

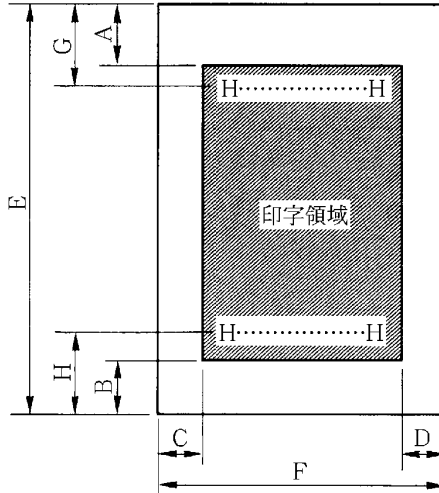
注2) 束のりとじの用紙はとじ力が弱いことから分離したり、のりがはみ出したりしてジャムが発生する可能性がありますので、使用を避けてください。

ホッパ容量

- | | |
|-------------------|---------|
| (1) 一般用紙(55kg、1枚) | 約 180 枚 |
| (2) 5枚(34kg)用紙 | 約 40 枚 |
| (3) 官製はがき | 約 60 枚 |

はがき

用紙サイズおよび印字領域



記号	項目	寸法(mm)
A	上端余白	4.2 以上
B	下端余白	4.2 以上
C	左端余白	5.08 以上
D	右端余白	5.08 以上
E	用紙長さ	100,148,200
F	用紙幅	100,148,200
G	上端打出し	5.9 以上
H	下端打出し	5.9 以上

注) 往復はがきは、折り目のないものを使用してください。

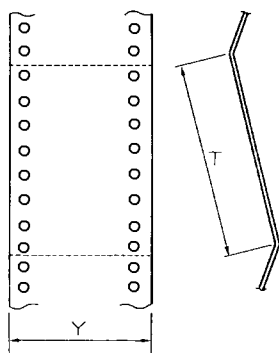
私製はがきを使用する場合は、十分に確認を行ってから使用してください。

連続帳票用紙

このプリンターで使用できる連続帳票用紙は、次のとおりです。

用紙の寸法

連続帳票用紙の寸法を下图に示します。



記号	寸法
Y (用紙幅)	101~406 (4~16 インチ)
T (折畳み長さ)	76~356 (3~14 インチ)

用紙の構成枚数

オリジナルを含む用紙の構成枚数と用紙の厚さ(連量)の組合わせは、下表のとおりです。下表以外の用紙の組み合わせでは、用紙送り精度の乱れなどがより発生しやすくなります。

連量の単位: kg

用紙 ルート	用紙種類	複写 枚数	枚 数								
			1枚目	2枚目	3枚目	4枚目	5枚目	6枚目	7枚目	8枚目	
前連帳／ 後連帳共	普通紙	1枚	45～ 135								
	裏カーボン紙	2枚	34～55	34～70							
3枚		34～45	34～45	34～70							
4枚		34	34	34	34～70						
5枚		34	34	34	34	34～55					
6枚		34	34	34	34	34	34～55				
7枚		34	34	34	34	34	34	34～55			
8枚		34	34	34	34	34	34	34	34	34～55	
前 連 帳 ／ 後 連 帳		ケミカル カーボン紙	2枚	34～55	34～70						
	3枚		34～45	34～45	34～70						
	4枚		34	34	34	34～70					
	5枚		34	34	34	34	34～55				
	6枚		34	34	34	34	34	34～55			
	7枚		34	34	34	34	34	34	34～55		
	8枚		34	34	34	34	34	34	34	34	34～55
	後 連 帳		ワнтаイム カーボン紙	2枚	30～45	30～70	—	—			
3枚		30～40		30～40	30～55	—					
4枚		30～40		30～40	30～40	30～70					
5枚		30～40		30～40	30～40	30～40	34～55				

- 注1) 連量とは、四六版(788×1091mm)の用紙1000枚の重量をkgで示した値です。
- 注2) ノンカーボン紙および裏カーボン紙の連量は、用紙メーカーによって多少異なる場合があるため表の数値に近いものを選んでください。
なお、裏カーボン紙は、多湿環境で使用しないでください。
- 注3) 中カーボン紙は、間に挿入されるカーボン紙を用紙1枚に相当するものとして数え、複写枚数は4枚までとしてください。(後連帳は3枚まで)
- 注4) 用紙の種類および保管状況により、印字品質に差が出る場合があります。不具合が発生する用紙については、その度合いが容認できるものであるかどうかを判断の上使用してください。
- 注5) 全体の用紙厚さは、0.65mm以下としてください。
- 注6) とじられた用紙の大きさは、各層ともお互いに同一になるようにしてください。
- 注7) 前連帳の最大枚数は8枚(高複写モード時)、後連帳の最大枚数は6枚までです。

用紙のとじかた

連続帳票用紙の重ね合わせのとじ方は、「点のりとじ」にしてください。のり付け方法にはいろいろありますが、折り曲げやすいように点のりので、各層間で交互の位置にのり付けする方法をおすすめします。

綴じ方法		適用する用紙枚数	備考
点のりとじ		8枚まで	<ul style="list-style-type: none"> ・本プリンターに最も適したとじ方です。 ・左の図は、帳票の片側のみ示していますが、実際には両側をのり付けてください。
紙ホチキス		3枚まで	<ul style="list-style-type: none"> ・用紙枚数が多くなるほど、用紙層ズレが出やすくなります。 ・左の図は、帳票の片側のみ示していますが、実際には両側を紙ホチキスでとじてください。
線のりとじ	一列	3枚まで	<ul style="list-style-type: none"> ・用紙のしなやかさが失われて固くなってしまいますので、用紙づまりなどが出やすくなります。 ・左の図は、帳票の片側のみ示していますが、実際には両側をのり付けてください。
	二列		

注1) 完成した用紙の折り畳み部分を平らに伸ばしたときのふくらみは、下図に示すように2mm以下になるようにしてください。



注2) 用紙づまりや印字ズレの原因になるので、金属ホチキスとじは使用しないでください。

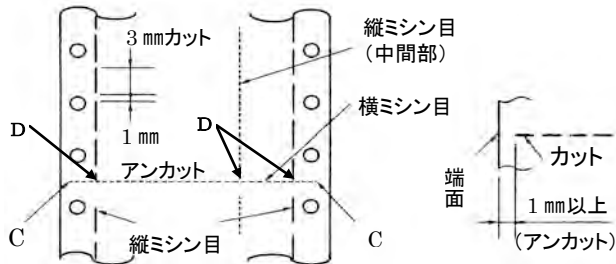
注3) 帳票のスプロケット穴の層間でのズレは、0.4mm以下のものを使用してください。

ミシン目の入れ方

ミシン目の入れ方によっては、用紙送りに悪影響を与えることがあります。特に1枚用紙の場合、ミシン目を強く入れると使用中にミシン目から破けることがあります。

ミシン目の入れ方は、次のようにしてください。

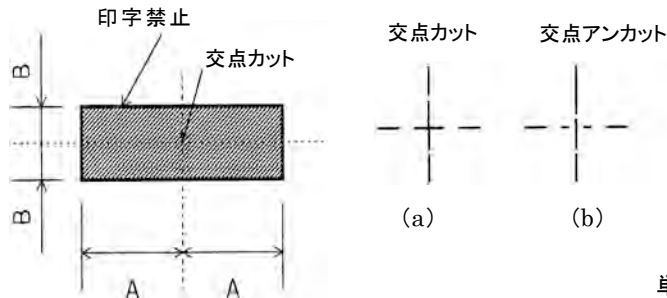
- 1枚用紙のミシン目(縦、横ミシン目共)のカット(切る部分)およびアンカット(切らない部分)の比率は、約3:1にしてください。
- 横ミシン目の端面アンカット寸法(両端部C)は、1mm以上にしてください。
- 縦ミシン目と横ミシン目の交点(D)部は交点アンカット(b)の方法にしてください。交点カット(a)は、行わないでください。
- 複写用紙についても同様の注意が必要です。あらかじめ確認の上、使用してください。



注1) 縦ミシン目と横ミシン目の交点がカットされている(交点カット(a))とき、下図に示す斜線部には印字しないでください。これを守らないと、用紙にキズがついたりプリンターの故障となることがあります。

注2) 縦ミシン目と横ミシン目の交点がカットされていない(交点アンカット(b))ときは、印字禁止領域の制限はありません。

注3) 印字を伴わない印字ヘッドの移動の際にも適用してください。



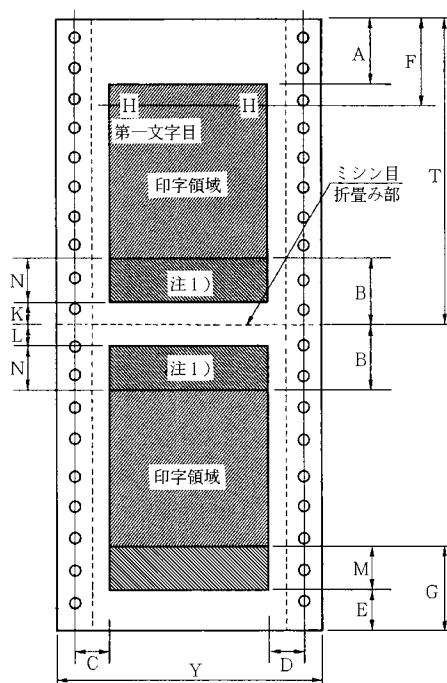
単位(mm)

記号	A	B
寸法	28 以上	3 以上

一般用紙（前・後連帳）

用紙サイズおよび印字領域

連続帳票用紙の印字領域を下图に示します。



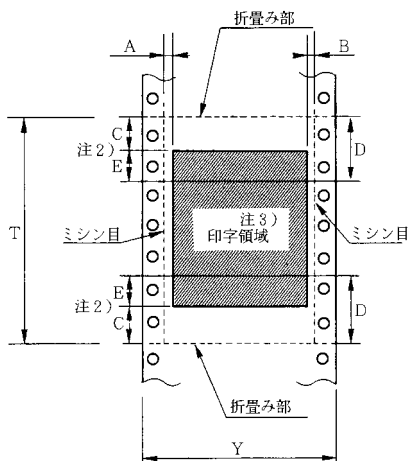
記号	項目	寸法(mm)	
		前連帳	後連帳
A	印字禁止領域	4.2 (注2)	
B	印字禁止領域	19.05	
C	左端印字禁止範囲	12.7	
D	右端印字禁止範囲	12.7	
E	PE 検出(最小値)	約 5	約 5
F	頭出し位置	以下の値をメニュー設定で設定可能です。 0mm、2.1mm、4.2mm、6.4mm、8.5mm、10.6mm、12.7mm、 14.8mm、16.9mm、19.1mm、21.2mm、23.3mm、25.4mm、 27.5mm、29.6mm、31.8mm (ただし、0~6.4mm は上端印字禁止)	
G	PE 検出位置	約 24	約 24
Y	用紙幅	101~406 (注4)	
T	用紙長さ	101~356	
K	印字ヘッド移動禁止範囲	4.2	
L	印字ヘッド移動禁止範囲	4.2	

- 注1) Nの範囲内に印字することは可能ですが、改行精度の低下がおきる場合があります。
- 注2) Aの範囲では印字ヘッドの横移動はさせないでください。
(用紙のフクラミなどにより、リボン汚れおよび用紙引っ掛けの原因になります。)
- 注3) Mの範囲は、トラクタから用紙が外れた領域であり、改行が乱れることがあります。また、逆改行は禁止します。
- 注4) 印字可能領域は最大345mm(13.6インチ)です。

はがき用紙（前連帳）

このプリンターで連続帳票のはがき用紙を使用できます。はがき用紙を使用する場合は、前方（操作パネル側）から用紙をセットします。

用紙サイズおよび印字領域



記号	項目	寸法(mm)
A	左端印字開始位置	5.08
B	右端最終印字位置	5.08
C	印字禁止領域 注1)	8.46 注2)
D	印字可能領域	25.4 注2)
Y	用紙幅	228.6～330.2 (9～13インチ)
T	用紙長さ	203.2～355.6 (8～14インチ)

- 注1) C領域では印字ユニットの横移動はさせないでください。
(用紙のふくらみなどにより、リボン汚れおよび用紙引っ掛けの原因になります。)
- 注2) Eの印字領域内では、多少改行が乱れることがあります。
- 注3) 印字領域内にミシン目がある場合、印字はそのミシン目から5.08mm以上離してください。
ただし、折畳み部以外のミシン目は、カットおよびアンカット比を2:1にしてください。

用紙連量

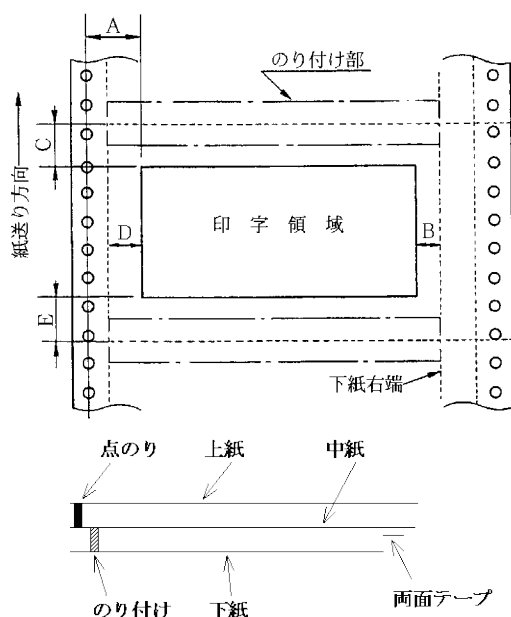
135kg以下とし、枚数は1枚のみとします。

ミシン目の入れ方

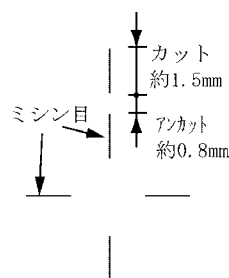
一般用紙と同様です。

封筒用紙（前連帳）

用紙サイズおよび印字領域



記号	寸法(mm)
A	19 以上(3/4 インチ)
B	1 以上(1/25 インチ)
C	8.46 以上(1/3 インチ) ^{注1}
D	5.08(1/5 インチ)
E	21.7(5/6 インチ) ^{注1}

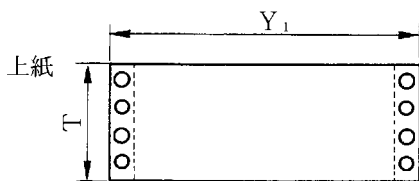
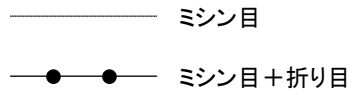
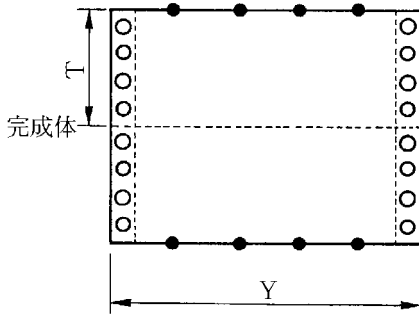


- 注1) 改行精度の保証範囲は、25.4mm 以上です。
- 注2) ミシン目の寸法は、右上図のとおりとしてください。
(ミシン目の強い場合は、破れやすくなります。)
- 注3) のり付けの幅は、4.23mm 以下とします。
- 注4) のり付けによる厚み増加は、0.1mm 以下とします。
- 注5) 穴ズレは、0.3mm 以下とします。

紙質構成および連量

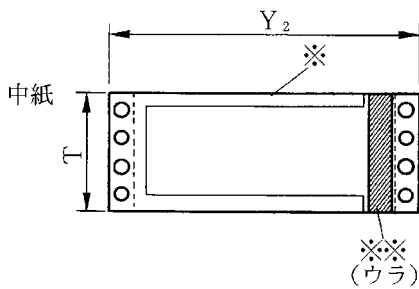
	上紙	中紙	下紙
紙質	裏カーボン紙	ノンカーボン紙	ノンカーボン紙
連量 (kg)	40	70	70

形状および構造



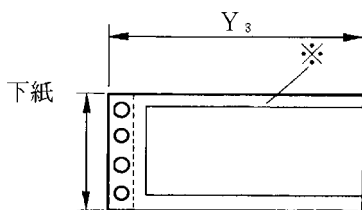
(a) 大きさ

記号	寸法(mm)
T	127(5 インチ)
Y	254(10 インチ)
Y1	254(10 インチ)
Y2	254(10 インチ)
Y3	228.6(9 インチ)



(b) とじ方法

とじ方法	上紙/下紙	中紙/下紙
種類	点のり	棒のり
位置	両端	左端/上下端 4.23mm 幅 (**印)



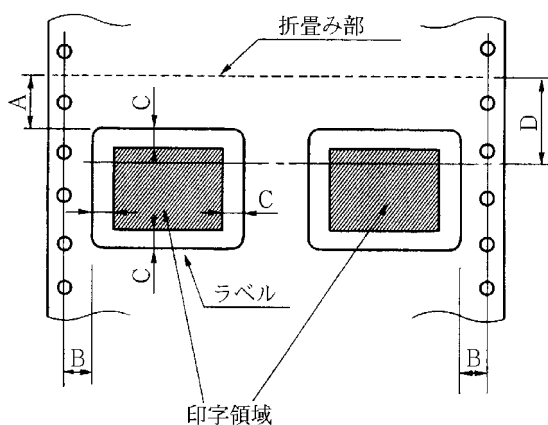
両面テープ使用(**印)

銘柄	アスコットテープ	
幅 (mm)	はくり紙	12
	肉のり	10

ラベル用紙（前・後連帳）

ラベル用紙は、使用する環境や用紙メーカーにより、特性が異なりますので、十分確認の上、問題ないことをご確認してから使用してください。

用紙サイズおよび印字領域



記号	寸法(mm)
A	2.54 以上 (1/10 インチ)
B	6.35 以上 (1/4 インチ)
C	2.54 以上 (1/10 インチ)
D	25.4 (1 インチ)(注)

用紙サイズ(台紙)は、一般連続帳票用紙と同じです。

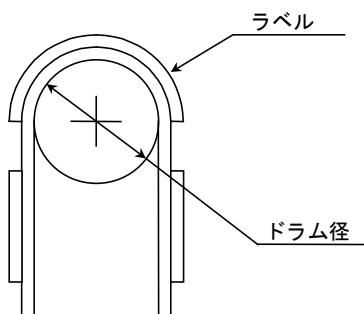
注) 範囲内での印字領域では、多少改行が乱れる場合があります。
(改行量が 1/6 インチ以上の場合、となり合う印字行の文字同士が重なり合うことは有りません。)

用紙厚さ

- ・用紙厚さは、ラベル+台紙が 0.2mm 以下となるようにしてください。
- ・台紙の厚さは、0.1mm 以下としてください。
- ・ラベルの厚さは、0.1mm 以下としてください。

ラベルの貼付け強度

- ・次の条件で、ラベルが台紙からはがれないものを使用してください。
- ラベルのめくれのあるもの、折れ曲がりのあるものは使用しないでください。



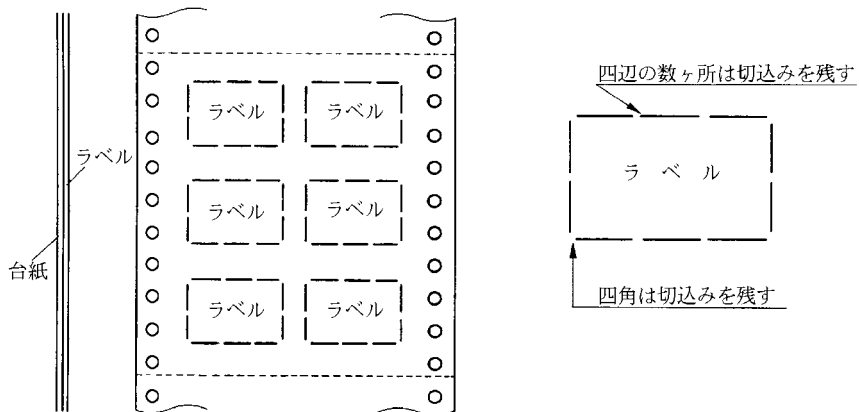
項目	条件
巻付ドラム径	φ27mm
巻付角度	180°
巻付時間	24 時間
周囲温度	40°C
周囲湿度	30%RH

用紙の形態

・ラベルのはがれによる用紙送行不能、または印字ヘッドの損傷など、重大なトラブルを防止するために下記用紙形態をおすすめいたします。

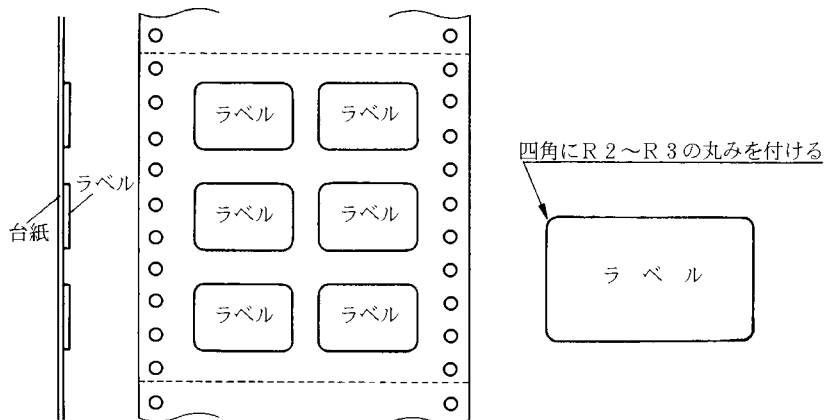
(1) カストリは行わず、ラベルの四角および他の四辺に切込みを残した用紙。

※カストリとは、台紙全体に張られた粘着シールをラベルの部分だけを残してはぎ取ることを言います。



※この形態は、ほぼ完全にラベルのはがれを防止することができ、最もおすすめするものです。できる限りこの形態を使用するようにしてください。

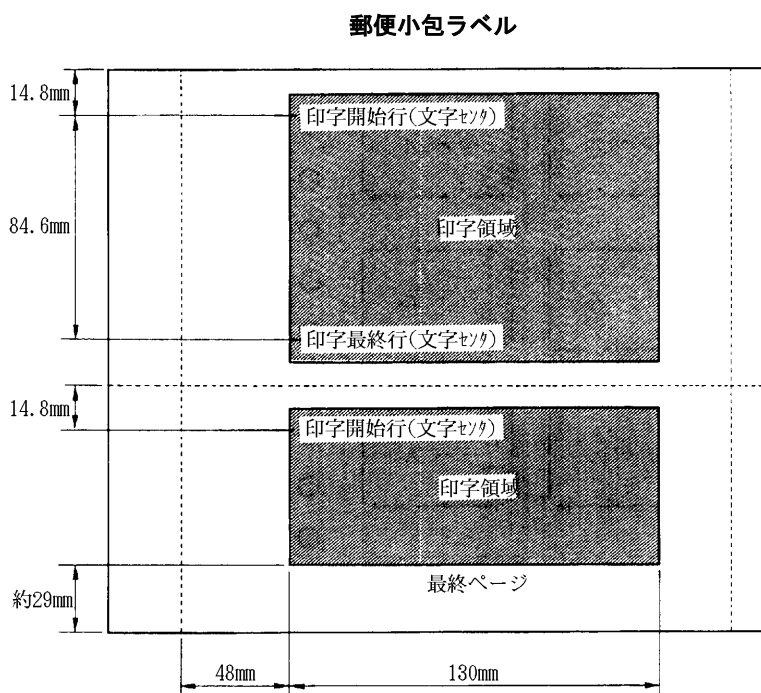
(2) カストリを行う場合、必ずラベルの四角に丸みを付けてください。



宅配伝票（前連帳）

ここでは宅配伝票としての代表的な郵便小包ラベル(ゆうパック)について規定します。他の宅配伝票を使用する場合は、十分確認の上ご使用願います。

印字領域



- 注 1) 印字領域内の用紙段差は、最大 0.15mm 以下としてください。
- 注 2) 用紙厚段差のある伝票を印字すると、自動紙厚調整機構の故障の原因となりますので、手動モードに切り替えて使用してください。
- 注 3) 印字領域外への印字は禁止します。
- 注 4) 折れ曲がりのある用紙は、斜行、角折れ、および用紙づまりの原因になります。

とじ穴の開けかた

印字領域内にとじ穴を開けないでください。やむを得ず印字領域内にとじ穴をあけるときは、とじ穴部と印字が重ならないようにしてください。

プレプリント用紙を使用するとき

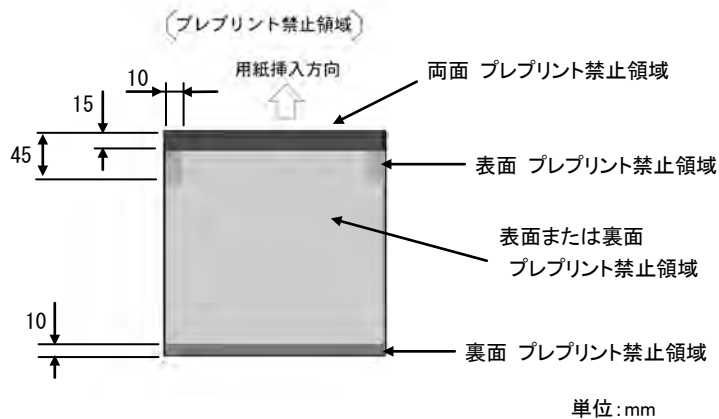
あらかじめ文字や枠などを印刷してある用紙(プレプリント用紙)を作成したり、使用したりするときは、次の点に注意してください。

プレプリント禁止領域内の反射率は、60%以上としてください。

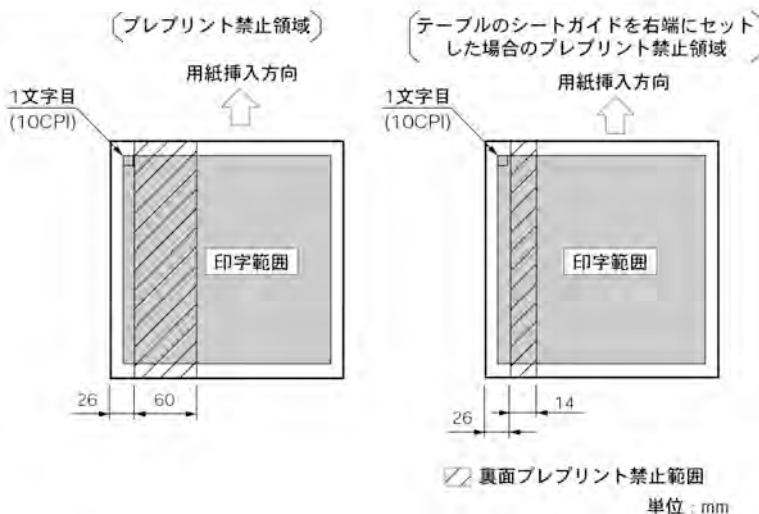
単票のプレプリント禁止領域

手差し単票

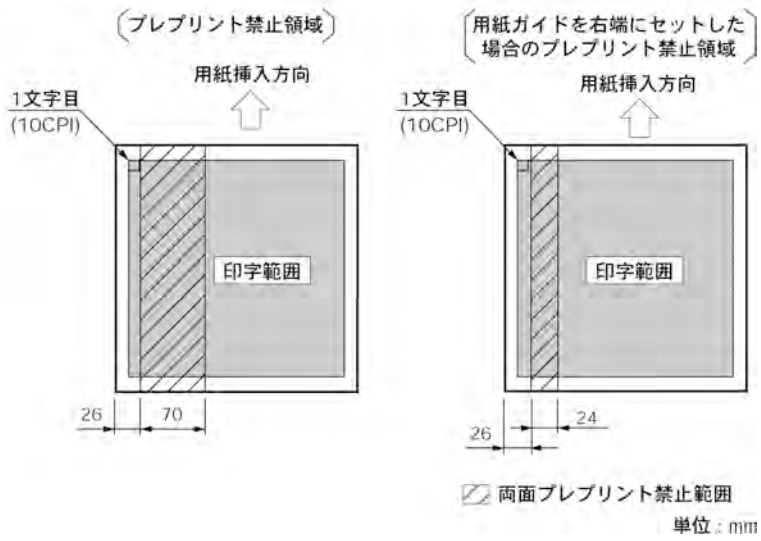
●イージーセット有効時



●イージーセット無効時

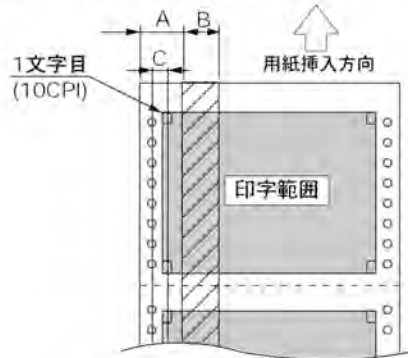


オートシートフィーダー



連帳のプレプリント禁止領域

○ 前連帳の裏面プレプリント禁止領域

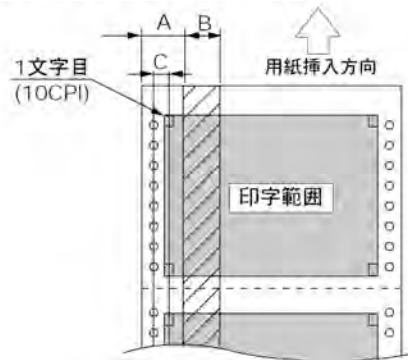


単位 : mm

A	B	C
33	44	—
43	14	12.7のとき

: プレプリント禁止領域

○ 後連帳の裏面プレプリント禁止領域



単位 : mm

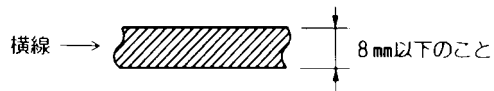
A	B	C
42	44	—
52	14	12.7のとき

: プレプリント禁止範囲

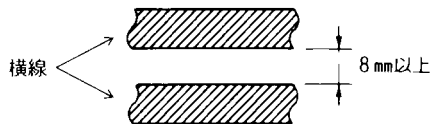
プレプリント禁止領域に印刷するとき

やむを得ず禁止領域内に印刷するときは、次のようにしてください。

(1) 斜線内に印刷する横線の太さは、下図に示すように8mm以下にしてください。



(2) (1)の横線が連続するときは、下図に示すようにすきまを8mm以上あけてください。

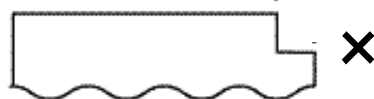


注) 線の太さが0.5mm以下のときは、すきまが4mm以上でも可能です。

(3) 斜線内に縦線を入れるときは、線の太さを0.5mm以下とし、斜線内に1本までとしてください。

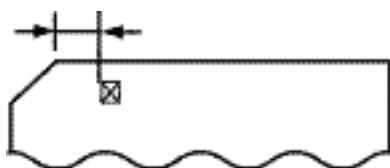
用紙の形状について

イージーセット有効時の用紙上端について

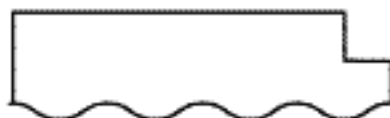


このような用紙はセット位置によって打ち出し位置がズレることがありますので、イージーセット機能オフで使用してください。用紙右上部の切り欠きは印字しない場合があります。

イージーセット無効時の用紙上端について



左端部の面取は第1ドットの左側となるように用紙ガイドを移動して使用してください。

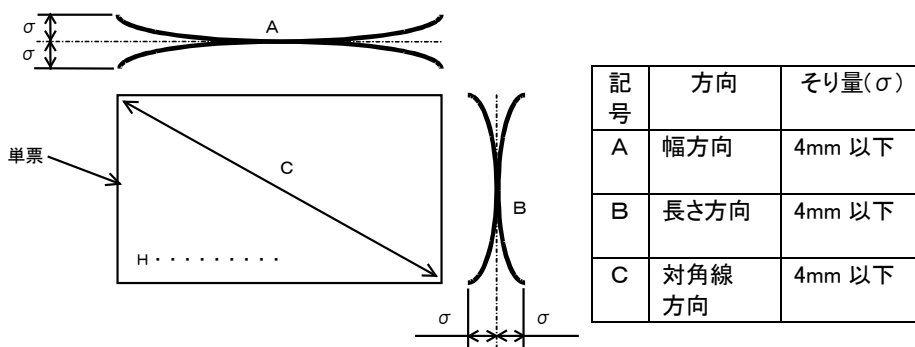


用紙上端の切り欠きや面取がある場合は、機能設定で用紙吸入時の斜行検出を無効にして、使用してください。

取扱い上のご注意

単票取扱い上の注意

- (1) 用紙のセットは装置に取付けた銘板や操作マニュアルに従って確実にセットしてください。特に、イージーセット機能使用時は、自動的に用紙吸入、傾き補正、用紙端面の位置検知を行ないますので用紙端面の折れ、端面部への濃色印刷がある場合には正常動作しない場合がありますのでご注意ください。
- (2) 単票のそりは、用紙の特性の他に取扱い方の不備によって発生することがあります。単票のそりについては、下記条件を満たすものを使用してください。



ただし、上記の値は、単票全体にわたってのそりであり、部分的な曲がりやしわも送り不良の原因となるので、取扱い時の注意が必要です。また、1枚1枚のそりが少ない場合でも、ある程度単票を積み重ねると全体にそっていることがあります。この場合のそりは、単票を 50mm の厚さに重ねた状態で測定し、上記の規定を満たす必要があります。

- (3) 用紙が大きくそっているものは、修正してから使用してください。
- (4) 用紙を保管する場合は水平に置き、そりが生じない様に用紙サイズよりやや大きめの平らな重りを載せて均一な圧力をかけておく様にしてください。また、単票は、1,000 枚以上積み重ねないようにしてください。
- (5) 用紙は風通しの良い場所に置き、直射日光や暖房器具からの副射熱が当たらない様にしてください。

オートシートフィーダー取扱い上の注意

- (1) 次の用紙は、基本的に使用しないでください。使用時には事前テストを十分におこないバックアップ機の準備を行なった上で使用してください。
 - ・ラベル紙
 - ・ミシン目、とじ穴のある用紙
 - ・コーナーにRのついている用紙
 - ・折れ曲がりのある用紙
 - ・一度使用した裏紙 など
- (2) ホッパへの用紙セットは、装置に取り付けた銘板や操作マニュアルに従って確実にセットしてください。
- (3) ホッパには必ず同一寸法、同一紙質の用紙をセットしてください。異なった寸法や紙質、また、縦横を混在して使用しないでください。
(ホッパ内の用紙は極力同一メーカーの同一ロットとし、スキ方向を一致させてください。)
- (4) 用紙が規定より大きくそっているものは、修正してください。
- (5) 外周切断面は凹凸がなく、直線であること。
ケバ等がある用紙は使用できません。
- (6) バラバラになった用紙を集めたもの、複写用紙の裏紙などは使用しないでください。
- (7) 用紙は特に痛みやすいので、取り揃える枚数はせいぜい一度に 160 枚位、多部紙は 30 部位にしてください。
- (8) ホッパへの用紙セットは、必ず裁いてから行ってください。
- (9) 多部紙を使用する場合は、ダミー用紙として常に5部位ホッパへセットしておき、その上に印字する用紙をセットしてください。
- (10) ホッパに用紙を補給するときは、残りの用紙を一度取り出し、補給する用紙を下側にして再セットしてください。
- (11) ホッパの用紙残量が少ないと、用紙の送りが不安定にあることがあります。
最終部の用紙は使用しない様にし、用紙残量が 10 枚程度になったら補充してください。
- (12) 印字後用紙がカールしているときは、スタック部の印字済み用紙が 10 部程度になったら取り除いてください。
- (13) 用紙はローラで搬送しているためローラの跡がつくことがあります。

特殊用紙について

- (1) 紙厚の変化する用紙(段差等のある用紙)は印字ヘッド損傷の原因となりますので使用しないでください。
- (2) 裏カーボン紙の複写は、低温時において、薄くなることがあります。
- (3) ラベル紙を使用する場合、ラベル紙のはがれを防止するために、プラテンに巻き付けたまま放置しないでください。また、ラベル紙をプリンタにセットした状態で単票への印字(セット)は行わないでください。
- (4) この章に記述した仕様に合わない特殊用紙を使用するときは、用紙づまりなどのトラブルを予防するため、サンプルを作成して十分なためし印字を行い、使えることを確認してから使用してください。
- (5) 再生紙の種類によってはリボンカセットの寿命が短くなったり、用紙づまりが起きたりすることがあります。このときは、使用を中止して紙質の良いものに変更してください。
- (6) 和紙(OA和紙)は、用紙の吸湿による剛性低下、紙粉による媒体検出への影響、改行精度の低下などの問題がありますので、十分ご確認のうえご使用ください。

用紙の保管および取扱について

用紙を保管したり、取り扱ったりするときは、変形、破損が生じないように注意してください。

- ・用紙は、つぎの場所に保管しないでください。

高温、多湿の場所

直射日光の当たる場所

火気のある場所

- ・用紙をプリンター内部にセットしたまま、長時間放置しないでください。

再生紙の利用について

推奨再生紙

製紙メーカー(原反メーカー)	銘柄	古紙配合率(%)
大昭和製紙(株)	リサイクルフォーム用紙	50
本州製紙(株)	やまゆり	70

再生紙の仕様

項目	仕様
用紙寸法 (用紙サイズ)	連続紙:用紙幅 254mm(10 インチ)×用紙長さ 279mm(11 インチ) 単 票:A4サイズ(210mm×297mm) A3サイズ(297mm×420mm) B4サイズ(257mm×364mm)
連 量	55kg 相当紙
用紙の重ね合わせ枚数 (用紙部数)	1部紙(オリジナルのみ)とする。
ミシン目 (中間ミシン目)	中間ミシン目(横ミシン目、縦ミシン目)は 使用しないこと。

再生紙の特徴

再生紙は、製紙会社によりかなり品質のバラツキがあります。下表に示すように、再生紙の特性上、不具合を発生させやすいため、ご使用にあたっては本書記載の上質紙での規定に加え、運用テストを充分に行って、業務に支障のない運用形態で使用してください。

特徴(上質紙との差)	不具合内容
<ul style="list-style-type: none"> ・白色度が低い ・紙粉が多い ・温度の影響を受けやすい ・引っ張り強度、剛度が弱い ・紙厚が厚くなる ・表面強度が低い 	<ul style="list-style-type: none"> ・用紙強度、剛度が弱いため、単票紙でのカールや先端折れなどからなる改行精度への影響や用紙詰まりの発生。 ・吸湿しやすいため用紙カール量、しわ、折れが増大し、また、にじみや汚れ重送、給紙ミスや用紙詰まりの発生。 ・紙粉、抜きカスなどによる印刷品質への影響、給紙ミスや各種センサ系の誤検出。 ・用紙強度、剛度が弱いため、スタック性、折りたたみ性が劣る。

また、再生紙の取扱いにおいては、以下の点もご注意ください。

再生紙の利用環境

常温、常湿の環境でご使用ください。

再生紙の取り扱い

- ・現状では、長期保存性に劣るため、保存文書等へのご使用は避けてください。
- ・変色しやすいため、できるだけ直射日光は避けてください。
- ・紙厚が若干厚いため、自動給紙機構への用紙セット枚数は少なくなります。
- ・紙粉が多いため各機種の取扱い説明書に記載されている清掃、点検を確実に実施してください。
- ・用紙を装置に装填したままで、長期間放置しないで下さい。印刷しない場合は用紙を取り外し、ポリエチレンシートに包んで箱に入れて保管してください。

再生紙の購入・保管

- ・再生紙は、原料として使用されている古紙によって品質が大きく変化します。
このため、再生紙を大量に購入される場合は、事前に実機によるテスト(運用に支障がないことの確認)を実施されることをお勧めします。
- ・再生紙は空調された室内に保管し、包装を開封した用紙は速やかに使用してください。また、残った用紙はポリエチレンシートに包んで箱に入れて保管してください。
なお、空調がない場合は、使用環境で24時間以上馴染ませてからご使用ください。
- ・用紙は、つぎの場所に保管しないでください。
 - 高温、多湿の場所
 - 直射日光の当たる場所
 - 火気のある場所

紙質

再生紙を使用する場合、用紙の吸湿による剛性低下、紙粉による媒体検出への影響、改行精度の低下などの問題点がありますので、十分確認の上使用してください。

使用できない用紙

次のような用紙は使用しないでください。次のような用紙を使用すると、用紙送りが不安定になり、紙づまり、折れ、および印字ずれの原因となります。最悪の場合には、印字ヘッドのピンが折れる可能性もあります。

- ・折り目、しわのあるもの、湾曲したものは、使用しないでください。
 - ・極端に薄い紙または厚い紙(用紙規格を満たさないもの)
 - ・小さすぎる紙または大きすぎる紙(用紙規格を満たさないもの)
 - ・切り抜き部分や窓のある紙
 - ・ピン、クリップ、ホチキスの針など金属の付いている紙
 - ・のり付け面が露出している紙、波打っている紙、はがれている紙
 - ・浮き彫りのある紙
 - ・連続帳票用紙の横ミシン目以外で折りたたんだ紙
 - ・複写紙において、オリジナルと複写紙で極端に大きさの異なる紙、または部分的に極端に用紙厚が異なる紙
 - ・端または角が破れていたり、折れている紙
 - ・表面が光沢処理されている紙
- 表面がコーティングされ、絵柄などが印刷されている用紙を使用すると、用紙にインクが充分浸透しないため、印刷面が汚れるなどの給紙不良が起こる場合があります。
- ・一度印字した用紙は、使用しないでください。斜行、紙詰まりなどの原因になります。

制限事項

- 紙質は、上質紙をご使用ください。
とじ穴つき用紙、コーナーカット帳票用紙、ミシン目付き単票用紙、色紙などは、保証外のため使用しないでください。使用して問題が発生した場合、性能は保証できません。
やむをえず使用する場合は、本章の「保証外の印字」をご参照ください。
- 単票使用時、プラテンを通った用紙が再びプラテンに巻き込まれないよう、用紙の走行状態にご注意ください。
- 用紙のない部分やプラテンに直接印字しないでください。印字ヘッドピンを傷つけることがあります。
- 用紙をプラテンに巻き付けた状態で、長時間放置しないでください。印字された用紙が再びプリンターに巻き込まれることがあります。

保証外の印字

次の印字は、原則的に禁止です。やむをえず使用する場合は、次のようにしてください。また、事前に十分テストをして、問題のないことを確認してから、印字を行ってください。

ただし、印字性能は保証できませんのであらかじめご了承ください。

目的	操作法
用紙の途中から印字するには	「オンライン」+「改行／高複写」スイッチで微小改行、「オンライン」+「改頁／高速」スイッチで微小逆改行を行います。また、メニュー設定で、印字開始位置を調整します。
とじ穴のある用紙に印字するには	次の点をチェックし、十分テストをしてからお使いください。とじ穴が用紙検出スイッチなどにかかり、用紙終了やエラーを検出することがあります。 <ul style="list-style-type: none"> ・とじ穴の周囲 6.35 mm以内には印字しないようにする ・とじ穴のパンチくずはとり除く
コーナークットのある連続用紙に印字するには	次の点をチェックし、十分テストをしてからお使いください。コーナークットが用紙検出スイッチなどにかかり、用紙終了やエラーを検出することがあります。 <ul style="list-style-type: none"> ・コーナークット端から 6.35 mm以内の周辺部には印字しない ・コーナークット部のパンチくずは取り除く ・用紙のはがれを防止するために、コーナークット部の周囲には、縦／横ミシン目を入れない
ミシン目のある単票に印字するには	次の点をチェックし、十分テストをしてからお使いください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ミシン目の仕様は、「第5章 使用できる用紙について」を参照 ・横ミシン目の上下 5.08 mmに印字しない ・縦ミシン目の左右 5.08 mmに印字しない
一度印字した用紙に印字するには	次の点をチェックし、十分テストをしてからお使いください。 <ul style="list-style-type: none"> ・用紙の連量は 55 kgとする ・連続帳票のサイズは、幅 381 mm、長さ 279.4 mmを基本とする ・単票のサイズは、A4、A3、B4とする ・用紙がカールしていないこと

帳票設計時のご注意

帳票設計時には、用紙の送り公差および印刷・裁断・温湿度・紙質による伸縮等を考慮する必要があります。

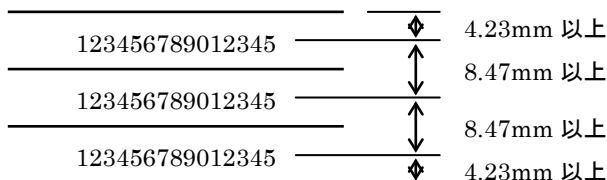
罫線の印刷、プレプリント印刷等を行う際は、以下の項目を必ず守ってください。

以下の項目を守らないと用紙セット公差(用紙セット時のバラツキ)や紙送り公差(プリンターのバラツキ)により、罫線に印字が重なったり、はみでたりする場合があります。

罫線の入れ方

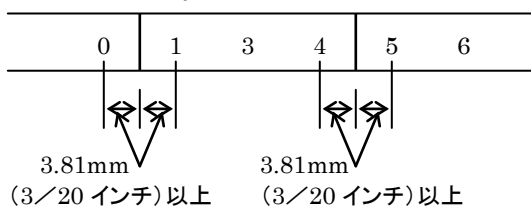
(1) 横罫線の入れ方

横罫線を入れるときには、印字文字の行間隔を 8.47 mm (1/3 インチ) 以上とし、文字は横罫線の中心としてください。



(2) 縦罫線の入れ方

縦罫線を入れるときには、前後の文字中心より 3.81 mm (3/20 インチ) 以上のスペースをとってください。



(3) 罫線の色

罫線は誤読を防止するため黒以外の淡い色としてください。

(4) 重ね合わせの場合

最上層と最下層では、5部紙で約 1.5mm 程度の上下ズレを生じることがあります。これを考慮して下層の用紙は横罫線の印刷を避けるか、1行おきの印字形式にするなど余裕をもったフォーマットとしてください。

用紙吸入位置の公差および、用紙送り公差(斜行)について

用紙吸入位置の公差、用紙送り公差(斜行)は使用する用紙の種類、綴じ方などの加工方法、プリンターの用紙ルート、給紙方法などにより異なります。

用紙送り精度を重視する印字を行う場合は、余裕をもった帳票設計をしてください。印字品質については、「付録 印字品質」を参照ください。

第 6 章

保守と点検

この章では、リボンカセットの交換、用紙づまりやプリンターがうまく動かないときの処置、テスト印字のしかた、清掃のしかた、輸送のしかた、およびアフターサービスについて説明します。

リボンカセットの交換.....	6-2
リボンカセットの種類.....	6-2
リボンカセットの交換方法.....	6-3
サブリボンの交換方法.....	6-6
用紙づまりのとき.....	6-9
単票用紙がつまったとき.....	6-9
連続用紙がつまったとき.....	6-12
プリンターがうまく動かないとき.....	6-15
エラーメッセージが表示されている.....	6-15
こんなときには.....	6-17
保守機能.....	6-20
メニュー設定一覧印刷.....	6-20
テスト印字.....	6-21
水平印字補正.....	6-22
HEXダンプ(16進ダンプ)印字をする.....	6-24
清掃のしかた.....	6-25
プリンターを輸送するとき.....	6-26
アフターサービス.....	6-27

リボンカセットの交換

リボンカセットの種類

このプリンターで使用するリボンカセットは、下表のとおりです。

商品名	寿命
PD4081リボンカセット(黒)	約120万字(漢字) 約600万字(ドラフトANK)
PD4081サブリボン(黒)	約120万字(漢字) 約600万字(ドラフトANK)

警告



一般的禁止

インクリボンをお子さまが口に入れたりなめたりしないでください。
健康を損なう原因となることがあります。



お願い

- ・リボンカセットは、指定の純正品を使用してください。
指定以外のリボンカセットを利用すると、リボンがからまったり、印字ヘッドが痛んだりしてプリンターの故障を引き起こすことがあります。
- ・リボンがたるんだ状態で使用しないでください。リボンがたるんだまま印字を開始すると、リボンがからまったり、リボンの巻き取りがロックすることがあります。
- ・使用済みのリボンカセットは、不燃物として処理してください。

リボンカセットの交換方法

リボンカセットの交換は、次の手順で行います。

1 印字ヘッドをリボン交換位置に移動させる

トップカバーを開けて、電源を投入すると、印字ヘッドがリボン交換位置に移動します。

2 電源を切る

電源スイッチが「○側」に倒れた状態にします。

▲注意



一般的禁止

リボンカセットの交換は、必ず電源を切った状態で交換してください。
印字ヘッド部が動き出し、怪我のおそれがあります。

3 トップカバーを開ける



▲注意

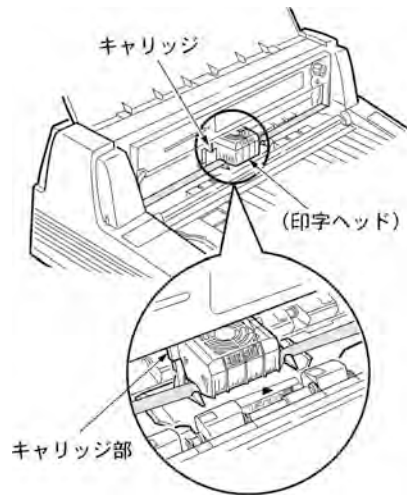


高温注意

印字した直後は、印字ヘッドおよびプリンタ内部が高温になります。
温度が下がったことを確かめてから、リボンを交換してください。
やけどの原因となることがあります。

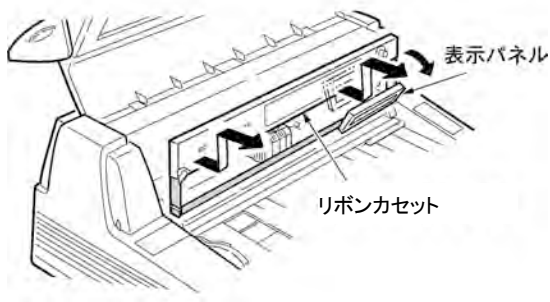
4 キャリッジが「リボンセット位置」にあることを確認する

「リボンセット位置」にない場合は、キャリッジを「リボンセット位置」へ移動させます。



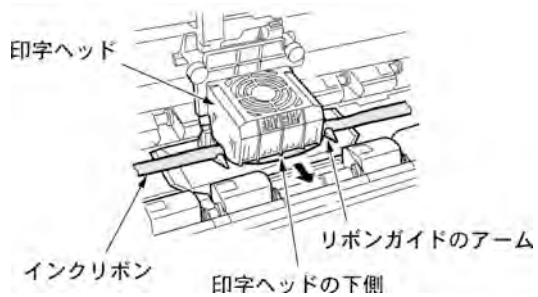
5 操作パネルを手前に倒す

表示パネルを手前に倒し、リボンカセットの両側を手前に引いてロックを外し、そのまま全体を矢印のように外します。



6 リボンガイドから外す。

リボンガイドからインクリボンを外します。



7 新しいリボンカセットを取り付ける

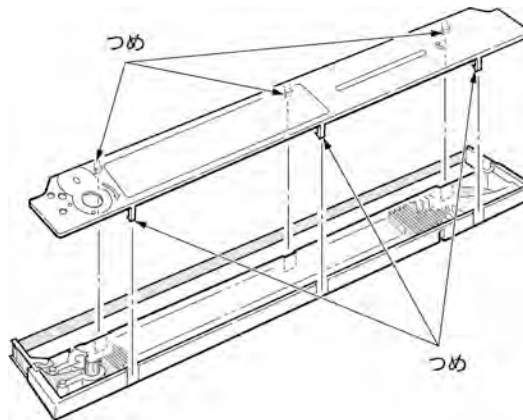
新しいリボンカセットの取り付けは、「第1章 リボンカセットの取り付け」を参照してください。

サブリボンの交換方法

印字が薄くなったときには、次の手順でリボンカセットないのサブカリボンを交換してください。

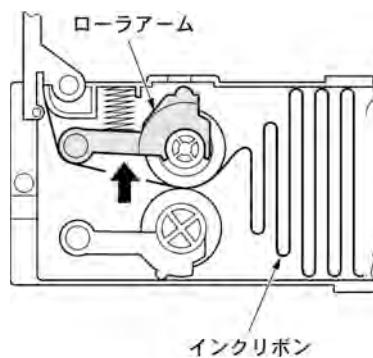
1 リボンカセットのフタを外す

リボンカセットのフタについているツメ(6か所)を外し、リボンカセットのフタを外します。



2 インクリボンを取り出す

ローラーアームを図の矢印方向に押しながら、使用済みのインクリボンを取り出し、リボンカセットの中および周囲、ローラー周辺のリボンくず、繊維くずを取り除きます。

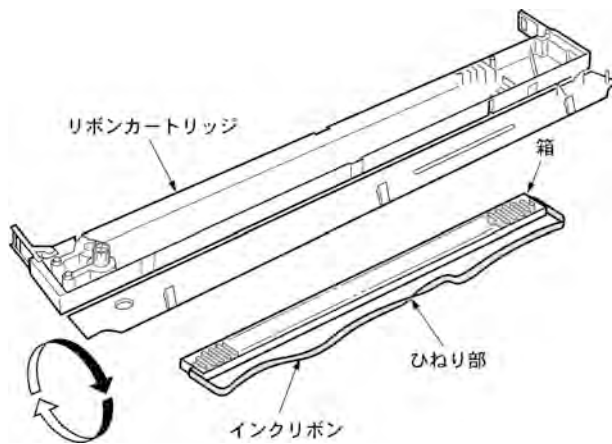


3 サブリボンを準備する

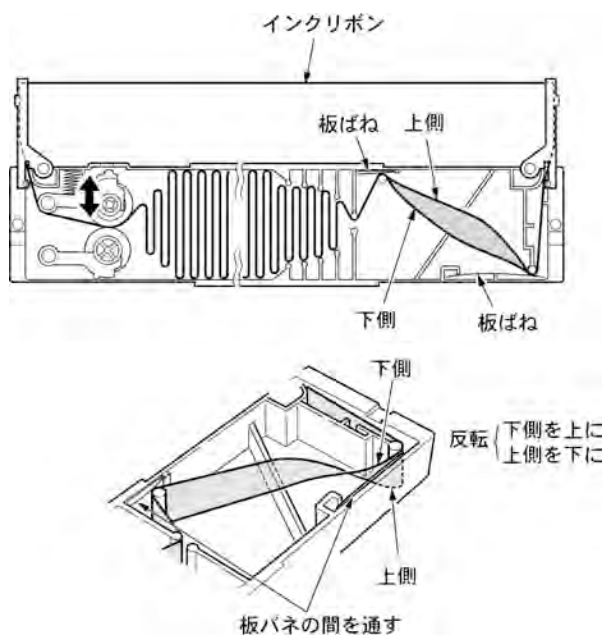
新しいインクリボンの包装紙を取り除く、インクリボンを箱から20～30cm程度引き出します。

4 新しいインクリボンをリボンカセットにセットする

リボンカセットをインクリボンの箱にかぶせて、リボンカセットと箱をいっしょに裏返します。



5 インクリボンを図の経路にセットする



6 リボンカセットからインクリボンの箱を取り除く

リボンカセットからインクリボンが飛び出さないように静かに箱を取り除きます。

7 ローラーアームを開き、ローラーの間にインクリボンを通す

8 リボンカセットのフタを閉じる

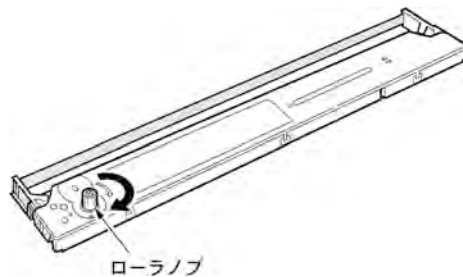
リボンカセット内で、インクリボンが織れたり、ねじれたりしていないか、また、ローラーアームがフレームから浮き上がっていないかを確認してからフタを閉じます。

9 インクリボンのたるみをとる

ローラーノブを時計回り(矢印方向)に回してインクリボンのたるみをとります。

.. ガイド ..

- ・ ローラーノブを回したときに、インクリボンが動かなかったり、以上に鈍いときは、再度フタをあけてインクリボンの経路を確認してください。
- ・ ローラーノブを逆方向の回さないでください。リボンジャムの原因になります。
- ・ インクリボンの交換は、1つのリボンカセットに対して3回までです。インクリボンを3回交換したらリボンカセットを交換してください。



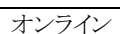
用紙づまりのとき

用紙づまりを起こしたときは、用紙を無理に引っ張らず、静かに取り除きます。
用紙づまりの状態に合わせて、次の手順で用紙を取り除きます。

単票用紙がつまったとき

次の1～3の基本操作を行い、用紙づまりの状態にあわせて、それぞれの操作を行ってください。

1 オフライン状態にする

スイッチを押して、プリンターをオフライン状態にします。

2 プリンターの電源を切る

電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。



一般的禁止

用紙の除去は、必ず電源を切った状態で行ってください。
印字ヘッド部が動き出し、怪我のおそれがあります。

3 トップカバーを開く

トップカバーを開き、装置内部の用紙づまりの状況を確認します。



高温注意

印字した直後は、印字ヘッドおよびプリンター内部が高温になります。
温度が下がったことを確かめてから、印字ヘッドを動かしてください。
やけどの原因となることがあります。

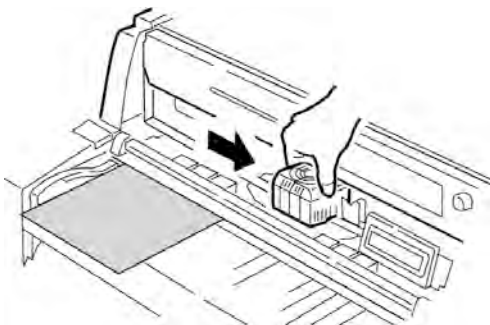


お願い

一度用紙づまりを起こした用紙の再使用はしないでください。

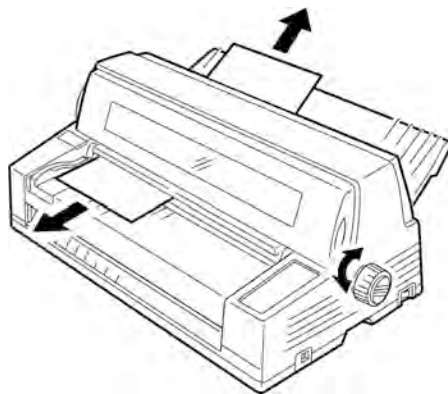
・ 単票用紙がプリンター内部でつまったとき

4 印字ヘッドを用紙のないところへ移動させる



5 用紙を引き出す

プラテンノブを回し、単票を手前または後ろに引き出します。



用紙が印字部につまんでうまく取り除けない場合や、小さな紙片が残ってしまった場合は、用紙を取り除きやすいように印字ヘッドを適当な位置に手で動かし、残った用紙を手で取り除きます。また、印字ヘッド先端付近の用紙が取り除きにくい場合は、リボンカセットを取り外してから用紙を取り除きます。
(取り除きにくい場合は、ピンセットなどをご使用ください。)

6 操作パネルを手前に倒した場合は元に戻し、トップカバーを閉じる

・ 単票用紙がリアスタッカでつまったとき

7 シートスタッカ・スタッカサポートを取り外す

「第1章 シートスタッカ・スタッカサポートの取り付け」を参照し、シートスタッカとスタッカサポートを取り外します。

8 用紙を取り除く

用紙つまりの状態にあわせて、つまった用紙を取り除きます。

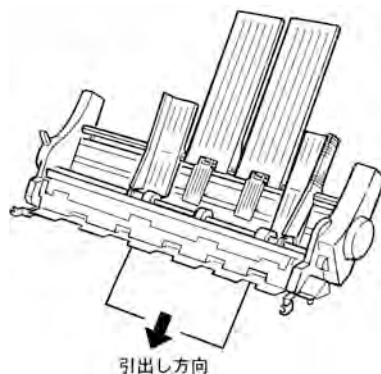
・ 単票用紙がオートシートフィーダーでつまったとき

9 オートシートフィーダーを取り外す

「第1章 オプションの取り付け」を参照し、オートシートフィーダーを取り外します。

10 つまった用紙を取り除く

取り外したオートシートフィーダーから、つまった用紙を紙の送られる方向にゆっくり引き出します。



連続用紙がつまったとき

次の1～2の基本操作を行い、用紙づまりの状態にあわせて、それぞれの操作を行ってください。

1 オフライン状態にする

オンラインスイッチを押して、プリンターをオフライン状態にします。

2 プリンターの電源を切る

電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

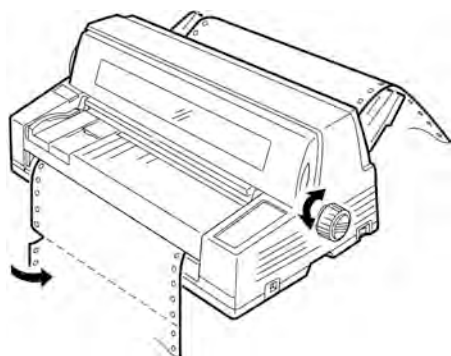
▲注意



用紙の除去は、必ず電源を切った状態で行ってください。
印字ヘッド部が動き出し、怪我のおそれがあります。

前トラクタからの給紙でつまったとき

3 印字前の連続用紙を切り離す



4 トラクターユニットから連続用紙を外す



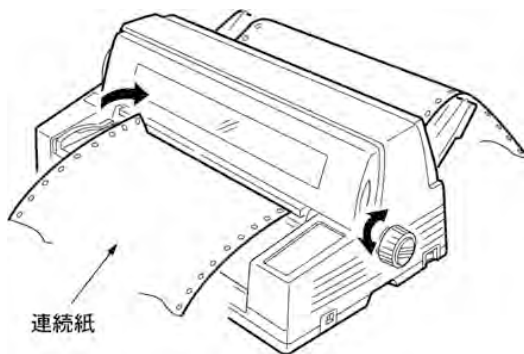
5 つまった用紙を取り除く

プラテンノブを回しながら、連続用紙を手前または後ろ側に引き出します。

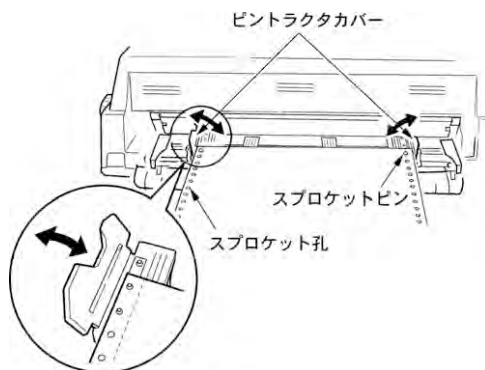
用紙が印字部につまんでうまく取り除けない場合や、小さな紙片が残ってしまった場合は、用紙を取り除きやすいように印字ヘッドを適当な位置に手で動かし、残った用紙を手で取り除きます。また、印字ヘッド先端付近の用紙が取り除きにくい場合は、リボンカセットを取り外してから用紙を取り除きます。
(取り除きにくい場合は、ピンセットなどをご使用ください。)

後トラクタからの給紙でつまったとき

6 印字前の連続用紙を切り離す



7 トラクターユニットから連続用紙を外す



8 つまった用紙を取り除く

プラテンノブを回しながら、連続用紙を手前または後ろ側に引き出します。

用紙が印字部につまんでうまく取り除けない場合や、小さな紙片が残ってしまった場合は、用紙を取り除きやすいように印字ヘッドを適当な位置に手で動かし、残った用紙を手で取り除きます。また、印字ヘッド先端付近の用紙が取り除きにくい場合は、リボンカセットを取り外してから用紙を取り除きます。
(取り除きにくい場合は、ピンセットなどをご使用ください。)

プリンターがうまく動かないとき

プリンターが動かなくなったり、きれいに印字できなくなったりした場合の処置方法を説明します。処置を行っても機能が回復しない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

エラーメッセージが表示されている

プリンタに異常が発生すると操作パネルのランプが点灯、点滅し表示パネルにエラーメッセージが表示されます。ランプの状態、表示パネルのメッセージ、プリンタの状態、および対処方法を次の表に示します。

ランプ	メッセージ	原因	対処方法
[メッセージ] 点灯	ヨウシ ナシ マエレンチョウ ヨウシヲ セットシテタダサイ	前トラクタに用紙がない	前トラクタに用紙をセットしてください
	ヨウシ ナシ ウシロレンチョウ ヨウシヲ セットシテタダサイ	後トラクタに用紙がない	後トラクタに用紙をセットしてください
	ヨウシ ナシ テサン ヨウシヲ セットシテタダサイ	単票手差しテーブルに用紙がない	手差しテーブルに用紙をセットしてください
	ヨウシ ナシ マエ ASF ヨウシヲ セットシテタダサイ	前 ASF に用紙がない	前 ASF に用紙をセットしてください
	ヨウシ ナシ ウシロ ASF ヨウシヲ セットシテタダサイ	後 ASF に用紙がない	後 ASF に用紙をセットしてください
[メッセージ] 点滅	ペーパージャム ヨウシヲ スキットテタダサイ	用紙がつかまっている	用紙づまりを取り除いてください
[オンライン] 点滅	カバーオープン カバーヲ トシテタダサイ	カバーがあいている	カバーを閉じてください
[メッセージ] 点灯	タンピョウ スキトリマチ ヨウシヲ スキットテタダサイ	排出した単票用紙が単票テーブルに残っている	単票テーブルから用紙を取り除いてください
	タンピョウ セットマチ ヨウシヲ セットシテタダサイ	単票用紙のセット要求	単票用紙をセットしてください
[オンライン] 点滅	インジターガーリマス オンラインニ シテタダサイ	未印字データを保持したままオフライン状態になった	オンラインスイッチを押してください
ランプ点灯 なし	ヘッドサーマル カタホウコウインジチュウデス	印字ヘッドの温度が上昇している	ヘッドが定常温度になるまで片方向印字をおこないます
	インジ DUTY アラーム ブンカツインジチュウデス	印字DUTYが高い	

ランプ	メッセージ	原因	対処方法
[メッセージ] 点灯	マエレンチョウ タイヒマチ ヨウシヲ タイヒシテクダサイ	単票指定コマンドにより、 連続用紙を 22 インチ退避 しても、退避しきれ なかった	連続用紙を退避して ください
	ウシロレンチョウ タイヒマチ ヨウシヲ タイヒシテクダサイ		
	タンビョウ テソウニューマチ ヨウシヲ セットシテクダサイ	単票用紙の挿入要求	単票用紙をセットして ください。
[メッセージ] 点灯 [オンライン] 消灯	テソウニューマチ タイムアウト オンラインヲ オシテクダサイ	単票挿入待ち状態で、 メニュー設定で設定した 時間が経過した または、単票挿入待ち 状態でオンラインスイッチを 押した	オンラインスイッチを押すと、 挿入待ちの状態になり ますので、用紙をセットし てください
	タイヒマチ タイムアウト オンラインヲ オシテクダサイ	連続用紙退避待ち状態 で、メニュー設定で設定 した時間が経過した または、単票挿入待ち 状態でオンラインスイッチを 押した	オンラインスイッチを押すと、 退避待ちの状態になり ますので、用紙を退避 してください
	ハイタイキリカエ アラーム マエレンチョウ タイヒマチ	電源投入および初期化 時に、連続用紙を 22 イン チ退避しても、退避しきれ なかった	連続用紙を退避してくだ さい
	ハイタイキリカエ アラーム ウシロレンチョウ タイヒマチ		
	マニユアルキヤップアラーム サイセツテイ シテクダサイ	手動で設定した用紙厚 の範囲外の用紙がセット された	用紙厚設定を使用する 紙にあわせて変更して ください。
[メッセージ] 点灯	マエレンチョウ カットマチ ヨウシヲ カットシテクダサイ	連続用紙のカット待ち状態	連続用紙をカットして ください
	ウシロレンチョウ カットマチ ヨウシヲ カットシテクダサイ		
	ヨウシ キュウニューアラーム ヨウシヲサイセツシテクダサイ	用紙の斜行を検出した ため、用紙の再セットを 要求している	用紙を再セットして ください 再度発生する場合は、 「XXX ショコウケンシュツ」 を「ヨコジデンビョウ」に 設定してください。 (XXX)は用紙モード
	セットイチ イジョウ セットイチ カクニン	イーゼーセット機能有効時、 吸入できない位置・角度 で用紙がセットされた	イーゼーセット対応範囲に 用紙を再セットして ください
	ヒタリヨハク イチイジョウ ヨハクセツテイ カクニン	左余白を変更しないと 印字できない用紙をセット した(印字データと用紙サイ ズに、余白設定があつて いない)	メニュー設定で「イーゼー セット サタンヨハク」を 変更してください
[メッセージ] 点滅 [オンライン] 点滅	リボン セットイチ カクニン パワー OFF シテクダサイ	リボンカセットが正しくセットさ れていない	電源オフし、リボンカセットの アームが開いていることを 確認し、再セットしてくださ い。
[障害] 点灯	エラー XXXX サービスマンコール	プリンターの故障	4桁のエラーコードをひかえ て、プリンターの電源を 切った後、保守員に 連絡してください。

こんなときには

プリンターが動かなくなったり、きれいに印字できなくなったりした場合は、次の表でプリンターの症状に当てはまる項目を探し、それぞれの処置方法に従ってください。処置を行っても機能が回復しない場合は、保守会社または、HCAセンタにご相談ください。

電源ランプが点灯せず、プリンターが動作しない
プリンターの電源を切り、電源コードの接続を確かめてください。 (「第1章 電源コードの接続」参照)
メッセージランプが点滅し、プリンターが動作しない
用紙やリボンが印字ヘッドに引っかかっているとき →電源を切って、印字ヘッドに引っかかっているものを取り除いてください。
用紙やリボンが印字ヘッドに引っかかっていないとき →電源を切って、もう一度電源を入れてください。
印字ヘッドを固定している輸送用固定材が取り外されていないとき →電源を切って、輸送用固定材を取り外してください。 (「第1章 輸送用固定材の取外し」参照)
「用紙セット／排出」スイッチを押しても給紙できない。 →イージーセット機能有効時に用紙セット範囲を越える用紙をセットしている。 用紙セット範囲内に正しく再セットしてください。
印字ができない
「オンライン」ランプが消えているとき →「オンライン」ランプが消えているときは、印字できません。 オンラインスイッチを押して、「オンライン」ランプを点灯させてください。
「オンライン」ランプが点灯しているとき →プリンターの電源を切り、プリンターとパソコンをつなぐプリンターケーブルの接続を確かめてください。 (「第1章 パソコンとの接続」参照)
印字音はするのに印字しないとき →リボンカセットが取り付けられていません リボンカセットを取り付けてください。 (「第1章 リボンカセットの取付け」参照) リボンカセットが取り付けられているのに印字しないときは、印字ヘッドとリボンガイドの間にリボンが入っているかどうかを確かめてください。

印字が欠ける、薄い	
印字が横一列に欠けるとき	<p>→印字ヘッドのピンが折れています。 印字ヘッドを交換する必要があります。お買い求めの販売店にご連絡ください。</p>
印字の下の部分が欠けるとき	<p>→リボンカセットが正しく取り付けられていません。 印字を中止して、リボンカセットを正しく取り付けてください。 (「第1章 リボンカセットの取付け」参照)</p>
印字がムラになって欠けるとき	<p>→リボンがたるんだり、ねじれたりしています。 印字を中止して、リボンカセットを正しく取り付けてください。 (「第1章 リボンカセットの取付け」参照)</p>
印字が薄いとき	<p>→紙厚設定が正しく設定されていません。 使用している用紙に合わせて正しくセットしてください。 (「第4章 用紙厚を調整する」参照)</p> <p>→リボンが古くなっています。 新しいリボンカセットと交換してください。 (「第6章 リボンカセットの交換」参照)</p>
用紙の右端約 5mm の範囲に印字しない(文字が欠ける)	<p>→メニュー設定項目の“用紙外印字防止”の設定が“有効”になっている。 “用紙外印字防止”の設定を“無効”に変更してください。 (「第3章 メニュー設定」参照)</p>
思いどおりに印字ができない	
印字開始位置が上、または下すぎるとき	<p>→印字開始位置を調整してください。 (「第4章 印刷開始位置について」参照)</p> <p>→ソフトウェアで上端余白の設定が必要な場合があります。 お使いのアプリケーションソフトの説明書で確認してみてください。</p>
連帳用紙の印字位置がページによってズレるとき	<p>→仕様外の薄い用紙や厚い用紙を使用すると、連帳用紙の場合ページによって印字位置がズレる場合があります。 「第5章 使用できる用紙について」を参照し、仕様に合った用紙を使用してください。</p>
印字がズれる、乱れるとき	<p>縦罫線などを正逆両方向で印字した場合に、印字が乱れる場合があります。 特にオフィスモードを有効にした場合、ズレが目立つ場合があります。 →行間ズレを微調整してください。 (「第6章 水平印字補正」参照)</p> <p>→「第3章 メニュー設定項目」-「コマンドキノウセッテイ」の「インジホウコウ2」を「カタホウコウ」に設定してください。</p>

うまく用紙送りができない
<p>用紙が詰まったとき</p> <p>→用紙を破らないように、静かに取り除いてください。 (「第6章 用紙づまりのとき」参照)</p>
<p>通常の給紙の場合にうまく用紙送りできないとき</p> <p>→用紙がきちんとセットされているかどうかを確かめてください。 (「第4章 用紙をセットする」参照)</p> <p>→用紙の仕様が合っていません。仕様に合った用紙を使用してください。 (「第5章 使用できる用紙について」参照)</p> <p>→折れたり、曲がったりしている用紙は使用しないでください。</p>
<p>手差しでセットした用紙が、印字をせずに排出されるとき</p> <p>→本プリンターは単票テーブルから手差しでセットした用紙が、イージーセットの対応範囲より斜行して吸入された場合、印字をせずに自動的に用紙を排出します。単票テーブルの用紙ガイドを印字開始位置に合わせ、イージーセットの対応範囲に用紙を挿入してください。 (「第4章 用紙のセット」参照)</p> <p>なお、本機能はプリンターの機能設定により、無効に設定することが可能です。</p>
<p>オートシートフィーダー(オプション)給紙の場合にうまく用紙送りができないとき</p> <p>→オートシートフィーダーに用紙が正しくセットされていません。 セット枚数が多過ぎないかどうかを確かめてください。</p> <p>→オートシートフィーダーがプリンターにきちんとセットされていません。 正しくセットし直してください。 (「第1章 オートシートフィーダーの取付け」参照)</p> <p>→用紙の抜き取り待ち状態(「手前」ランプ点滅状態)になっています。 単票テーブルに排出された用紙を取り除いてください。 (「第4章 単票用紙をセットする」参照)</p> <p>→用紙の仕様が合っていません。 仕様に合った用紙を使用してください。 (「第5章 使用できる用紙について」参照)</p> <p>→プラテンが汚れています。 プラテンを清掃してください。 (「第6章 清掃のしかた」参照)</p>
「障害」ランプが点灯する
<p>プリンターが故障しています。</p> <p>→電源を切り、再度入れ直しても、ランプが消灯しない場合は、表示パネルの4桁のエラーコードをひかえて、電源を切った後保守員に連絡してください。</p> <p>→「エラーコード 0102」が表示される</p> <ul style="list-style-type: none"> ・納入直後に「エラーコード 0102」が表示される 印字ヘッドの固定材を外しているかを確認してください。 (「第1章 輸送用固定材の取外し」参照) ・リボンカセットをセットした直後に「エラーコード 0102」が表示される リボンカセットのアームの状態を確認してください。 アームを閉じたままで、リボンカセットをセットすると「エラーコード 0102」が表示される場合があります。 (「第1章 リボンカセットの取付け」参照)

保守機能

メニュー設定一覧印刷

オフィスモードからその他設定まで、プリンターのメニュー設定項目と設定値の一覧を印刷します。

1 オフライン状態にする

オンライン スイッチを押して、プリンターをオフライン状態にします。

2 **用紙選択** スイッチを押しながら、**用紙カット** スイッチを押す

表示パネルに「メニューイチランインサツ」と表示されたことを確認してください。

3 用紙をセットし、印字を行う

用紙をセットして **オンライン** スイッチを押すとメニュー設定の一覧を印字します。
印字幅は、単票モードで6インチ、連帳モードで13インチです。

4 通常の印字モードにもどる

印字が終了したら、表示パネルに「モードシュウリョウ」と表示されるまで
項番2の操作を繰り返します。

表示パネルに「モードシュウリョウ」と表示されたことを確認して、**オンライン** スイッチ
押すと、通常の印字モードにもどります。

テスト印字

テスト印字は、次の手順で行います。

1 オフライン状態にする

オンライン スイッチを押して、プリンターをオフライン状態にします。

2 **用紙紙選択** スイッチを押しながら、**用紙カット** スイッチを押す

表示パネルに「メニューイチランインサツ」と表示されたことを確認してください。
表示パネルに「テストインジ」と表示されるまで、スイッチ操作を繰り返します。

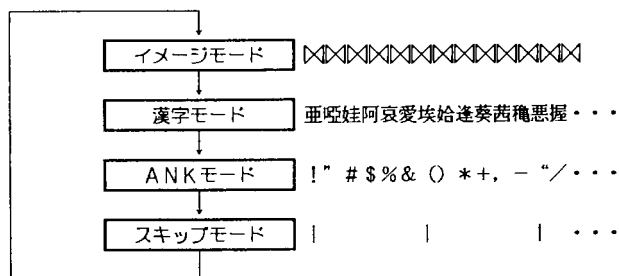
3 用紙をセットし、印字を行う

用紙をセットして **オンライン** スイッチを押すとテストパターンを印字します。
印字幅は、単票モードで6インチ、連帳モードで13インチです。

テストモードを切り替えるとき

印字中に印字ヘッドが左端または右端に移動したときに **用紙カット** スイッチを押すと、次のようにテストモードが切り替わります。

また、**改頁/高速** スイッチを行端時に押すと、標準、高速印字の切り替えを、
改行/高複写 スイッチを押すと、標準、高複写印字の切り替えを行います。



4 テスト印字を終了する

オンライン スイッチを押すと印字を終了します。

水平印字補正

縦罫線などを正逆両方向で印字したときに生じる行間の横方向の印字位置の不揃いを直します。オフィスモード、標準印字モード、高速印字モード、ドラフト印字モードの行間ズレを直すことができます。ドラフト印字モードとは 60dpi の解像度の内蔵フォントを使用して標準の 3 倍の速度で印字するモードです。行間ズレは、次の手順で直します。行間ズレを直すときは、必ず用紙をセットしておいてください。

1 オフライン状態にする

オンライン スイッチを押して、プリンターをオフライン状態にします。

2 **用紙紙選択** スイッチを押しながら、**用紙カット** スイッチを押す

表示パネルに「メニューイチランインサツ」と表示されたことを確認してください。

表示パネルに「スイヘイインジホセイ」と表示されるまで、スイッチ操作を繰り返します。

3 用紙をセットし、印字を行う

用紙をセットして **オンライン** スイッチを押すと水平印字補正パターンを印字します。

印字幅は、単票モードで6インチ、連帳モードで13インチです。

4 行間ズレを補正する

パターンをひとつ印字すると、印字ヘッドが右端で停止します。この状態で以下の操作を行うと補正したパターンを印字します。印字結果の縦線がまっすぐになるように調整してください。設定は、基準値0～±5の範囲で変更できます。

改頁/高速 スイッチを押すと、+側(基準値に対して左)に補正されます。

改行/高複写 スイッチを押すと、-側(基準値に対して右)に補正されます。

また、印字速度は**オンライン**スイッチを押すと次に、**用紙選択**スイッチを押すとひとつ前に、「テイソク」-「ツウジョウ」-「コウソク1」-「コウソク2」の順で切り替わります。

スハイインジ 柵イ

インジ 柵イ テイソク

0
 ||||| 0 ||||| 0
 ||||| カイハ°-ジ° <- ||||| -> カイハ°-ジ° |||||

インジ 柵イ テイソク

-1
 ||||| -1 ||||| -1
 ||||| カイハ°-ジ° <- ||||| -> カイハ°-ジ° |||||

インジ 柵イ テイソク

0
 ||||| 0 ||||| 0
 ||||| カイハ°-ジ° <- ||||| -> カイハ°-ジ° |||||

インジ 柵イ テイソク

+1
 ||||| +1 ||||| +1
 ||||| カイハ°-ジ° <- ||||| -> カイハ°-ジ° |||||

5 補正値を保存し、補正モードを終了する

設定が終了したら、**オンライン**スイッチを押します。

設定値を保存し、初期化動作後、通常モードにもどります。

HEX ダンプ（16 進ダンプ）印字をする

HEXダンプ印字は、プログラムの診断に利用してください。パソコンからプリンターへ送られてきたデータを16進数のまま印字します。

HEXダンプ印字は次の手順で行います。

1 オフライン状態にする

オンライン スイッチを押して、プリンターをオフライン状態にします。

2 プリンターの電源を切る

電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

3 HEXダンプモードでプリンターを起動する

電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

改頁/高速 スイッチと **改行/高複写** スイッチを押しながら、プリンターの電源スイッチを「|」側に倒し、電源をONにします。

表示パネルに「HexDump モード」と表示されたことを確認してください。

4 16進数で印字したいデータを印字する

表示パネルに「HexDump モード」と表示された状態で、印字を行うと、印字データは16進数で印字されます。

5 HEX ダンプモードを終了する

プリンターの電源をOFFにし、再度電源を投入することで、通常の印字モードにもどります。

清掃のしかた

プリンターを良好な状態で使用できるように、定期的に清掃してください。

▲注意



高温注意

- ・プリンターの清掃を行う際は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
電源スイッチを切らずにプリンタの清掃を行うと、感電の原因となることがあります。
- ・印字した直後は、印字ヘッドが高温になります。温度が下がったことを確かめてから、清掃してください。
やけどの原因となることがあります。

▲警告



一般的禁止

- ・シンナーやベンジンなど、揮発性の薬品は使用しないでください。
プリンターの表面が変色したり、変形したりするおそれがあります。
- ・プリンター内部を濡らさないでください。
電気回路がショートするおそれがあります。
- ・プリンターに潤滑油を補給しないでください。
プリンターの故障の原因となる場合があります。
潤滑油の補給が必要な場合は、お買い求めの販売店までご連絡ください。

清掃は、次の手順で行います。

- 1 プリンターの電源を切り、電源プラグを抜く。
- 2 トップカバーを開ける。
- 3 プリンターを清掃する。

印字した用紙が汚れたり、カバー部分が汚れたりしているときは、中性洗剤を薄めた水に清潔な柔らかい布を浸し、よく絞ってカバー表面、プラテン、およびゴムローラーの表面を拭いてください。プリンター内の紙粉は除去してください。



接触禁止

- ・印字ヘッドなどの壊れやすい部品には触らないでください。
破損のおそれがあります。

- 4 トップカバーを閉じて電源を入れる。

プリンターを輸送するとき

プリンターを衝撃から守るため、以下の手順で梱包してから輸送してください。

- 1 プリンターの電源を一旦入れた後に切る。
(電源スイッチが(O)側に倒れていることを確認します。)
一旦電源を入れることで、印字ヘッドが移動し、以降の作業ができる状態になります。
- 2 用紙を取り去り、リアスタッカを取り外す。
- 3 プラグを電源プラグから抜いて、プリンターケーブルをプリンターから外す。
- 4 リボンカセットを取り外す。
(第6章「リボンカセットの交換方法」参照。)
- 5 リアスタッカを包装する。
- 6 印字ヘッドを手でゆっくりと右端まで移動する。
- 7 印字ヘッドを保護するために、輸送用固定材を取り付ける。
- 8 プリンターを衝撃から守るために梱包材などでくるみ、届いたときと同じ状態にして箱に入れる。

▲注意



・印字した直後は、印字ヘッドが高温になります。温度が下がったことを確かめてから、印字ヘッドを移動させてください。
やけどの原因となることがあります。

アフターサービス

- ・お買い求めの際に添付されている保証書は、大切に保管してください。
- ・保証書は、日本国内のみで有効です。
- ・無償保証期間は、お買い上げ日より1年です。詳細は、保証書をご覧ください。
- ・保守部品保有期間は、製造中止後5年です。
- ・分解、改造などを行わないでください。無償保証期間内でも無償修理が受けられないことがあります。
- ・プリンターのご使用に当たっては、当社指定のオプションまたは消耗品をお使いください。指定以外の用品をお使いになったことによる製品の誤動作および故障に関しましては、当社は一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・操作および機能について不明な点や修理については、お買い求めの販売店、保守会社または本書巻末に記載されている問い合わせ先にご相談ください。

付録

プリンターの概略仕様.....	A-2
印字品質.....	A-3
外観図.....	A-4
標準外観図.....	A-4
オートシートフィーダー取付け時の外観図.....	A-5
インタフェース仕様.....	A-6
パラレルインタフェース.....	A-6
USBインタフェース.....	A-9
ネットワーク接続.....	A-10
自動検出機能.....	A-11
専用コマンド.....	A-13
制限事項.....	A-20
消耗品の廃棄について.....	A-22
有償交換部品のご案内.....	A-23

プリンターの概略仕様

印字方式		24 ワイヤドットマトリックス			
印字速度 [字/秒] *1	文字種		通常印字	高速印字	高複写印字
	漢字	27ドット	80(72,64,56)	160(144,128,112)	80(72,64,56)
	高品位	10CPI	120(108,96,84)	240(216,192,168)	120(108,96,84)
		12CPI	144(129,115,100)	288(529,230,201)	144(129,115,100)
	ANK	15CPI	180(162,144,126)	360(324,288,252)	180(162,144,126)
	高速 度	10CPI	360(324,288,252)	360(324,288,252)	360(324,288,252)
		12CPI	432(388,345,302)	432(388,345,302)	432(388,345,302)
ANK	15CPI	540(486,432,378)	540(486,432,378)	540(486,432,378)	
ドット径		0.2 mm			
ドットピッチ		1/180 インチ(0.14mm) (縦・横共)			
印字桁数	漢字全角		90(字/行)		
	半角漢字		188 (字/行)		
	ANK (パイカ)		136 (字/行)		
	ANK (エリート)		163 (字/行)		
印字動作		両方向最短距離印字			
複写能力 (コピー能力)	標準モード		6枚		
	高複写モード		8枚		
イメージ印字	行ドット数		4896		
用紙送り	用紙送り方式		押し込みトラクター方式(連続帳票用紙) フリクション方式(単票用紙)		
	改行間隔		1/360 インチ(0.07mm) × n (n はプログラム設定による)		
	改行速度		約 50ms 以下(1/6 インチ(4.23mm)改行時)		

- *1 用紙の厚さによって、印字速度が異なります。
表中の A(B, C, D)は、A=レンジ 1~2、B=レンジ 3~4、C=レンジ 5~7、レンジ D=8
以上のときを示しています。

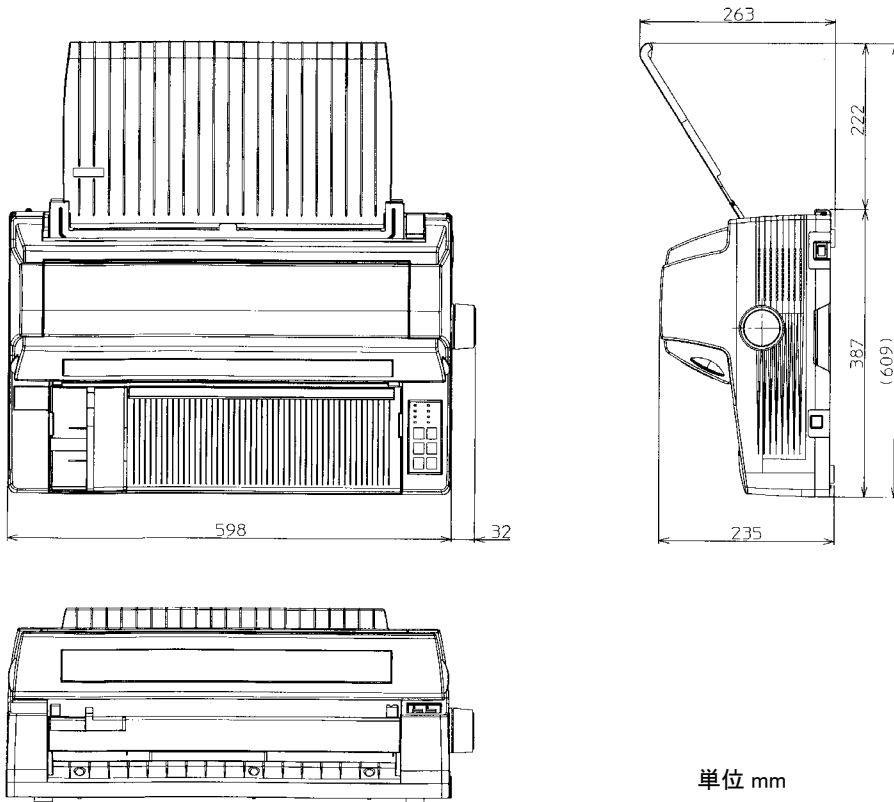
印字方式		24 ワイヤドットマトリックス
スタック容量(単票)		120 枚以下(A4 サイズ、1P 用紙、連量 55kg) ・用紙の種類、サイズ、カールの度合いや、 印字デューティ、使用環境などにより減少します。
使用環境	温度	稼動時 : 5~35°C 非稼動時: -15~60°C
	湿度	稼動時 : 30~80%RH 非稼動時: 5~95%RH (ただし、結露しないこと。 湿度勾配 30%RH/日以下)
インタフェース		セントロニクス社準拠パラレルインタフェース
電源仕様	入力電源種別	商用単相
	電源電圧	AC100V±10%
	電源周波数	50/60Hz ±1Hz
消費電力		平均 90W (最大 350W) 待機時 15W 以下
外形寸法	幅	598 mm
	奥行	380 mm
	高さ	235 mm
質量		約 20kg
稼動音 (4方向平均)		通常: 58dB(A) オフィスモード: 55dB(A)
装置寿命		5 年または 750 万改行のいずれか早い方
印字ヘッド寿命		3億打/ドット
リボン	種類	エンドレスリボンカセット
	寿命	600 万字(トラタ ANK)

印字品質

・ 印字ずれ(漢字、イメージ) (縦罫線のつなぎずれ)	片方向 0.1mm 以下 両方向 0.15mm 以下
・ ドットひずみ	縦横共 0.1mm 以下
・ 改行ピッチ (1/6 インチ(4.23mm)正改行)	単 一 ±0.3mm 以下 (1 枚紙 55kg 用紙、連帳/単票) 累 積 ±1.0mm 以下 (4.23mm×40 改行、連帳 1 枚紙 55kg 紙)
・ 用紙吸入位置(行方向) (桁方向)	単 票 ±2.0mm 以下 連 帳 ±1.0mm 以下 単 票 ±1.5mm 以下 連 帳 ±1.5mm 以下
・ 斜 行	1.0mm/136 桁以下 (連帳 1 枚紙 55kg 用紙) 1.5mm/60 桁以下 (単票 1 枚紙 55kg 用紙)
・ 層間ずれ	1.5mm 以下 (両端糊付け連続帳票 8 枚用紙の 1 枚目と 8 枚目のズレ)

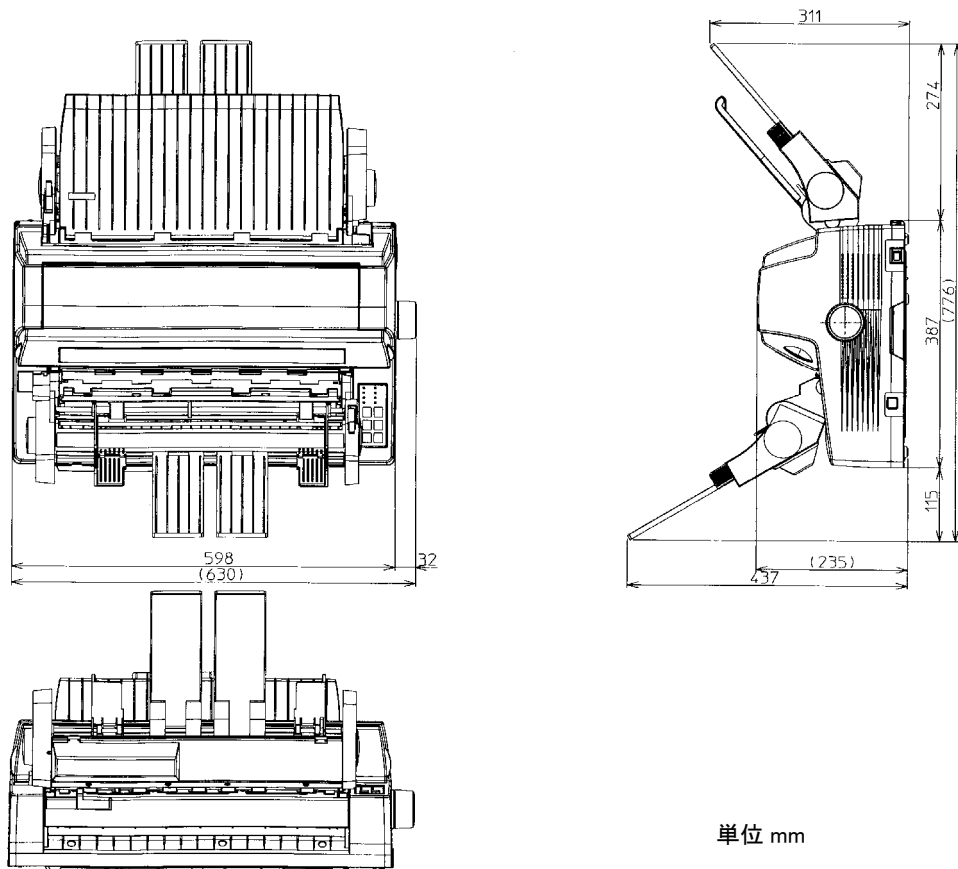
外觀圖

標準外觀圖



オートシートフィーダー取付け時の外観図

オートシートフィーダーを前/面に取り付けたときの外観図



単位 mm

インタフェース仕様

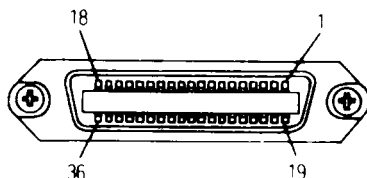
パラレルインタフェース

インタフェースコネクタ

プリンタ側:レセプタクル:アンフェノール 36ピン

ケーブル側:プラグ :アンフェノール 36ピン

コネクタピン配列



インタフェースコネクタ(36ピン)

ピン No	信号	ピン No	信号
1	*STROBE	19	GND
2	DATA 1	20	GND
3	DATA 2	21	GND
4	DATA 3	22	GND
5	DATA 4	23	GND
6	DATA 5	24	GND
7	DATA 6	25	GND
8	DATA 7	26	GND
9	DATA 8	27	GND
10	*ACKNLG	28	GND
11	BUSY	29	GND
12	PE	30	GND
13	SLCT	31	*INIT
14	*AFXT	32	*ERROR
15	NC	33	GND
16	GND	34	+5V
17	SHASSIS GND	35	+5V
18	+5V	36	*SLCT IN

注 1) *は、負論理信号であることを示します。

入力信号の説明

- DATA 1～8 プリンタの受信データです。
 “H”で信号あり、“L”で信号なしです。
- *STROBE DATA1～8 を読み込むためのパルス信号です。
 定常状態では“H”です。“H”から“L”になるとき、データを
 読み込みます。
- *AFXT 復帰改行する信号です。
 “L”になっていると、CR コードを受信して復帰改行します。
- *SLCT IN DC1/DC3 を無効にする信号です。
 電源投入時に、“L”になっていると、DC1/DC3 コードが無効になります。
- *INIT プリンタを初期状態にする信号です。
 “L”になるとプリンターは初期状態になります。

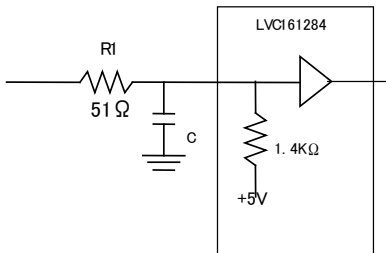
出力信号の説明

- *ACKNLG *STROBE に対する応答信号です。
 データ入力完了時に出力される負のパルス信号です。
- PE 用紙切れを通知する信号です。
- BUSY プリンターのビジー状態を通知する信号です。
 この信号が“H”のとき、プリンターはビジー状態で、データは
 受信できません。
 以下の状態のとき、この信号は“H”です。
 受信データ処理中、アラーム状態、オフライン状態、電源投入時または*INIT 信号を受信しての初期化動作中。
- SLCT 常に“H”です。
- *ERROR アラーム状態、オフライン状態を通知する信号です。
 この信号が“L”のときは、アラーム状態、オフライン状態です。

インタフェース回路

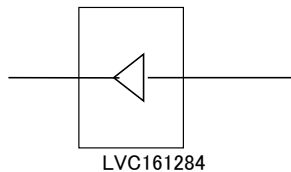
・ 入力回路

ピン No.	信号	C
1	*STROBE	0.001 μ F
36	*SLCT IN	
2~9	DATA1 ~8	560pF
14	AFXT	-
31	*INIT	-

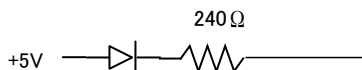


・ 出力回路

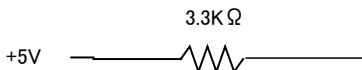
ピン No.	信号
10	*ACKNLG
11	BUSY
12	PE
13	SLCT
32	*ERROR



ピン No.	信号
18	+5V



ピン No.	信号
34~35	+5V



USBインターフェース

インターフェースコネクタ

プリンタ側 : TypeB レセプタクル(メス)

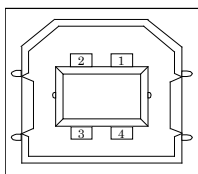
ケーブル側 : TypeB プラグ(オス)

インターフェースケーブル

5m以下の USB2.0 仕様のケーブル

(シールドされているケーブル線を使用してください。)

コネクタピン配列



No.	信号線名称	機能
1	Vbus	電源
2	D-	データ転送用
3	D+	データ転送用
4	GND	信号グランド
Shell	Shield	

基本仕様

USBインターフェース準拠

電力制御

セルフパワーデバイス

伝送モード

フルスピード(最大12Mbps)

ネットワーク接続

オプションのLANアダプタと接続することにより、本プリンターをネットワークプリンターとしてご使用いただけます。日立LANアダプタ(PC-PD20211)と本プリンターは、プリンターケーブルで接続します。プリンターケーブルは、日立純正品 PC-LP1101をご使用ください。

接続方法については、LANアダプタ添付の取扱説明書を参照ください。

LANアダプタ

PC-PB20301 : 10BASE-T/100BASE-TX 自動切り替え TCP/IP, Netware 対応

PC-PB20211 : 10BASE-T/100BASE-TX 自動切り替え TCP/IP(C/S560), Netware 対応

接続時の設定

LANアダプタと接続する場合は、メニュー設定が以下の設定になっていることを確認してください。

ハードウェア設定 — インタフェース 「セントロ/バッファ無効」

コマンド機能設定 — TOF改頁 「無効」

自動検出機能

このプリンターには、次の7つの自動検出機能があります。

○ 印字ヘッド昇温検出

印字ヘッドの加熱状態を検出すると、1行を2～6回に分けて印字し、印字ヘッドの劣化を防止します。

○ ヘビーデューティ検出

高密度の印字(50%以上)を行うと、1行を2回に分けて印字します。

○ 内部異常検出

プリンター内で、過電圧、過電流、ファイヤチェックなどの異常が発生したときは、プリンター保護のために、自動的に電流を切断します。この状態で電源スイッチを“ON”にしても、約1分間は電源が投入できませんので、それ以降に電源を再投入してください。この状態で電源が投入できないときは、プリンターの故障ですので、コンセントを抜いてお買い求めの販売店に相談してください。

○ 用紙無し検出

印字中に用紙がなくなると、印字動作が停止して「メッセージ」ランプが点灯し、ブザーが鳴ってオフライン状態になります。

○ 用紙づまり検出

連帳用紙の吸入セット時(第4章参照)に用紙づまりが発生した場合は、吸入動作失敗として検出し、ブザーを鳴らします。

単票用紙の吸入セット時(第4章参照)に用紙づまりが発生した場合は、用紙を自動的に手前排出します。

用紙づまりが発生した場合は、「第6章 用紙づまりのとき」を参照して、つまった用紙を取り除き、再度用紙をセットし直してください。

○ 用紙吸入時の斜行検出

単票テーブルから、手差しセットした単票用紙が、斜行して吸入された場合、印字をせずに自動的に用紙を排出します。

印字可能な印時領域については、「付録 使用できる用紙について」を参照してください。

○ 用紙外印字防止

用紙の吸入セット後に、用紙の左右端を検出して印字領域を越えるデータを受信した場合にそのデータをカットし、用紙外への印字を防止します。

本機能は、メニュー設定項目の「用紙外印字防止」にて有効、無効の設定が可能です。

工場出荷時は、機能は「有効」に設定されています。

印字可能な印字領域については、「第5章 使用できる用紙について」を参照してください。

専用コマンド

本プリンターには、次の専用コマンドがあります。

4バイト目と5バイト目は、パラメーターのバイト数で、2バイトのバイナリーデータです。パラメーターのバイト数は5バイト目×256+4バイト目で表します。通常のコマンドとは異なります。

■コマンド仕様

ASF 特殊改行

<1B 7C 0A 00 00>

機能：印字バッファ内に印字データがない場合、改行量に従って1改行動作を行います。ただし、単票の給紙動作は行いません。印字データがある場合、改行(LF)コマンドと同じ動作を行います。

入力書式：(HEX) 1B 7C 0A 00 00

パラメーター：なし

頭出し位置指定

<1B 7C 0D 02 00 n1 n2>

機能：用紙の頭出し位置を設定し、次に設定または解除されるまで有効です。

0mm位置以外で用紙給紙済みのときは、このコマンドを受け捨てます。

はがきモード設定コマンドで設定されているときは、頭出し位置指定を受け付けません。

入力書式：(HEX) 1B 7C 0D 02 00 n1 n2

パラメーター：2バイト

n1 = 00h：頭出し位置を設定します

01h：頭出し位置を解除します

n2：n2 / 180インチで頭出し量を設定します

0 ≤ n2 ≤ 255

印字動作完了確認

<1B 7C 04 00 00>

機能：印字開始コード受信に続けて受信すると、印字動作終了まで印字データを受信しません。調整値変更メニューの「受信バッファ」設定が「無効」の時に有効になります。

入力書式：(HEX) 1B 7C 04 00 00

パラメーター：なし

単票排出指定

<1B 7C 01 01 00 n1>

機能：印字バッファ内のデータを印字し、単票を排出します。

入力書式：(HEX) 1B 7C 01 01 00 n1

パラメーター：1バイト

n1=00h：テーブル（手前）へ排出します

01h：スタッカー（後方）へ排出します

はがきモード設定

<1B 7C 02 01 00 n1>

機能：はがきモードの設定・解除をします。

入力書式：(HEX) 1B 7c 02 01 00 n1

パラメーター：1バイト

n1=00h：解除します

01h：設定し、単票の頭出し位置を11.5mmに
します

用紙モード切り替え

<1B 7C 0C 01 00 n1>

機能：用紙を切り替えます。

入力書式：(HEX) 1B 7C 0C 01 00 n1

パラメーター：1バイト

n1=00h：連続帳票を指定します

01h：単票を指定します

02h：モードを解除します

動作・モード解除か連続帳票・単票の指定コマンドで、単票の下端検出後の動作を解除します。

- ・連続帳票指定のとき

メニュー設定に従い、用紙下端検出後の処理を行います。

単票を排出し連続帳票に切り替ります。連続帳票が給紙され、印字データが送られると印字を開始します。

- ・単票指定のとき

単票が未給紙のときは給紙します。このコマンドで給紙したときは、用紙下端まで印字しますが、単票を排出しません。

連続帳票の退避・排出動作を行い、単票給紙モードになります。

連続帳票・単票の指定

< 1 B 7 C 0 3 0 1 0 0 n 1 >

機能：用紙を切り替えます。

入力書式：(HEX) 1 B 7 C 0 3 0 1 0 0 n 1

パラメーター：1バイト

n 1 = 0 0 h : 連続帳票を指定します

0 1 h : 単票を指定します

動作・連続帳票指定のとき

メニュー設定に従い、用紙下端検出後の処理を行います。単票を排出し連続帳票に切り替ります。連続帳票が給紙され、印字データが送られると印字を開始します。

- ・単票指定のとき

単票が未給紙のときは給紙します。頭出し位置が 0mm となります。このコマンドで給紙したときは、用紙下端まで印字を行います。単票の排出はしません。連続帳票の退避・排出動作を行い、単票給紙モードになります。

連続帳票給紙方法の指定

< 1 B 7 C 0 B 0 1 0 0 n 1 >

機能：連続帳票の給紙方法を指定します。

入力書式：(HEX) 1 B 7 C 0 B 0 1 0 0 n 1

パラメーター：1バイト

n 1 = 0 0 h : 前連帳

0 1 h : -

0 2 h : 後連帳

動作・前連帳のときに、前連帳の指定など、同じ指定は無視します。

- ・連続帳票モードで受信したとき

- ①前連帳に設定されているとき

- ・後連帳指定

フロント連続帳票を退避し、後連帳に切り替え、リア連続帳票を自動給紙します。

- ②後連帳に設定されているとき

- ・前連帳

連続帳票を退避し、前連帳に切り替え、フロント連続帳票を自動給紙します。

- ・単票モードで受信したとき

次に連続帳票モードを指定したときに有効になります。

印字圧モード設定

< 1 B 7 C 0 E 0 1 0 0 n 1 >

機能：印字圧を設定します。

入力書式：(HEX) 1 B 7 C 0 E 0 1 0 0 n 1

パラメーター：1バイト

n 1 = 0 0 h : 標準印字圧モードに設定します。
(高複写ランプ消灯)

0 1 h : 高印字圧モードに設定します。
(高複写ランプ点灯)

単票排出方向設定

< 1 B 7 C 0 F 0 1 0 0 n 1 >

機能：単票用紙の排出方向を設定します。

入力書式：(HEX) 1 B 7 C 0 F 0 1 0 0 n 1

パラメーター：1バイト

n 1 = 0 0 h : テーブル (手前) 排出を設定します。
(手前排出ランプ点灯)

0 1 h : スタッカー (後方) 排出を設定します。
(手前排出ランプ消灯)

オートシートフィーダー制御

< 1 B 1 9 n 1 >

機能：オートシートフィーダー制御を指定します。

入力書式：(HEX) 1 B 1 9 n 1

パラメーター：1バイト

n 1 = 3 0 h : オートシートフィーダーモードを解除します。
= 3 1 h : 前オートシートフィーダーを選択します。
= 3 2 h : 後オートシートフィーダーを選択します。
= 3 4 h : オートシートフィーダーモードを設定します。
= 5 2 h : 単票用紙を排出します。

■コマンドの動作

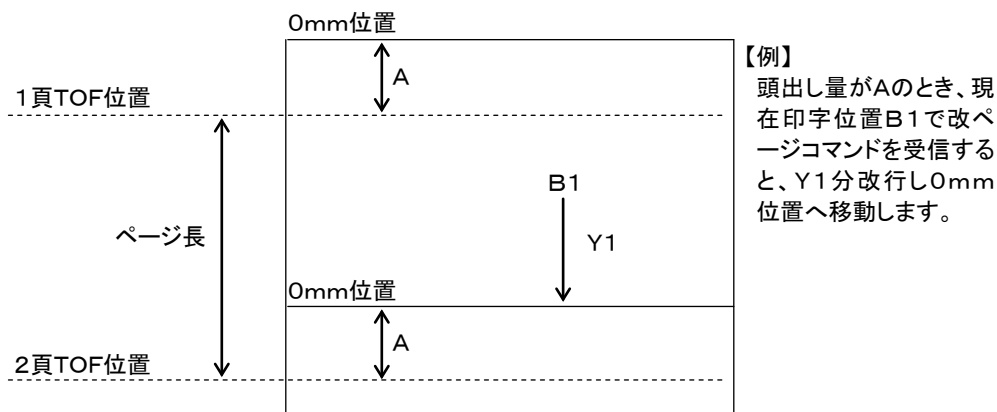
●0mm 給紙

【単票モード】のとき

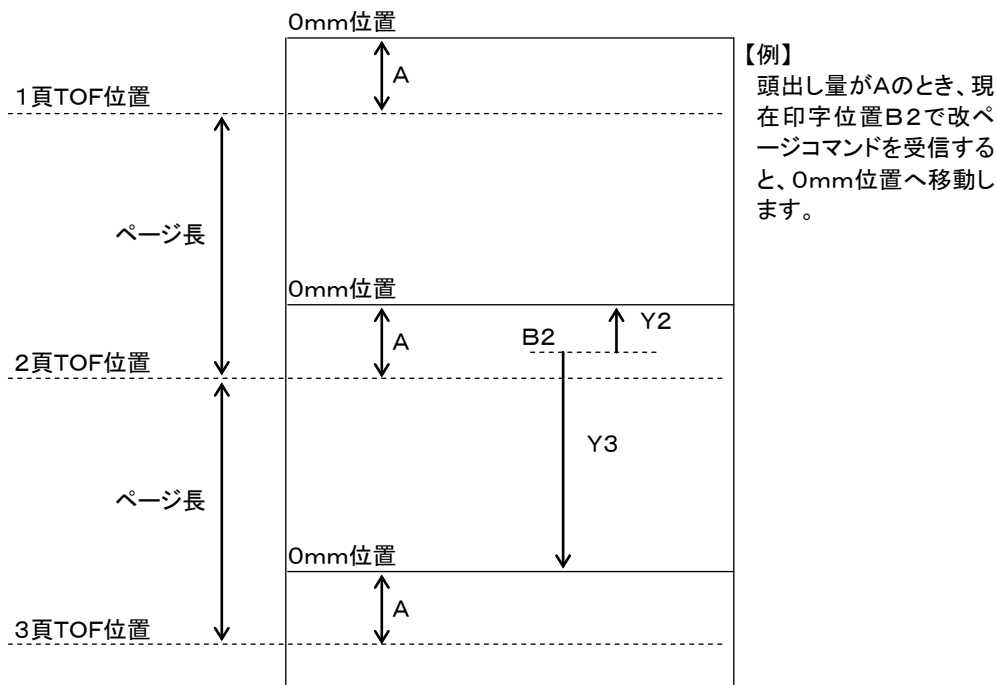
- ・単票給紙状態では0mmの位置で一旦停止し、印字データ、改行系コマンドでメニュー設定位置まで移動(改行)して印字します。ただし、頭出し位置指定コマンドで頭出し位置を指定した場合は、メニュー設定位置ではなく、コマンドで指定した位置へ移動します。
- ・0mmの位置以外の単票給紙状態で、連続帳票・単票の指定コマンド(1B 7C 03...)や用紙モード切り替えコマンド(1B 7C 0C...)による単票指定を受信した場合は、コマンドを受け捨てます。
- ・0mmの位置で複数回頭出し位置指定コマンドを受信した場合は、最後のコマンドで指定した位置が有効です。
- ・0mm位置から改行、微小正逆改行をした場合、コマンドまたはメニュー設定の位置に移動してから改行します。
- ・0mm位置から改頁をした場合、コマンドまたはメニュー設定の頭出し位置に移動してから排紙します。

【連続帳票モード】のとき

- ・連続帳票給紙状態では0mmの位置で一旦停止し、印字データ、改行系コマンドでメニュー設定位置まで移動(改行)して印字します。ただし、頭出し位置指定コマンドで頭出し位置を指定した場合は、メニュー設定位置ではなく、コマンドで指定した位置へ移動します。
- ・連続帳票モードで改ページコマンドを受信した場合は、0mmの位置で一旦停止します。
その位置で次の頭出し位置コマンドを受信した場合は、コマンドの指定に従います。
ただし、頭出し位置への移動は、印字起動とします。



- ・改頁コマンドを0mmとTOF位置の間で受信すると、逆改行を行います。



【例】
 頭出し量がAのとき、現在印字位置B2で改ページコマンドを受信すると、0mm位置へ移動します。

- ・0mmの位置で頭出し位置指定解除コマンドを受信した場合は、その位置に停止し、印字したあと、改行系コマンドの受信で、メニュー設定値まで移動(改行)します。0mmの位置で頭出し位置を指定することもできます。
- ・電源を入れたときは、用紙は常に0mmの位置とします。
- ・0mm位置で複数回頭出し位置指定コマンドを受信した場合、最後に受信したコマンドの指定位置を有効とします。
- ・0mmの位置から、改行スイッチを押すかまたは微小正・逆改行をした場合は、コマンドの設定またはメニュー設定の位置に移動してから改行を行います。
- ・0mmの位置から改ページスイッチを押した場合は、コマンドの指定またはメニュー設定の位置に移動して改ページ動作を行うが、改ページ後、一旦0mmの位置で停止します。

●連続帳票退避失敗時

連続帳票(最大 22 インチ)が退避しきれなかった場合、調整値変更メニューの「帳票退避時間設定」で設定されている時間ブザーを鳴らします。

設定されている時間を経過しても用紙が退避しない場合は、オフライン状態となります。設定時間内に用紙を退避した場合は「用紙選択」スイッチ待ち状態となります。

●単票排出失敗時

単票排出時に用紙ジャムとなった場合、用紙ジャムアラームでエラーを出力します。連続帳票指定への切り替えを指定していた場合は、連続帳票の切り替えは行いません。

制限事項

■電源について

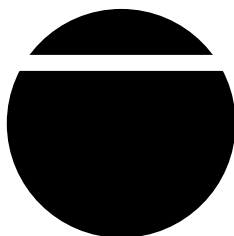
- ・電源は必ず AC100V (50Hz または 60Hz) を使用してください。
- ・電源コードの抜き差しは、電源スイッチを必ず“OFF”にして、プラグの部分を持って行ってください。電源コードは引っ張らないでください。
- ・電源 OFF 後再び電源 ON する場合、1 分以上間隔を開けて電源 ON してください。

■設置時

- ・凹凸のない水平な所に設置してください。
- ・机の上に置くとき、プリンターを斜めにして引きずらないでください。
- ・湿気の多い場所、ほこりの多い場所、潮風にさらされる場所では、使用しない
でください。
- ・直射日光が当たる場所や、ヒーターのような熱器具の近くに置かないでください。
- ・エアコンの前など極端に温度や湿度が変化する場所には置かないでください。
- ・強い振動、衝撃の伝わる場所や、強い磁界、腐食性ガスの発生する場所は
避けてください。
- ・落としたり、ぶついたりしないでください。
- ・電圧、電流が急激に変動する場所は避けてください。
- ・プリンターのケース底面には、内部温度の上昇を防ぐため、通風孔を設けて
います。そのため左右の側面をふさがらないでください。

■使用時

- 連続帳票を使用し、より用紙送り精度の高い印字を行うときは、前連帳で印字することをおすすめします。
- 用紙なしで印字しないでください。また、用紙のない領域へは印字しないでください。印字ヘッドを傷つけることがあります。
- 専用リボンカセットを使用してください。ほかのリボンを使用すると、印字ヘッドピンの寿命を早める恐れがあります。
- 用紙は、規格内のものを使用してください。
- リボンカセット交換時、リボンがたるんでいないことを確認してから動作させてください。
- プリンター内に、クリップや虫ピンなどの異物を落とさないようにしてください。
- 動作中(電源投入時)には、プリンター内部に手や、異物を入れないでください。
- プリンターを分解しないでください。故障の原因となる場合があります。
- 印字中は、絶対にトップカバーを開けないでください。
- 紙送り量のバラツキなどで、次のように一部が欠けるような印字になることがあります。ベタ印字で特に単票で目立ちますが、異常ではありません。



- 縦倍角文字やイメージモードなどのように 1 つの文字が 2 行以上にまたがると、次のようにつまったり、空いて印字されることがあります。文字内で紙送り(改行)が起こるため、用紙送り精度のわずかな誤差で発生します。

重要度の高い伝票や書類などへの数字や文字の印字は、プリンター搭載フォントを使用し 1 度で印字してください。



消耗品の廃棄について

使用済みの消耗品は、法令・条例に従って産業廃棄物としてお客様にて処分をお願いします。

お客様が処理業者に処理を委託する場合で、(財)日本産業廃棄物処理振興センターが発行する伝票(産業廃棄物マニフェスト)への記載が必要となった場合に、下記に本消耗品の種類・特性などを示しますので、伝票記載時の参考にして下さい。

産業廃棄物処理マニフェスト情報

消耗品内訳	マニフェスト情報			
	名 称	種 類	形 状	重金属等有無
リボンカセット	廃プラスチック	固 形	無 し	—

有償交換部品のご案内

■有償部品

次に示す部品は、使用により劣化、摩耗しますので一定周期で交換する必要があります。これらの部品は有償にて交換を行います。

有償部品

部品名	交換の目安
印字ヘッド	約2年
電源ユニット メイン基板 中継基板	約5年または約15,000時間の いずれか早いほう
プラテンロール	約500万改行

交換目安の条件

印字ヘッドが寿命の場合、印字が薄くなったり、ドット抜けが発生します。

- ・1日あたり10時間使用
- ・一ヶ月25日稼働
- ・A4用紙(漢字700字程度)を1日100枚プリント

■電解コンデンサの寿命について

▲注意



このプリンターに使用されているアルミ電解コンデンサーは有寿命部品です。設計寿命は、週日8時間使用で約5年です。寿命になると、電解液の漏れや枯渇が生じます。特に電源ユニットでの電解液漏れは、発煙の原因になることがあります。これらの危険を避けるために、設計寿命を越えて使用する場合は、有寿命部品単位で交換してください。また、業務用など昼夜連続運転相当では5年より寿命は短くなります。

HITACHI

株式会社 日立製作所
情報・通信システム社 ITプラットフォーム事業本部

〒259-1392 神奈川県秦野市堀山下1 番地

■ 製品に関するお問い合わせ ■

HCAセンタ(ハイタック・カスタマ・アンサ・センタ)

 0120-2580-12

ご利用時間 9:00～12:00、13:00～17:00
(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)



このマニュアルは
再生紙を使用しています。

PD4081A-005

製造元 株式会社 リコー

©Hitachi, Ltd. 2014. All rights reserved.